
平成 30 年度
松本市民満足度調査
報告書

令和元年 5 月
松 本 市

目 次

第1章 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の実施方法	1
3. アンケート用紙回収結果	2
第2章 回答者属性	3
1. 回答者の基本属性	3
2. 受益対象者を把握する項目	5
第3章 各施策に対する評価	6
1. 施策評価設定の考え方や集計・分析方法	6
(1) 施策評価の考え方	6
(2) 集計方法	6
(3) 施策評価分析の視点	7
2. 【基本目標1】 だれもが健康でいきいきと暮らすまち	8
(1) 今年度調査結果	9
(2) 経年比較分析	11
3. 【基本目標2】 一人ひとりが輝き大切にされるまち	14
(1) 今年度調査結果	15
(2) 経年比較分析	19
4. 【基本目標3】 安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	25
(1) 今年度調査結果	26
(2) 経年比較分析	30
5. 【基本目標4】 人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	36
(1) 今年度調査結果	37
(2) 経年比較分析	40
6. 【基本目標5】 魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	43
(1) 今年度調査結果	44
(2) 経年比較分析	47
7. 【基本目標6】 とともに学びあい人と文化を育むまち	50
(1) 今年度調査結果	51
(2) 経年比較分析	54
8. 行政について	57
(1) 今年度調査結果	58
(2) 経年比較分析	62
第4章 松本市での暮らしに関する総合的な評価結果	64
1. 松本市での暮らしに対する満足度	64

(1) 今年度調査結果.....	64
2. 暮らしのなかでの「生きがい」.....	68
(1) 今年度調査結果.....	68
3. 松本市での居住継続意向.....	70
(1) 今年度調査結果.....	70
(2) 経年比較.....	72
第5章 総括.....	74
1. 松本市での暮らしの現状.....	74
2. 基本施策ごとの評価.....	75
(1) 基本施策ごとの特徴的な傾向.....	75
(2) 年代別に評価の傾向が異なる施策.....	80
(3) 市の現状評価と市民の行動からみる施策の方向性.....	83
(4) 経年による調査結果の比較.....	85

第1章 調査概要

1. 調査の目的

本調査は「松本市総合計画（第10次基本計画〔平成28～令和2年度〕）」をもとに本市が実施する各分野の施策について、本市の環境・体制の評価や自身の行動について測ることによって、各施策の進捗状況を継続的に把握することを目的に実施した。

なお、本調査は、平成23年度に策定した「第9次基本計画」の施策評価から行っており、継続的に評価できる施策は経年比較分析を行う設計としている。

2. 調査の実施方法

■調査対象者：松本市在住の18歳以上の男女

■抽出方法：無作為抽出

■調査方法：返信用封筒を同封した、質問票送付によるアンケート調査形式

全国的な景気の動向など、本市の取組以外の外的な要因が施策評価に影響を与える可能性があるため、調査は2回にわけて実施する。

本書では2回分の調査結果を合わせて分析を行う。

■対象数：2,400名（1,200名×2回）

■実施期間：第1回 平成30年11月1日（木）～11月23日（金）

第2回 平成31年1月18日（金）～2月11日（月）

■調査項目：

- ① 回答者属性
- ② 松本市での暮らしについて
- ③ 受益対象者を把握する項目
- ④ 6つの基本目標からなる基本施策の評価
 - ・だれもが健康でいきいきと暮らすまち
 - ・一人ひとりが輝き大切にされるまち
 - ・安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
 - ・人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
 - ・魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
 - ・ともに学びあい人と文化を育むまち
- ⑤ 行政に対する評価
- ⑥ 松本市の生活について【自由記述】

3. アンケート用紙回収結果

	第 1 回	第 2 回	合計
回収数	651 件	658 件	1,309 件
回収率	54.3%	54.8%	54.5%
無回答	0 件	0 件	0 件
有効回答数	651 件	658 件	1,309 件

【参考】

平成 28 年度の回収状況

- 実施期間 : 第 1 回 平成 28 年 11 月 17 日 (木) ~ 12 月 12 日 (月)
第 2 回 平成 29 年 1 月 17 日 (火) ~ 2 月 13 日 (月)

	第 1 回	第 2 回	合計
回収数	629 件	624 件	1253 件
回収率	52.4%	52.0%	52.2%
無回答	1 件	1 件	2 件
有効回答数	628 件	623 件	1251 件

※本書の注意点

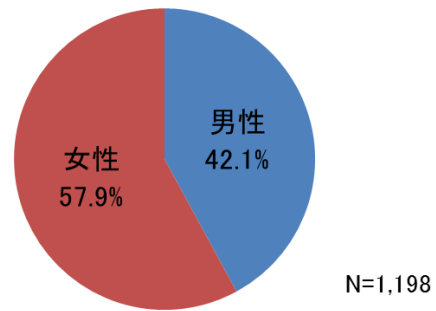
- ・ 図表中の割合は、小数点第 2 位を四捨五入した数値であるため、合計値が 100%にならない場合がある。
- ・ 無回答は集計から外しているため、回答数の合計は設問ごとに異なる。

第2章 回答者属性

1. 回答者の基本属性

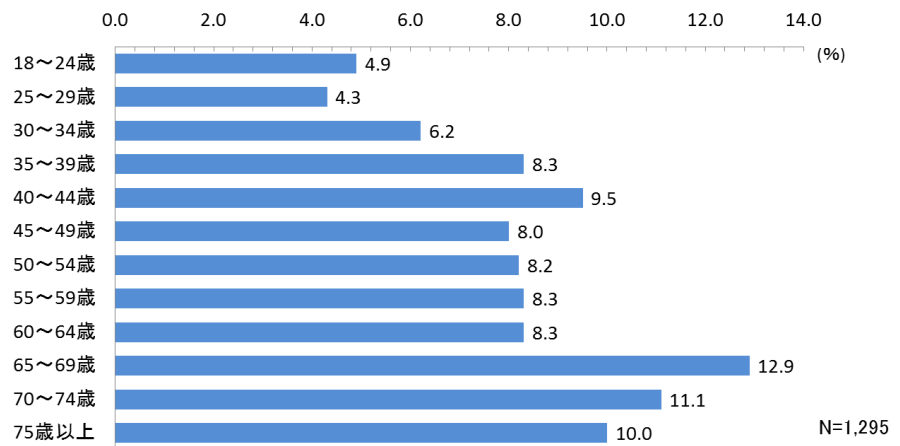
図表 1 性別

	回答数(人)	割合(%)
男性	504	42.1
女性	694	57.9
合計	1,198	100.0



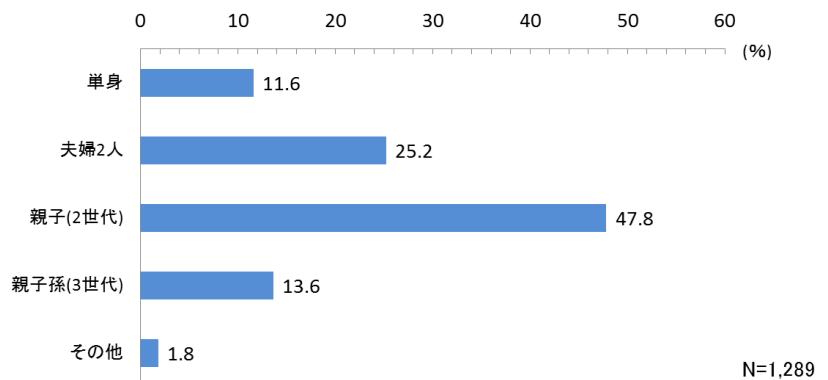
図表 2 年代

	回答数(人)	割合(%)
18～24歳	63	4.9
25～29歳	56	4.3
30～34歳	80	6.2
35～39歳	107	8.3
40～44歳	123	9.5
45～49歳	104	8.0
50～54歳	106	8.2
55～59歳	108	8.3
60～64歳	107	8.3
65～69歳	167	12.9
70～74歳	144	11.1
75歳以上	130	10.0
合計	1,295	100.0



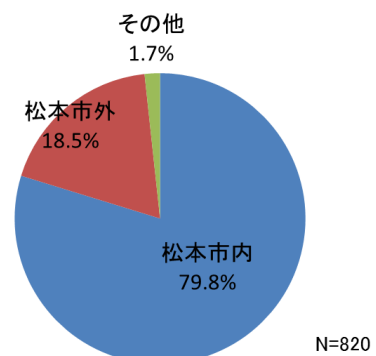
図表 3 家族構成

	回答数(人)	割合(%)
単身	149	11.6
夫婦2人	325	25.2
親子(2世代)	616	47.8
親子孫(3世代)	175	13.6
その他	24	1.8
合計	1,289	100.0



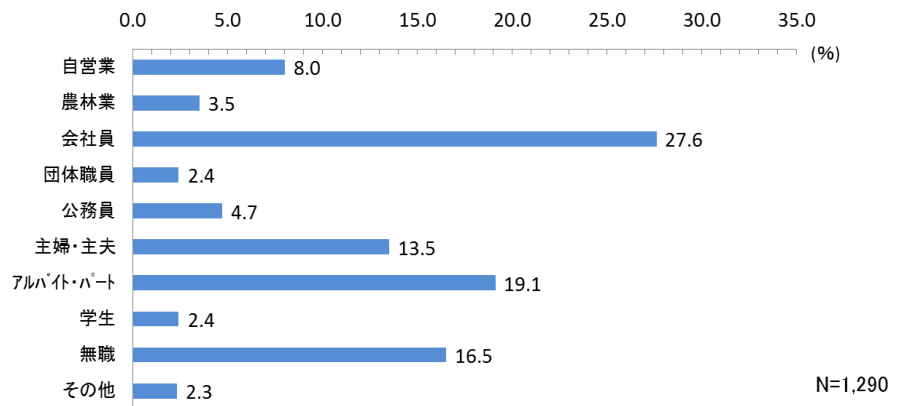
図表 4 職場

	回答数(人)	割合(%)
松本市内	654	79.8
松本市外	152	18.5
その他	14	1.7
合計	820	100.0



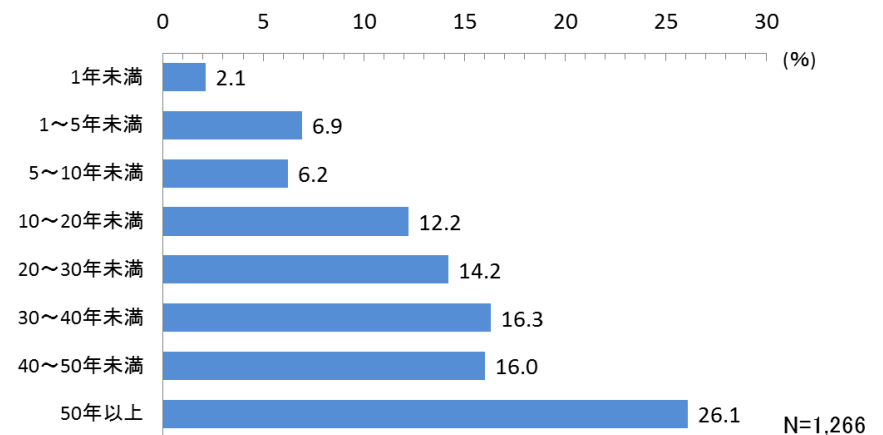
図表 5 職業

	回答数(人)	割合(%)
自営業	103	8.0
農林業	45	3.5
会社員	356	27.6
団体職員	31	2.4
公務員	61	4.7
主婦・主夫	174	13.5
アルバイト・パート	247	19.1
学生	30	2.3
無職	213	16.5
その他	30	2.3
合計	1290	100.0



図表 6 居住年数

	回答数(人)	割合(%)
1年未満	27	2.1
1～5年未満	87	6.9
5～10年未満	78	6.2
10～20年未満	154	12.2
20～30年未満	180	14.2
30～40年未満	208	16.3
40～50年未満	202	16.0
50年以上	330	26.1
合計	1,266	100.0



図表 7 居住地区

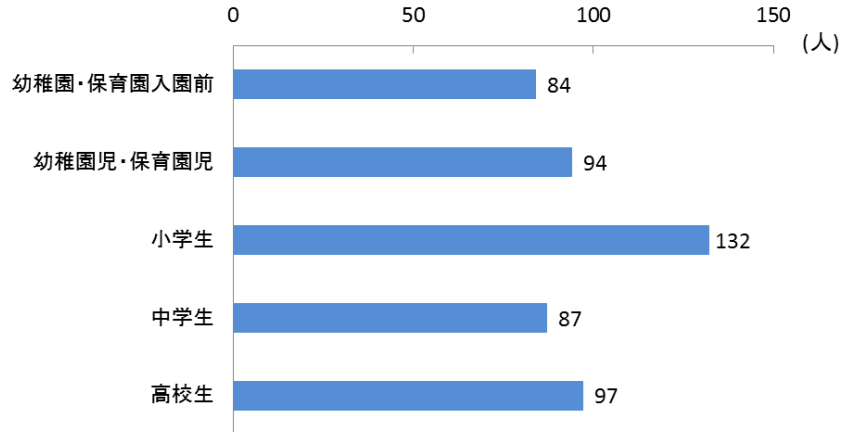
居住地区名	回答数(人)	割合(%)	居住地区名	回答数(人)	割合(%)
第1地区	9	0.7	神林地区	31	2.5
第2地区	10	0.8	笹賀地区	58	4.6
第3地区	18	1.4	芳川地区	88	7.0
東部地区	26	2.1	寿地区	69	5.5
中央地区	19	1.5	松原地区	21	1.7
城北地区	28	2.2	寿台地区	14	1.1
安原地区	26	2.1	岡田地区	30	2.4
城東地区	14	1.1	入山辺地区	14	1.1
白板地区	33	2.6	里山辺地区	69	5.5
田川地区	20	1.6	今井地区	15	1.2
庄内地区	78	6.2	内田地区	17	1.3
鎌田地区	95	7.4	本郷地区	71	5.6
松南地区	32	2.5	安曇地区	8	0.6
島内地区	51	4.0	奈川地区	3	0.2
中山地区	24	1.9	梓川地区	67	5.3
島立地区	38	3.0	四賀地区	26	2.1
新村地区	21	1.7	波田地区	88	7.0
和田地区	31	2.5	合計	1,262	100.0

2. 受益対象者を把握する項目

この項目は「子育て」や「小中学校における教育」、「高齢者福祉」、「障害者福祉」など、サービスの受益者が限定的な施策の対象者を把握するために設定した。

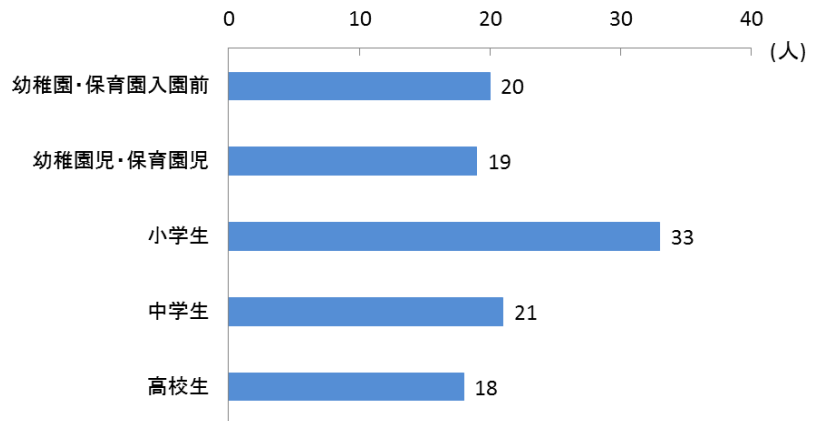
図表 8 同居している子どもの有無

[同居]子どもの有無	回答数(人)
幼稚園・保育園入園前	84
幼稚園児・保育園児	94
小学生	132
中学生	87
高校生	97



図表 9 同居している孫の有無

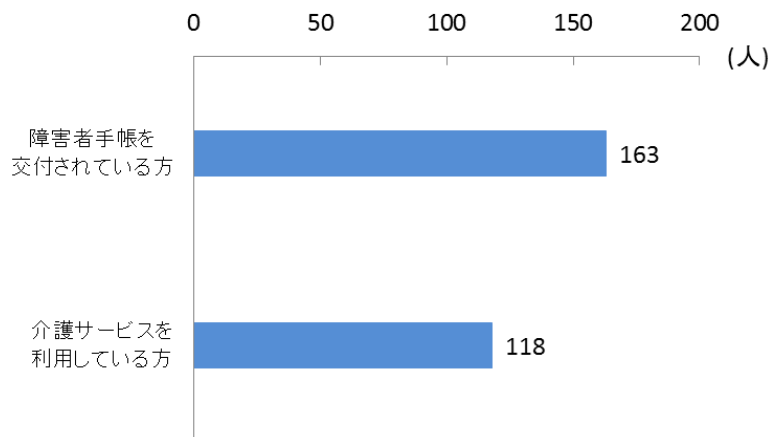
[同居]孫の有無	回答数(人)
幼稚園・保育園入園前	20
幼稚園児・保育園児	19
小学生	33
中学生	21
高校生	18



図表 10 障害者手帳交付者／介護サービス利用者（同居家族）

※施設に入居している家族を含む

同居家族	回答数(人)
障害者手帳を交付されている方	163
介護サービスを利用している方	118



第3章 各施策に対する評価

1. 施策評価設定の考え方や集計・分析方法

(1) 施策評価の考え方

本市では、施策のアウトカム（成果）として「市民一人ひとりの行動」も含めた市民生活の向上を目指している。本調査では各施策に対し、可能な限り「市民の行動」を把握する項目を設定した。

市民の行動が把握することが難しい施策については、「松本市の現状」に対する市民の認識を問う項目を設定し、その成果を測る。

「松本市の現状」、「市民一人ひとりの行動」のアウトカムは、第10次基本計画の施策ごとの目指す方向性を踏まえ、設定した。

(2) 集計方法

集計は、選択肢ごとの回答数を示す「単純集計」を行い、回答の分布状況を明らかにする。また、各施策の評価結果を「平均点化」する集計を行うことによって、調査結果を単純化するとともに、経年変化の把握を行うことができる。「単純集計」と「平均点化」の算出方法は以下のとおりである。

①単純集計（度数分布）

単純集計では、「あてはまる」～「あてはまらない」、「わからない」等の各選択肢に対する回答者数の比率を算出する。

②平均点化の方法

平均点は、「そう思う」～「そう思わない」等にそれぞれ4点～1点の点数を与え、その点数の総和を回答数で除すことによって算出した。その際、判断の保留を意味する「わからない」や「無回答」が評価に影響を与えないように、計算式からは除外した。計算手順は以下のとおりである。

1) アンケート回答の得点化

「松本市の現状」に関する設問の場合

そう思う	→4点
ややそう思う	→3点
あまりそう思わない	→2点
そう思わない	→1点

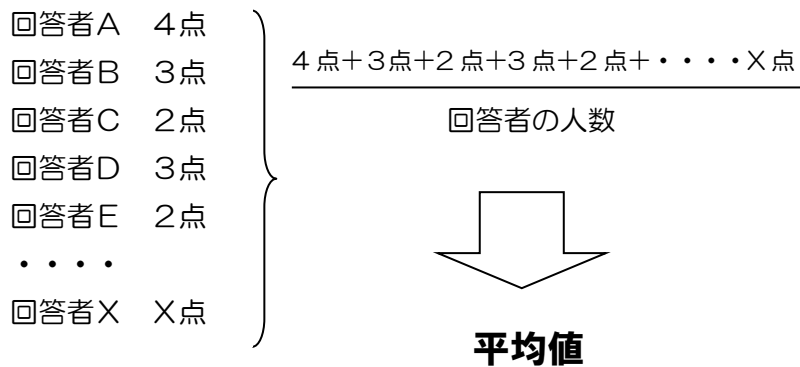
「市民の行動」に関する設問の場合

あてはまる	→4点
ややあてはまる	→3点
あまりあてはまらない	→2点
あてはまらない	→1点

※得点化により中央値は2.5となる。平均点の高低を判断する際の基準値とする。

平均点が中央値より高い場合は肯定的な評価者が多く、中央値以下の場合是否定的な評価者が多いとみることができる。

2) 平均点の算出方法



平均点は回答の「中心傾向」を表す。中心傾向とは、回答者の多くがどのような評価に集中していたかを意味する。

本書では、市民の意見をよりわかりやすい形で確認できるよう、平均点を用いる。

(3) 施策評価分析の視点

本報告書では、施策ごとに今年度の調査結果を示した後、経年比較分析を示している。

なお、「子育て」や「小中学校における教育」、「高齢者福祉」、「障害者福祉」など、サービスの受益者が限定的な施策については、対象者と市民全体の評価をそれぞれ表示して、評価の差がわかるようにした。

視点①今年度の調査結果の分析

「松本市の現状」「市民の行動」の評価の差や評価保留の割合、年代別分析等を行った。

分析	具体的な内容
度数分布の分析	単純集計結果からは当該施策に対する市民の評価の分布をみる事ができる。肯定的評価や評価保留の割合の分布について把握した。
平均点の分析 (全体集計・年代別集計)	中央値 2.5 点を基準にしながら、評価の高低をみる。平均点は回答者全体の結果と年代別による結果を示した。若年層、シニア層で施策評価に差がある項目の抽出を行う。

視点②経年比較での分析

「平均点」「評価保留の割合」について経年比較での分析を行った。

分析	具体的な内容
平均点による 経年比較	施策ごとに平均点を出し、年度ごとにその変化を比較する。平均点が大きく変化しているような場合は、施策のプラスもしくはマイナスのアウトカムが発生しているといえる。
評価保留の割合の 経年比較	施策ごとに評価保留の割合（「わからない」と回答した割合）を出し、年度ごとにその変化を比較する。評価保留の割合が大きく変化しているような場合は、施策の周知が進んだか、もしくは対象者が増加したが周知されていないことを示している

2.【基本目標1】だれもが健康でいきいきと暮らすまち

本市では、だれもが心も体も健康で、住み慣れた地域で心豊かに暮らすことができるよう、安らぎと潤いのあるまちづくりを進めている。

■基本施策と評価項目

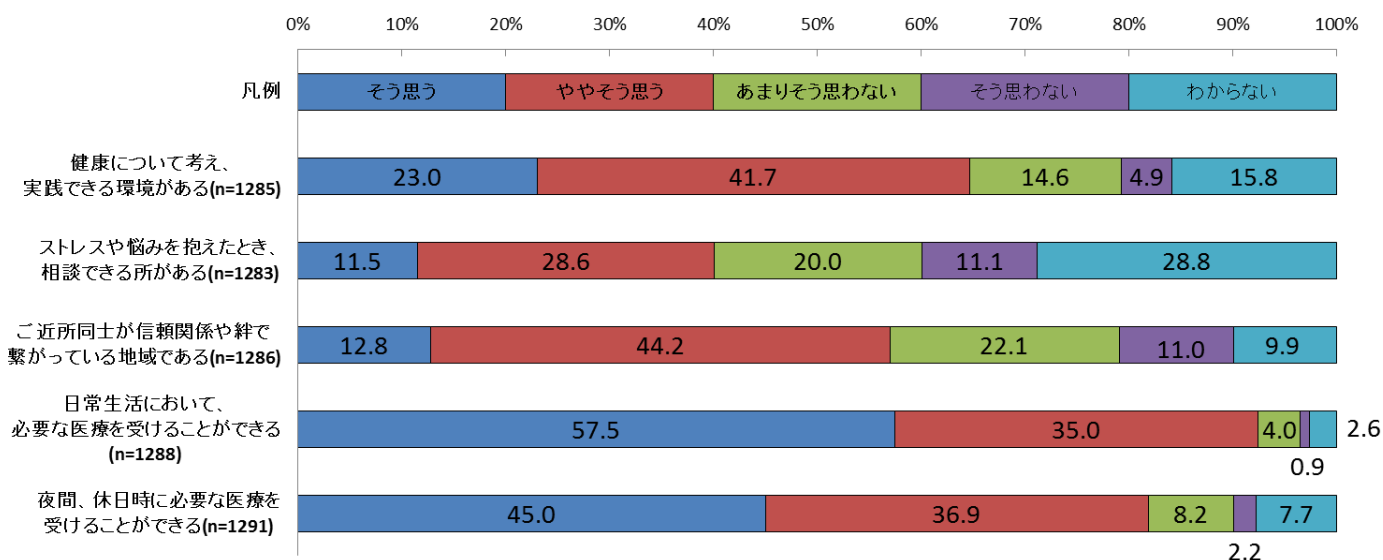
政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象
1-1 健康を大切にすまち	1-1-1 健康づくりの推進	健康について考え、実践できる環境がある	市
		健康づくりに継続的に取り組んでいる	市民
	1-1-2 心の健康、生きがいの推進	ストレスや悩みを抱えたとき、相談できる所がある	市
		不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている	市民
	1-1-3 ソーシャルキャピタルを生かした健康づくり	ご近所同士が信頼関係や絆で繋がっている地域である	市
	1-2 いつでも医療が受けられるまち	1-2-1 地域医療の充実	日常生活において、必要な医療を受けることができる
1-2-2 救急医療・周産期医療の充実		夜間、休日時に必要な医療を受けることができる	市

(1) 今年度調査結果

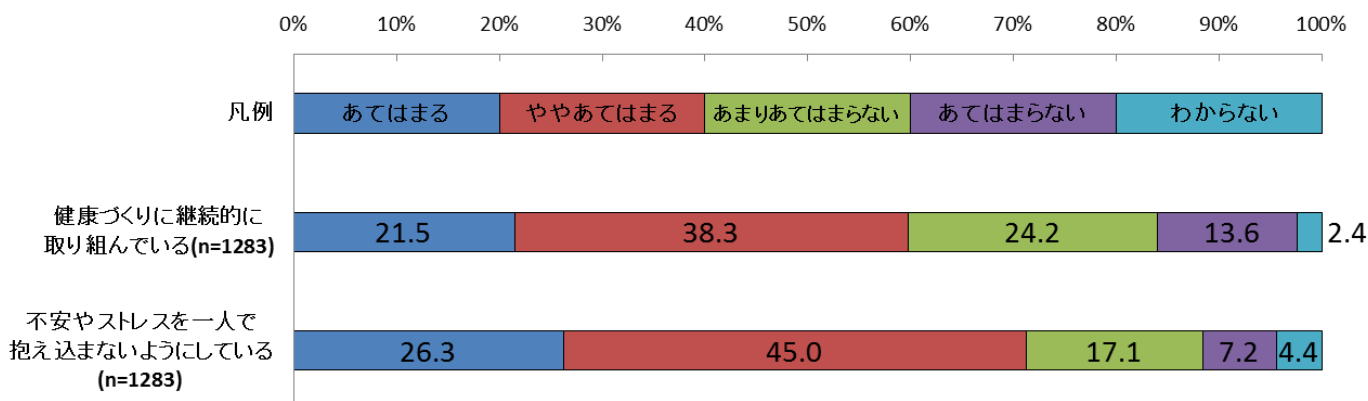
①度数分布

- ・市の現状については、「日常生活において、必要な医療を受けることができる」、「夜間、休日時に必要な医療を受けることができる」は約8割～9割の市民が肯定的な評価をしている。「健康について考え、実践できる環境がある」「ご近所同士が信頼関係や絆で繋がっている地域である」は約5～6割が肯定的な評価をしている。「ストレスや悩みを抱えたとき、相談できる所がある」は、評価保留の割合が高い。
- ・市民の行動に関する項目では、「健康づくりに継続的に取り組んでいる」市民は約59.8%、「不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている」市民は71.3%であった。

図表 11 松本市の現状について



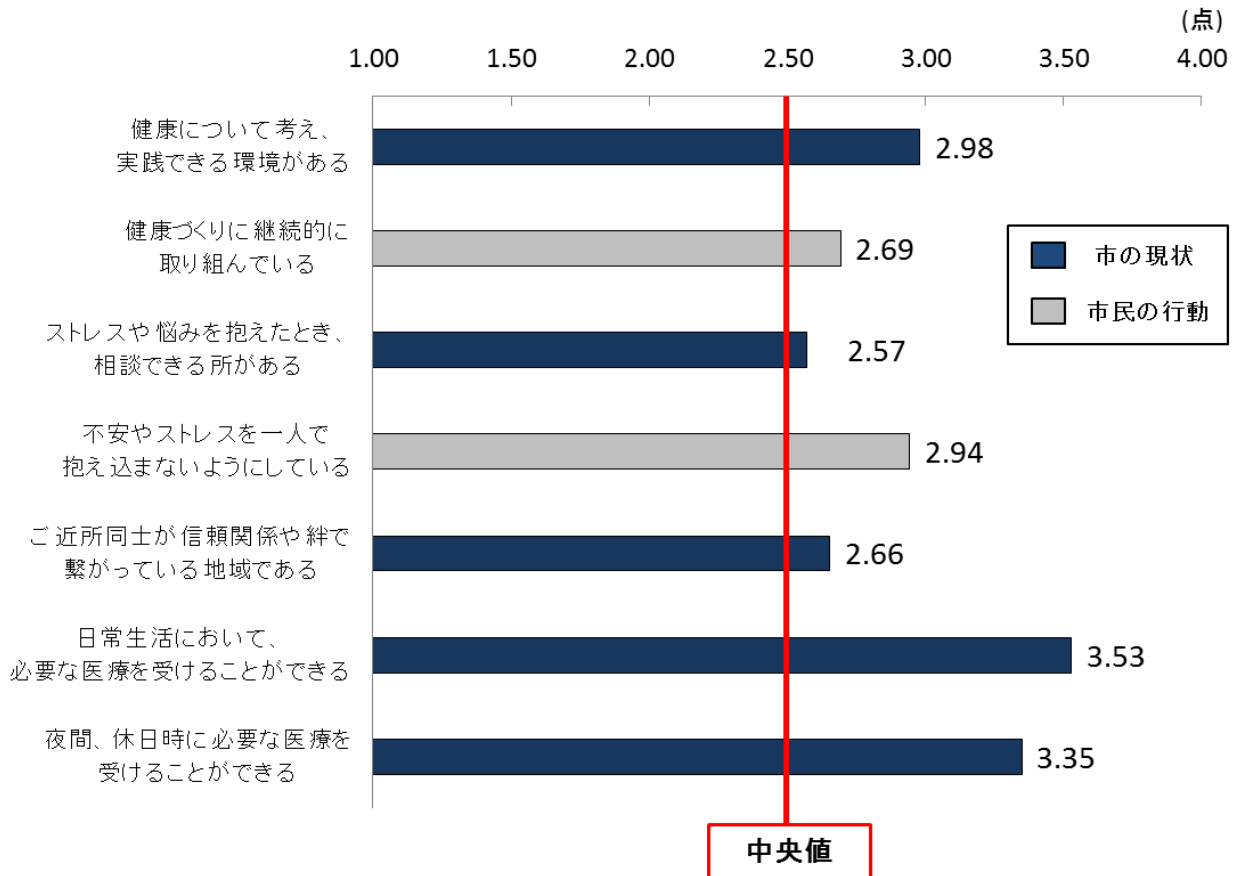
図表 12 市民の行動について



②平均点

- 平均点が最も高い項目は、「日常生活において、必要な医療を受けることができる」で3.53点であり、次いで「夜間、休日時に必要な医療を受けることができる」の3.35点である。
- 全ての項目で中央値（2.5点）を越えており、評価が高い。
- 年代別で見ると、いずれの項目でも60代・70代以上の平均点が高い傾向にある。

図表 13 平均点・全体の比較



図表 14 年代別比較・松本市の現状

施策	18~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上	全体
健康について考え、実践できる環境がある	3.07	2.61	2.73	2.73	2.89	2.93	3.05	2.97	2.91	3.09	3.19	3.15	2.98
ストレスや悩みを抱えたとき、相談できる所がある	2.63	2.36	2.64	2.60	2.54	2.52	2.39	2.43	2.43	2.70	2.69	2.70	2.57
ご近所同士が信頼関係や絆で繋がっている地域である	2.79	2.23	2.43	2.61	2.62	2.61	2.71	2.66	2.54	2.77	2.76	2.84	2.66
日常生活において、必要な医療を受けることができる	3.60	3.37	3.32	3.42	3.48	3.47	3.58	3.49	3.56	3.58	3.64	3.67	3.53
夜間、休日時に必要な医療を受けることができる	3.45	3.22	3.17	3.37	3.26	3.38	3.33	3.37	3.46	3.34	3.46	3.34	3.35

※各項目全体より0.2点以上高いセルは青色、0.2点以上低いセルには黄色を付けている。

図表 15 年代別比較・市民の行動

施策	18～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	全体
健康づくりに継続的に取り組んでいる	2.86	2.58	2.68	2.36	2.57	2.41	2.48	2.59	2.77	2.78	3.04	2.99	2.69
不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている	2.97	2.92	3.00	2.65	2.85	2.91	2.82	2.90	2.93	3.01	3.14	3.11	2.94

※各項目全体より 0.2 点以上高いセルは青色、0.2 点以上低いセルには黄色を付けている。

(2) 経年比較分析

①平均点の推移

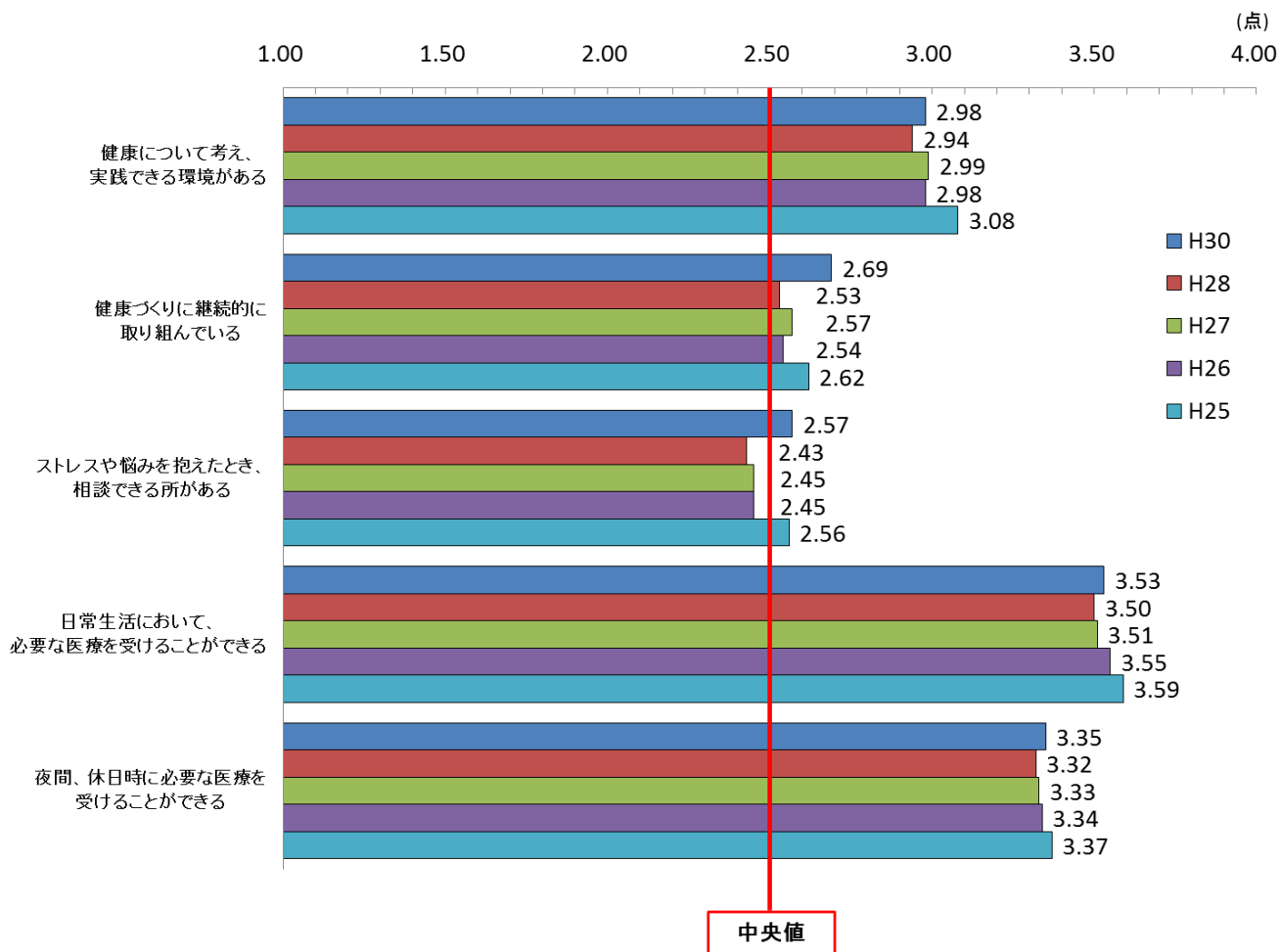
- ・前回調査から全体的に評価が上がっている。
- ・「ストレスや悩みを抱えたとき、相談できる場所がある」も、中央値 2.5 点を超えた。

図表 16 経年比較・平均点の推移

基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象	平均点					
			差 H30-H28	H30	H28	H27	H26	H25
1-1-1 健康づくりの推進	健康について考え、実践できる環境がある	市	0.04	2.98	2.94	2.99	2.98	3.08
	健康づくりに継続的に取り組んでいる	市民	0.16	2.69	2.53	2.57	2.54	2.62
1-1-2 心の健康、生きがいづくりの推進	ストレスや悩みを抱えたとき、相談できる所がある	市	0.14	2.57	2.43	2.45	2.45	2.56
	不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている	市民	0.09	2.94	2.85	-	-	-
1-1-3 ソーシャルキャピタルを生かした健康づくり	ご近所同士が信頼関係や絆で繋がっている地域である	市	0.09	2.66	2.57	-	-	-
1-2-1 地域医療の充実	日常生活において、必要な医療を受けることができる	市	0.03	3.53	3.50	3.51	3.55	3.59
1-2-2 救急医療・周産期医療の充実	夜間、休日時に必要な医療を受けることができる	市	0.03	3.35	3.32	3.33	3.34	3.37

※網掛けのセルは中央値 2.5 未満の項目

図表 17 経年比較・平均点の推移



②評価保留の割合の推移

- ・「ストレスや悩みを抱えたとき、相談できる所がある」については、28.8%が「わからない」と回答しており、依然として割合が高い。

図表 18 経年比較・評価保留の割合の推移

基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象	評価保留の割合(%)					
			差 H30-H28	H30	H28	H27	H26	H25
1-1-1 健康づくりの推進	健康について考え、実践できる環境がある	市	2.6	15.8	13.2	13.9	15.6	14.8
	健康づくりに継続的に取り組んでいる	市民	-0.3	2.4	2.7	3.4	2.9	2.8
1-1-2 心の健康、生きがいづくりの推進	ストレスや悩みを抱えたとき、相談できる所がある	市	4.6	28.8	24.2	26.7	27.6	27.2
	不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている	市民	0.5	4.4	3.9	-	-	-
1-1-3 ソーシャルキャピタルを生かした健康づくり	ご近所同士が信頼関係や絆で繋がっている地域である	市	2.4	9.9	7.5	-	-	-
1-2-1 地域医療の充実	日常生活において、必要な医療を受けることができる	市	-0.3	2.6	2.9	2.3	3.5	2.9
1-2-2 救急医療・周産期医療の充実	夜間、休日時に必要な医療を受けることができる	市	-0.4	7.7	8.1	5.7	7.2	7.0

※網掛けのセルは20%以上の項目

3.【基本目標2】一人ひとりが輝き大切にされるまち

本市では、一人ひとりが人として尊重され、質の高い暮らしを続けることができるよう、自助、共助、公助が調和するまちづくりを進めている。

■基本施策と評価項目

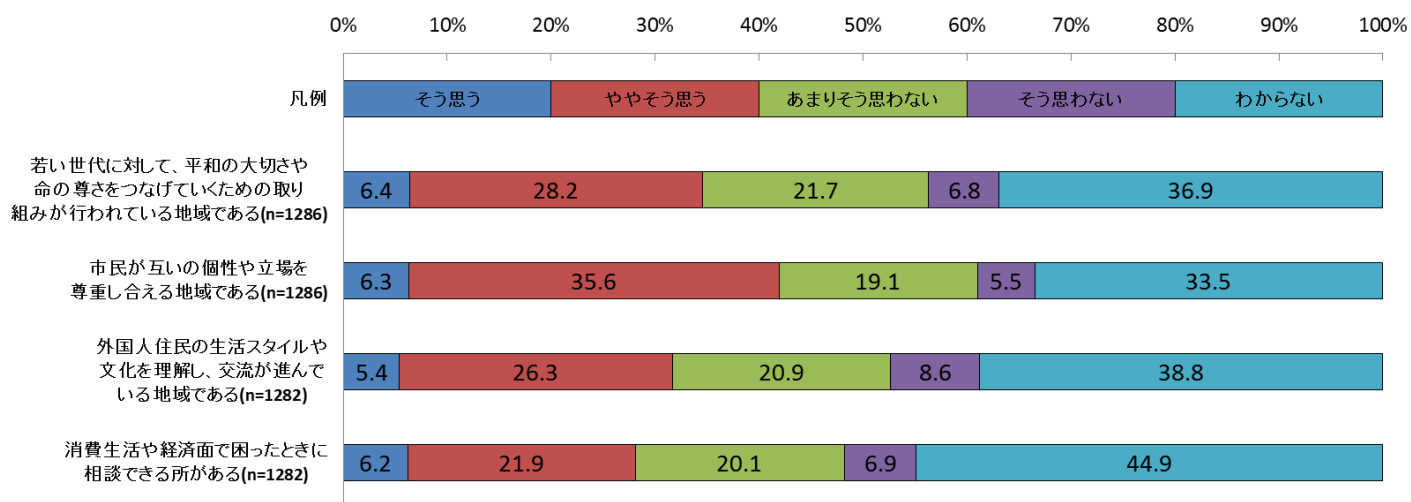
政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象
2-1 平和、人権を尊重する まち	2-1-1 平和意識の向上	若い世代に対して、平和の大切さや命の尊さをつなげていくための取り組みが行われている地域である	市
	2-1-2 人権尊重の推進	市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域である	市
	2-1-3 多文化共生の推進	外国人住民の生活スタイルや文化を理解し、交流が進んでいる地域である	市
外国人住民と交流をするイベント等に参加したい		市民	
2-2 安定した暮らしを続けられるまち	2-2-1 高齢者福祉の充実	高齢者が暮らしやすいまちである	市
	2-2-2 障害者(児)福祉の充実	障害のある人が安心して生活できる環境整備を感じたり、見かけられる	市
	2-2-3 生活福祉の充実	消費生活や経済面で困ったときに相談できる所がある	市
2-3 子育てを応援するまち	2-3-1 子どもの権利の推進	行政による子どもを大切にする取り組みを感じたり、見かける	市
		子どもの権利について理解し、尊重している	市民
	2-3-2 出産・子育て環境の充実	出産や育児を支えるための環境(体制)やサービスを感じたり、見かける	市
	2-3-3 保育環境の充実	安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園・認定こども園がある	市
		子どもを育てやすいまちである	市
2-3-4 青少年の健全育成	地域で青少年(小中学生を含む)の自主性や主体性を育む活動(スポーツ・文化活動など)を知ったり、見かける	市	
	青少年(小中学生を含む)の自主性や主体性を育む活動(スポーツ・文化活動など)を行っている	市民	

(1) 今年度調査結果

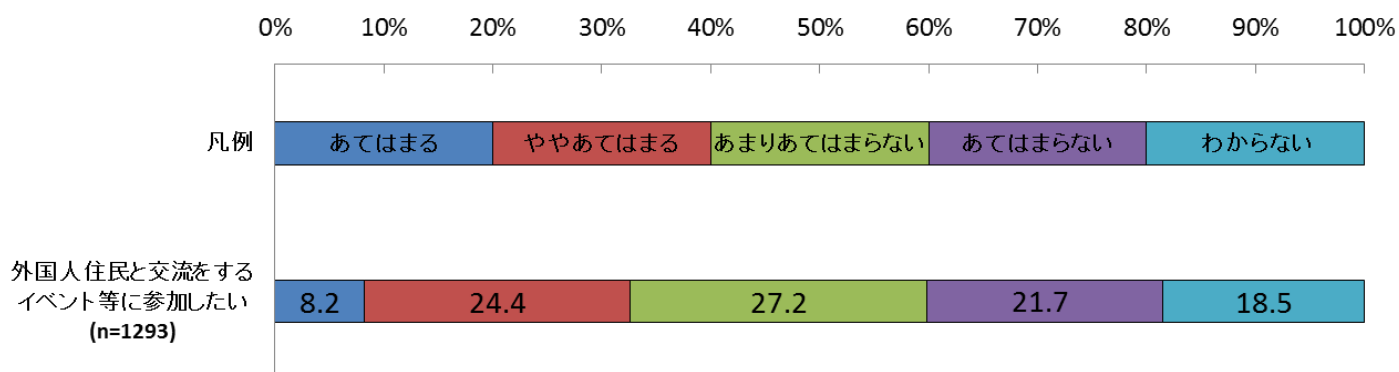
①度数分布

- ・市の現状で、肯定的な評価が最も高い項目は「市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域である」であり、41.9%であった。肯定的評価が低い項目は「消費生活や経済面で困ったときに相談できる所がある」であり、28.1%に留まっている。
- ・市の現状については、いずれの項目も「わからない」の回答が30%以上である。特に「消費生活や経済面で困ったときに相談できる所がある」は評価保留の割合が高い。
- ・市民の行動では、「外国人住民と交流をするイベント等に参加したい」と考える市民は32.6%に留まる。

図表 19 松本市の現状について（受益者が限定されない項目）

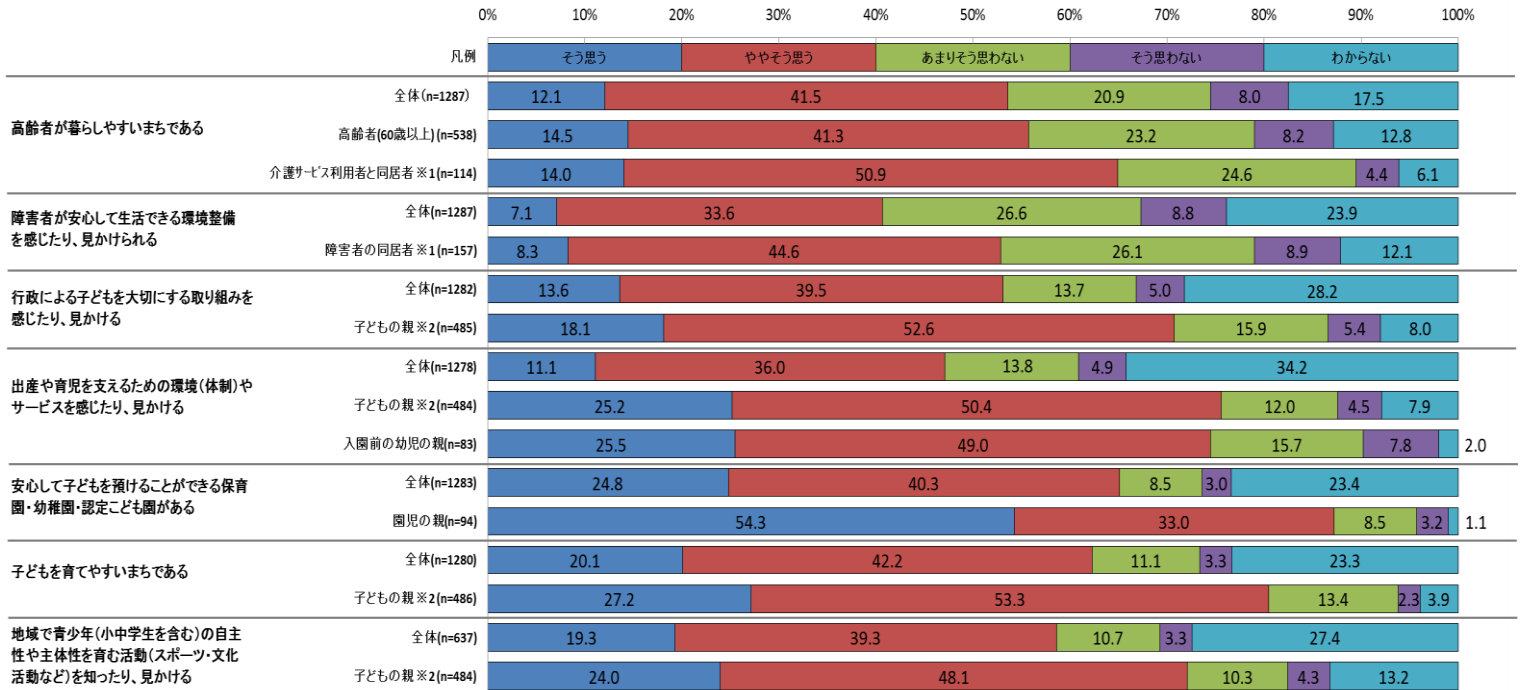


図表 20 市民の行動について（受益者が限定されない項目）



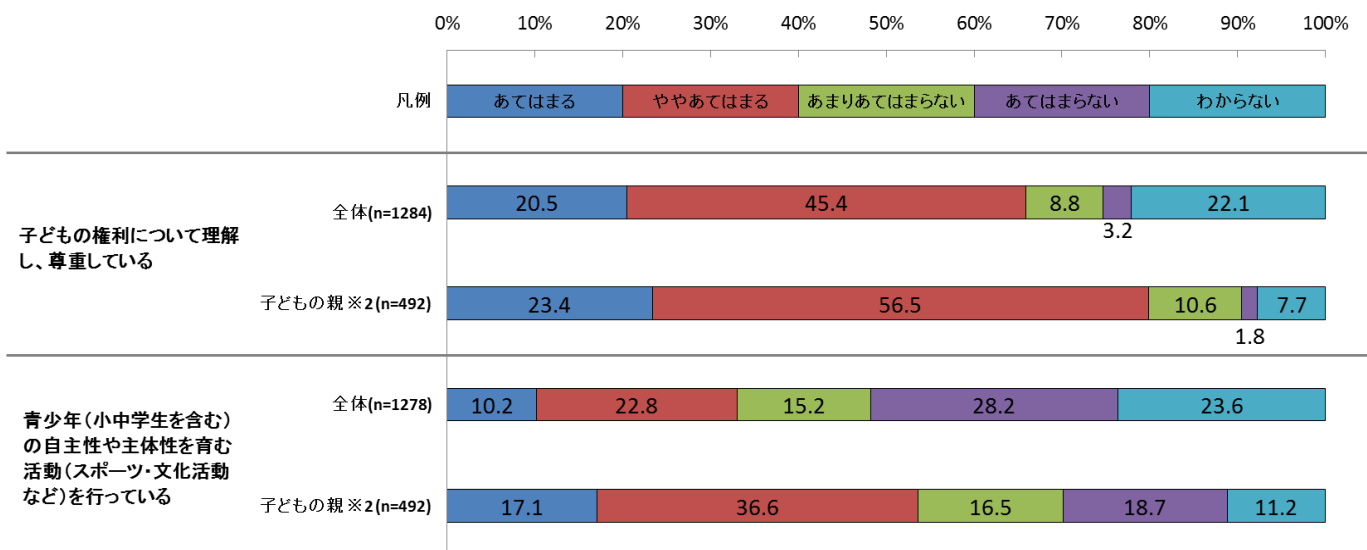
- ・市民全体と受益者の回答を比較すると、市民全体の方が評価保留の割合が高い傾向にある。
- ・子育て関連施策は、受益者の肯定的評価が高くなっている。特に「安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園・認定こども園がある」は87.3%、「子どもを育てやすいまちである」は80.5%にのぼる。

図表 21 松本市の現状について（受益者が限定される項目）



※1) 施設入居者含む ※2) 高校生以下の子ども

図表 22 市民の行動について（受益者が限定される項目）

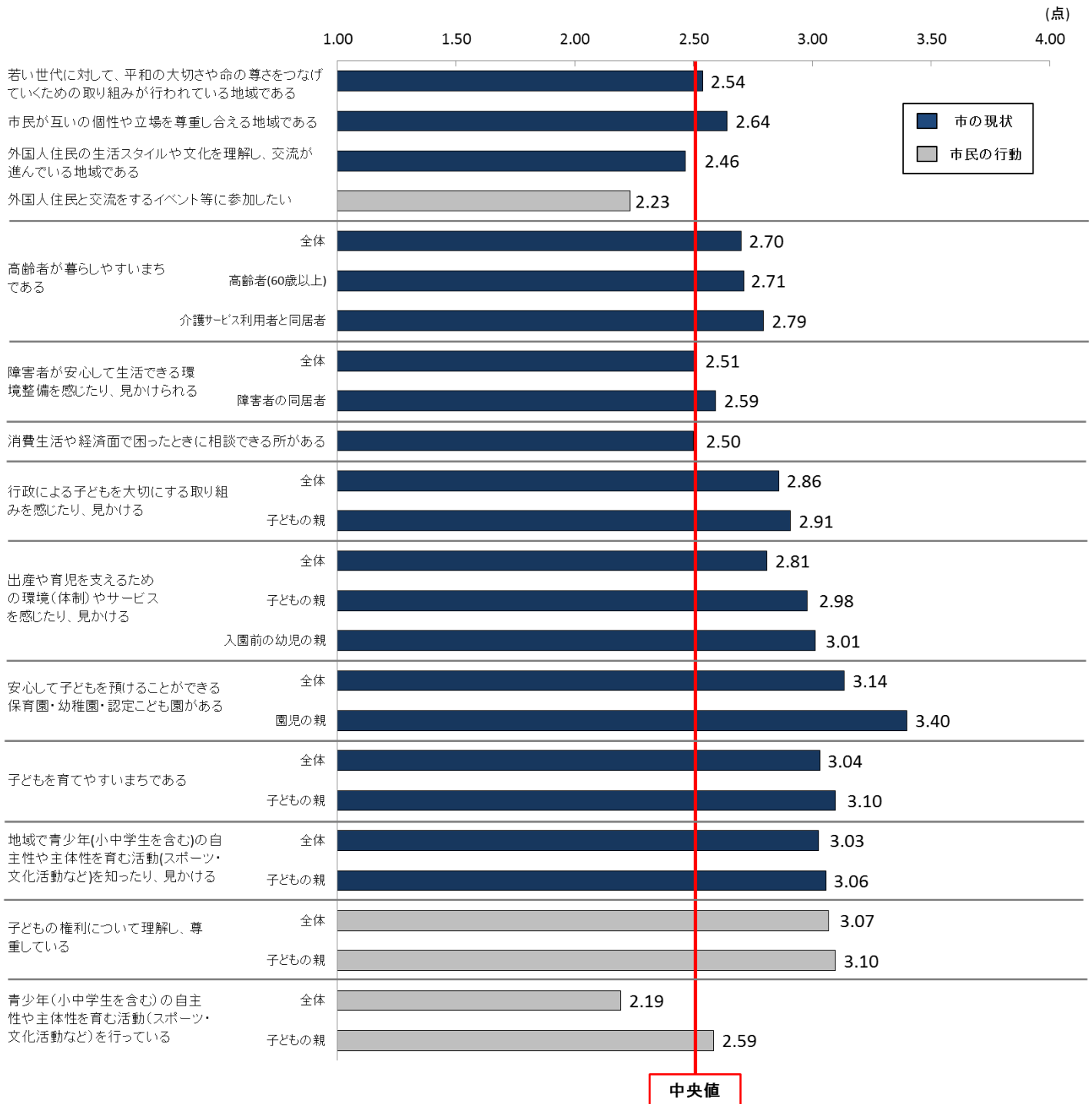


※2) 高校生以下の子ども

②平均点

- ・基本目標2「一人ひとりが輝き大切にされるまち」のなかで平均点が最も高い項目は、「安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園・認定こども園がある」であり、市民全体では3.14点、園児の親では3.40点であった。
- ・市の現状評価のなかで、中央値(2.5点)より低い項目は、「外国人住民の生活スタイルや文化を理解し、交流が進んでいる地域である」のみであった。
- ・「外国人住民との交流」と「青少年の自主性や主体性を育む活動」については、市や地域に対する評価と自身の行動を比較すると、0.2点以上の差がみられる。

図表 23 平均点・全体の比較



・年代別にみると、「外国人住民と交流をするイベント等に参加したい」は20代前半で平均点が中央値を超えている。

図表 24 年代別比較・松本市の現状について

施策	18～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	全体
若い世代に対して、平和の大切さや命の尊さをつなげていくための取り組みが行われている地域である	2.89	2.36	2.52	2.38	2.45	2.56	2.64	2.36	2.49	2.49	2.69	2.60	2.54
市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域である	2.98	2.56	2.60	2.52	2.51	2.69	2.72	2.58	2.53	2.65	2.76	2.65	2.64
外国人住民の生活スタイルや文化を理解し、交流が進んでいる地域である	2.94	2.58	2.54	2.51	2.46	2.50	2.51	2.42	2.28	2.39	2.44	2.27	2.46
高齢者が暮らしやすいまちである	3.02	2.67	2.60	2.72	2.71	2.66	2.66	2.59	2.60	2.65	2.83	2.75	2.70
障害者が安心して生活できる環境整備を感じたり、見かけられる	2.64	2.49	2.57	2.51	2.54	2.48	2.47	2.35	2.41	2.53	2.65	2.53	2.51
消費生活や経済面で困ったときに相談できる所がある	2.73	2.41	2.52	2.42	2.55	2.66	2.46	2.19	2.45	2.47	2.58	2.54	2.50
行政による子どもを大切にしている取り組みを感じたり、見かける	2.90	2.68	2.86	2.88	2.77	2.88	2.93	2.73	2.68	2.83	3.09	3.00	2.86
出産や育児を支えるための環境(体制)やサービスを感じたり、見かける	2.74	2.68	2.89	2.90	2.92	2.86	2.86	2.67	2.52	2.75	2.96	2.86	2.81
安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園・認定こども園がある	3.04	3.06	3.08	3.14	3.22	3.08	3.09	3.01	2.96	3.14	3.30	3.33	3.14
子どもを育てやすいまちである	3.08	2.97	2.98	3.00	3.01	3.01	3.12	2.98	2.85	2.98	3.21	3.21	3.04
地域で青少年(小中学生を含む)の自主性や主体性を育む活動(スポーツ・文化活動など)を知ったり、見かける	3.31	2.93	2.97	3.00	2.96	3.03	3.12	3.09	2.88	2.95	3.07	3.13	3.03

図表 25 年代別比較・市民の行動について

施策	18～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	全体
外国人住民と交流をするイベント等に参加したい	2.65	2.18	2.38	2.31	2.13	2.25	2.19	2.24	2.47	2.17	2.09	2.04	2.23
子どもの権利について理解し、尊重している	3.21	2.87	3.08	3.00	3.00	3.01	3.00	3.04	2.96	3.12	3.24	3.24	3.07
青少年(小中学生を含む)の自主性や主体性を育む活動(スポーツ・文化活動など)を行っている	2.65	1.69	2.17	2.24	2.41	2.35	2.21	1.92	1.97	2.03	2.29	2.35	2.19

※各項目全体より0.2点以上高いセルは青色、0.2点以上低いセルには黄色を付けている。

(2) 経年比較分析

①平均点の推移

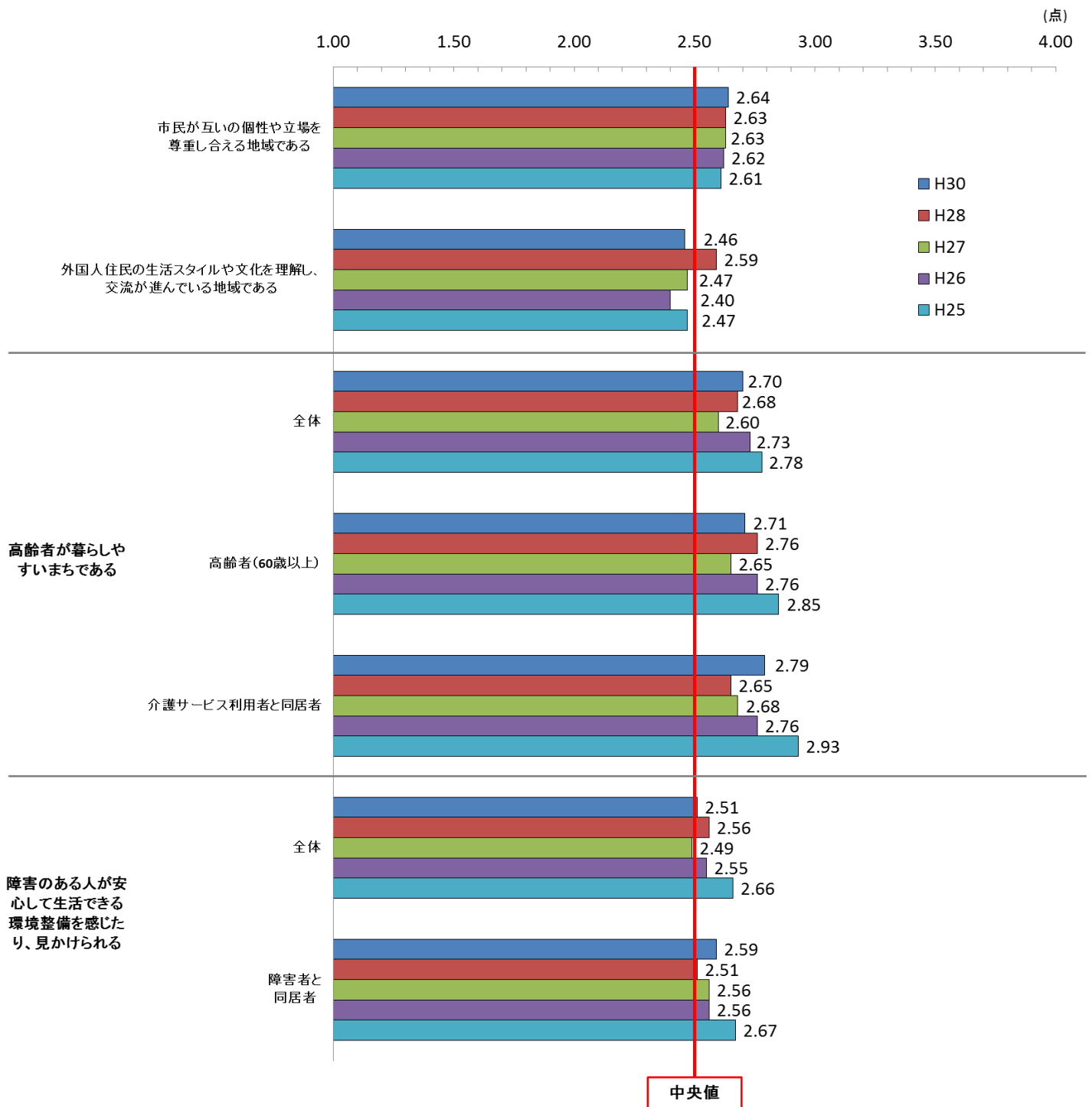
- ・過去5年間の結果と比較しても、概ね傾向は変わっていない。
- ・「消費生活や経済面で困ったときに相談できる所がある」は、今年度は中央値2.5点を上回った。

図表 26 経年比較・平均点の推移

基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象	平均点					
			差 H30-H28	H30	H28	H27	H26	H25
2-1-1 平和意識の向上	若い世代に対して、平和の大切さや命の尊さをつなげていくための取り組みが行われている地域である	市	-0.33	2.54	2.87	-	-	-
2-1-2 人権尊重の推進	市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域である	市	0.01	2.64	2.63	2.63	2.62	2.61
2-1-3 多文化共生の推進	外国人住民の生活スタイルや文化を理解し、交流が進んでいる地域である	市	-0.13	2.46	2.59	2.47	2.40	2.47
	外国人住民と交流をするイベント等に参加したい	市民	0.00	2.23	2.23	-	-	-
2-2-1 高齢者福祉の充実	高齢者が暮らしやすいまちである	全体	0.02	2.70	2.68	2.60	2.73	2.78
		【高齢者(60歳以上)】	-0.05	2.71	2.76	2.65	2.76	2.85
		介護サービス利用者と同居者	0.14	2.79	2.65	2.68	2.76	2.93
2-2-2 障害者(児)福祉の充実	障害のある人が安心して生活できる環境整備を感じたり、見かけられる	全体	-0.05	2.51	2.56	2.49	2.55	2.66
		障害者と同居者	0.08	2.59	2.51	2.56	2.56	2.67
2-2-3 生活福祉の充実	消費生活や経済面で困ったときに相談できる所がある	市	0.12	2.50	2.38	-	-	-

※網掛けのセルは中央値2.5未満の項目

図表 27 経年比較・平均点の推移

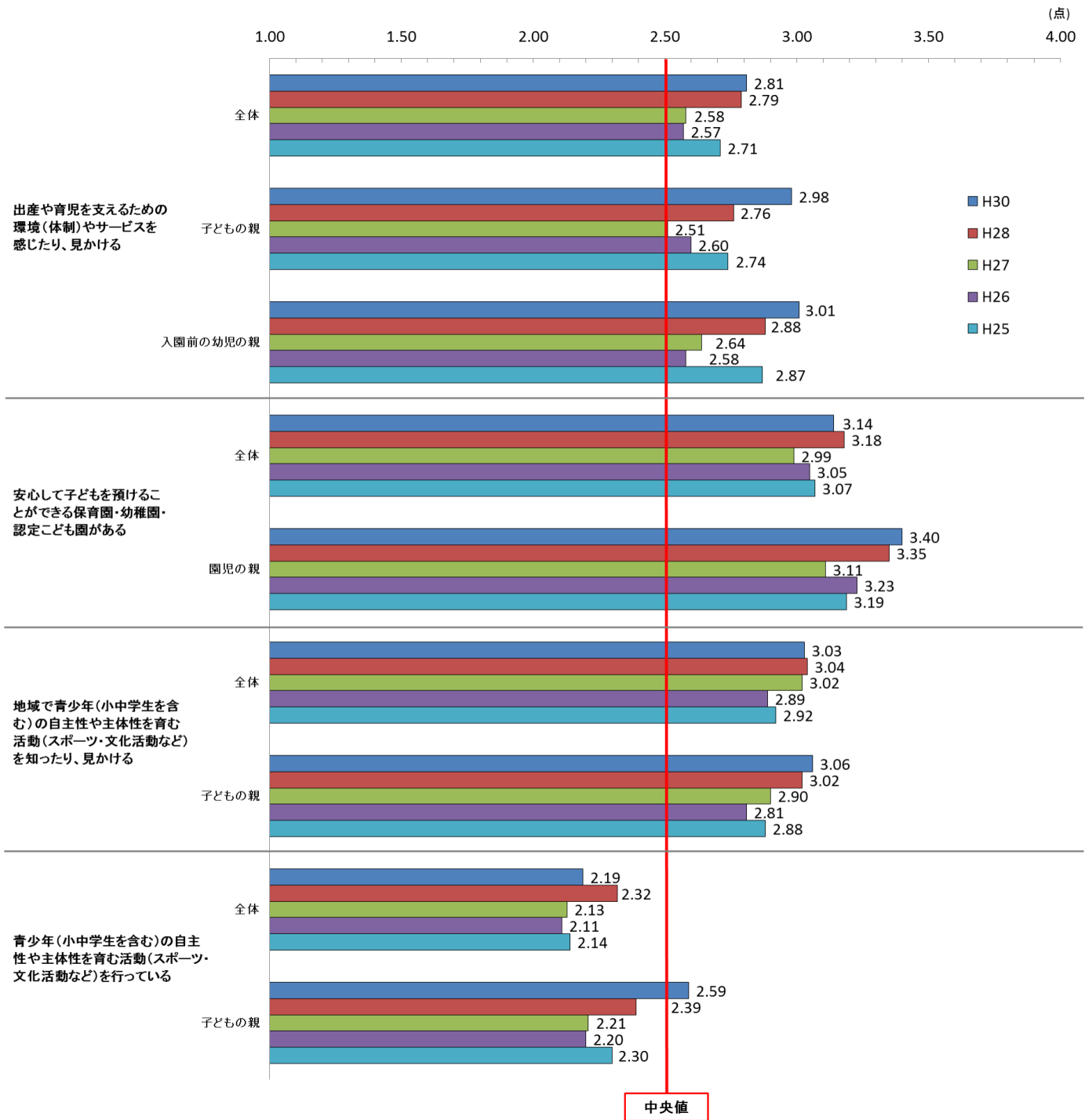


図表 28 経年比較・平均点の推移（受益者が限定される項目）

基本施策 (個別目標)	調査項目		評価対象	平均点					
				差 H30-H28	H30	H28	H27	H26	H25
2-3-1 子どもの権利の 推進	行政による 子どもを大切 にする取組 が行われて いる	全体	市	-0.08	2.86	2.94	-	-	-
		子どもの 親		0.02	2.91	2.89	-	-	-
	子どもの権 利について 理解し、尊重 している	全体	市民	0.05	3.07	3.02	-	-	-
		子どもの 親		0.07	3.10	3.03	-	-	-
2-3-2 出産・子育て環境 の充実	出産や育児 を支えるため の環境(体制)やサービ スが充実して いる	全体	市	0.02	2.81	2.79	2.58	2.57	2.71
		子どもの 親		0.22	2.98	2.76	2.51	2.60	2.74
		入園前の 幼児の親		0.13	3.01	2.88	2.64	2.58	2.87
2-3-3 保育環境の充実	安心して子ど もを預けるこ とができる保 育園・幼稚園・認 定こども園が ある	全体	市	-0.04	3.14	3.18	2.99	3.05	3.07
		園児の親		0.05	3.40	3.35	3.11	3.23	3.19
	子どもを育て やすいまちで ある	全体	市	-0.02	3.04	3.06	-	-	-
		子どもの 親		0.04	3.10	3.06	-	-	-
2-3-4 青少年の健全育 成	地域で青少年 (小中学生を 含む)の自主 性や主体性を 育む活動(ス ポーツ・文化 活動など)が 行われている	全体	市	-0.01	3.03	3.04	3.02	2.89	2.92
		子どもの 親		0.04	3.06	3.02	2.90	2.81	2.88
	青少年(小中 学生を含む) の自主性や主 体性を育む活 動(スポーツ・ 文化活動な ど)を行って いる	全体	市民	-0.13	2.19	2.32	2.13	2.11	2.14
		子どもの 親		0.20	2.59	2.39	2.21	2.20	2.30

※網掛けのセルは中央値 2.5 未満の項目

図表 29 経年比較・平均点の推移（受益者が限定される項目）



②評価保留の割合の推移

- ・「平和意識」「人権尊重」「多文化共生」などの、評価保留の割合が高い傾向は変わらず、微増傾向でもある。
- ・また、受益者が限定される施策は、依然として、回答者全体で評価保留の割合が高い状況が続いている。

図表 30 経年比較・評価保留の割合の推移

基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象	評価保留の割合(%)					
			差 H30-H28	H30	H28	H27	H26	H25
2-1-1 平和意識の向上	若い世代に対して、平和の大切さや命の尊さをつなげていくための取り組みが行われている地域である	市	3.8	36.9	33.1	-	-	-
2-1-2 人権尊重の推進	市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域である	市	3.4	33.5	30.1	27.5	25.9	26.3
2-1-3 多文化共生の推進	外国人住民の生活スタイルや文化を理解し、交流が進んでいる地域である	市	3.7	38.8	35.1	31.1	36.6	38.2
	外国人住民と交流をするイベント等に参加したい	市民	-2.9	18.5	21.4	-	-	-
2-2-1 高齢者福祉の充実	高齢者が暮らしやすいまちである	全体	-0.9	17.5	18.4	18.5	24.8	24.6
		【高齢者(60歳以上)】	-2.5	12.8	15.3	-	17.3	15.3
		介護サービス利用者と同居者	-0.1	6.1	6.2	10.1	10.2	11.5
2-2-2 障害者(児)福祉の充実	障害のある人が安心して生活できる環境整備を感じたり、見かけられる	全体	-5.2	23.9	29.1	26.8	31.2	32.3
		障害者と同居者	-0.7	12.1	12.8	11.2	13.6	15.4
2-2-3 生活福祉の充実	消費生活や経済面で困ったときに相談できる所がある	市	4.5	44.9	40.4	-	-	-

※網掛けのセルは20%以上の項目

図表 31 経年比較・評価保留の割合の推移（受益者が限定される項目）

表基本施策 (個別目標)	調査項目		評価対象	評価保留の割合(%)					
				差 H30-H27	H30	H28	H27	H26	H25
2-3-1 子どもの権利の 推進	行政による 子どもを大切 にする取組 が行われて いる	全体	市	-3.1	28.2	31.3	-	-	-
		子どもの 親		-2.6	8.0	10.6	-	-	-
	子どもの権 利(生きる・ 育つ・守られ る・参加す る)について 理解し、尊重 している	全体	市民	-8.2	22.1	30.3	-	-	-
		子どもの 親		-11.2	7.7	18.9	-	-	-
2-3-2 出産・子育て環境 の充実	出産や育児 を支えるため の環境(体制)やサー ビスが充実して いる	全体	市	-0.8	34.2	35.0	33.5	35.0	36.0
		子どもの 親		-3.7	7.9	11.6	13.1	14.2	14.2
		入園前 の幼児の親		1.3	2.4	1.1	3.4	3.5	3.7
2-3-3 保育環境の充実	安心して子 どもを預けるこ とができる保 育園・幼稚園・認 定こども園が ある	全体	市	-3.5	23.4	26.9	28.2	30.5	29.7
		園児の親		-2.3	1.1	3.4	1.9	1.4	0.0
	子どもを育 てやすいまち である	全体	市	-1.1	23.3	24.4	-	-	-
		子どもの 親		-0.4	3.9	4.3	-	-	-
2-3-4 青少年の健全育 成	地域で青年 (小中学生を 含む)の自主 性や主体性を 育む活動(ス ポーツ・文化 活動など)を知 ったり、見かけ る	全体	市	-5.2	27.4	32.6	33.4	36.3	32.9
		子どもの 親		-7.0	13.2	20.2	22.4	26.3	23.7
	青少年(小中 学生を含む) の自主性や主 体性を育む活 動(スポーツ・ 文化活動な ど)を行って いる	全体	市民	-4.6	23.6	28.2	21.4	20.9	20.1
		子どもの 親		-5.6	11.2	16.8	11.0	12.0	11.1

※網掛けのセルは20%以上の項目

4.【基本目標3】安全・安心で支えあいの心がつなぐまち

本市では、暮らしを支える社会基盤の充実と、防災・防犯対策により、快適でゆとりある日々を実感できるよう、地域ぐるみで助けあうまちづくりを進めている。

■基本施策と評価項目

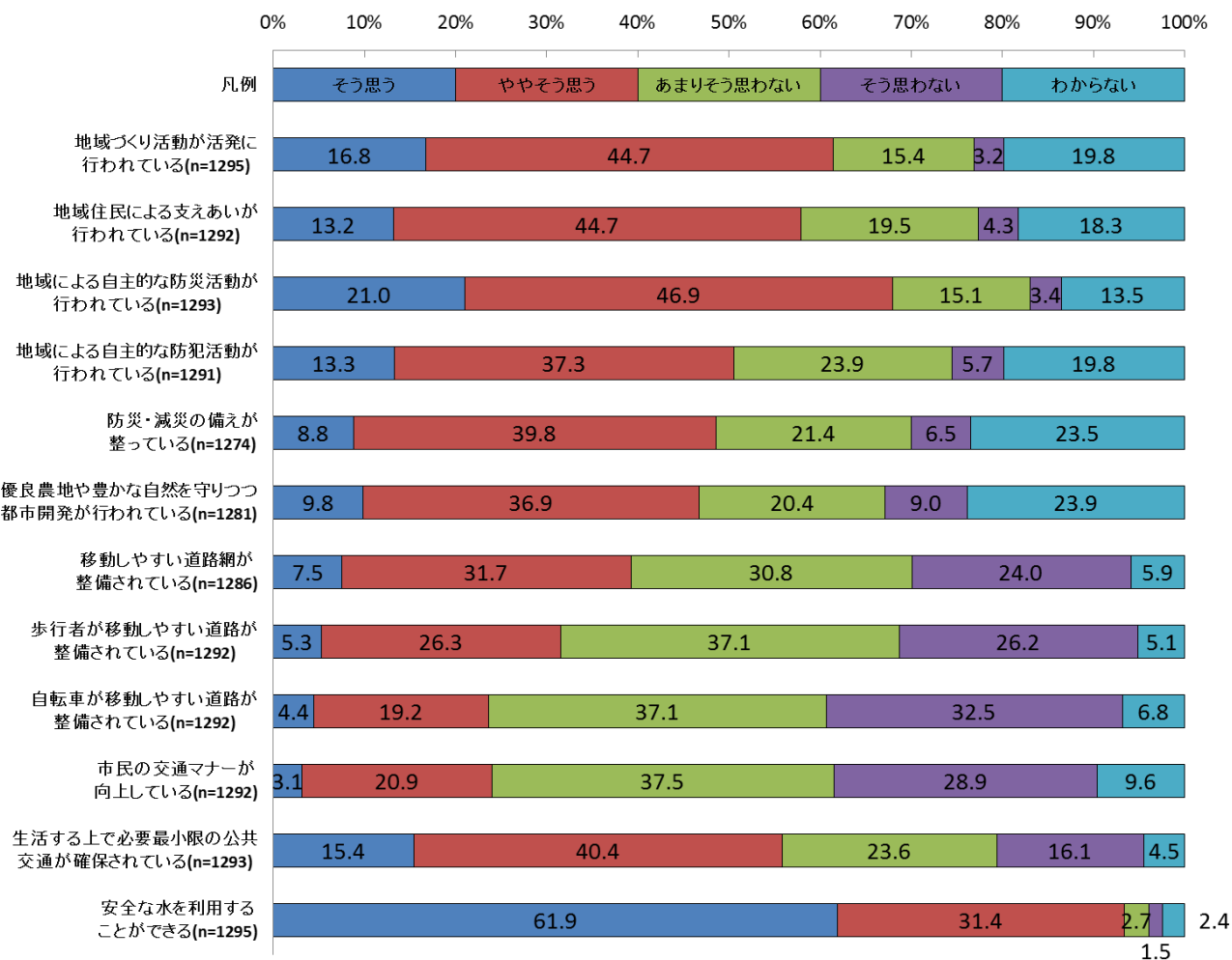
政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象
3-1 地域の支え合いを育む まち	3-1-1 地域づくりの推進	地域づくり活動が活発に行われている	市
		地域で行われている活動やボランティア活動に参加している	市民
	3-1-2 地域福祉活動の推進	地域住民による支えあいが行われている	市
		地域の人と積極的に関わりを持っている	市民
	3-1-3 地域防災活動の推進	地域による自主的な防災活動が行われている	市
		地域の自主的な防災活動に参加している	市民
	3-1-4 地域防犯活動の推進	地域による自主的な防犯活動が行われている	市
		地域の自主的な防犯活動に参加している	市民
3-2 災害を最小限に抑える まち	3-2-1 危機管理体制の強化	防災・減災の備えが整っている	市
	3-2-2 防災機能の充実	災害に対する備えをしている	市民
3-3 住みやすさを感じるまち	3-3-1 調和した土地利用の推進	優良農地や豊かな自然を守りつつ都市開発が行われている	市
	3-3-2 道路整備の推進	移動しやすい道路網が整備されている	市
		歩行者が移動しやすい道路が整備されている	市
		自転車移動しやすい道路が整備されている	市
	3-3-3 交通安全対策の充実	市民の交通マナーが向上している	市
		交通マナーを意識しながら、移動をしている	市民
	3-3-4 交通のまちづくりの推進	生活する上で必要最小限の公共交通が確保されている	市
		すすんで公共交通を利用している	市民
3-3-5 水道水の安定供給	安全な水を利用することができる	市	
3-3-6 下水道の適正な維持管理	調査項目を設定しなかった		

(1) 今年度調査結果

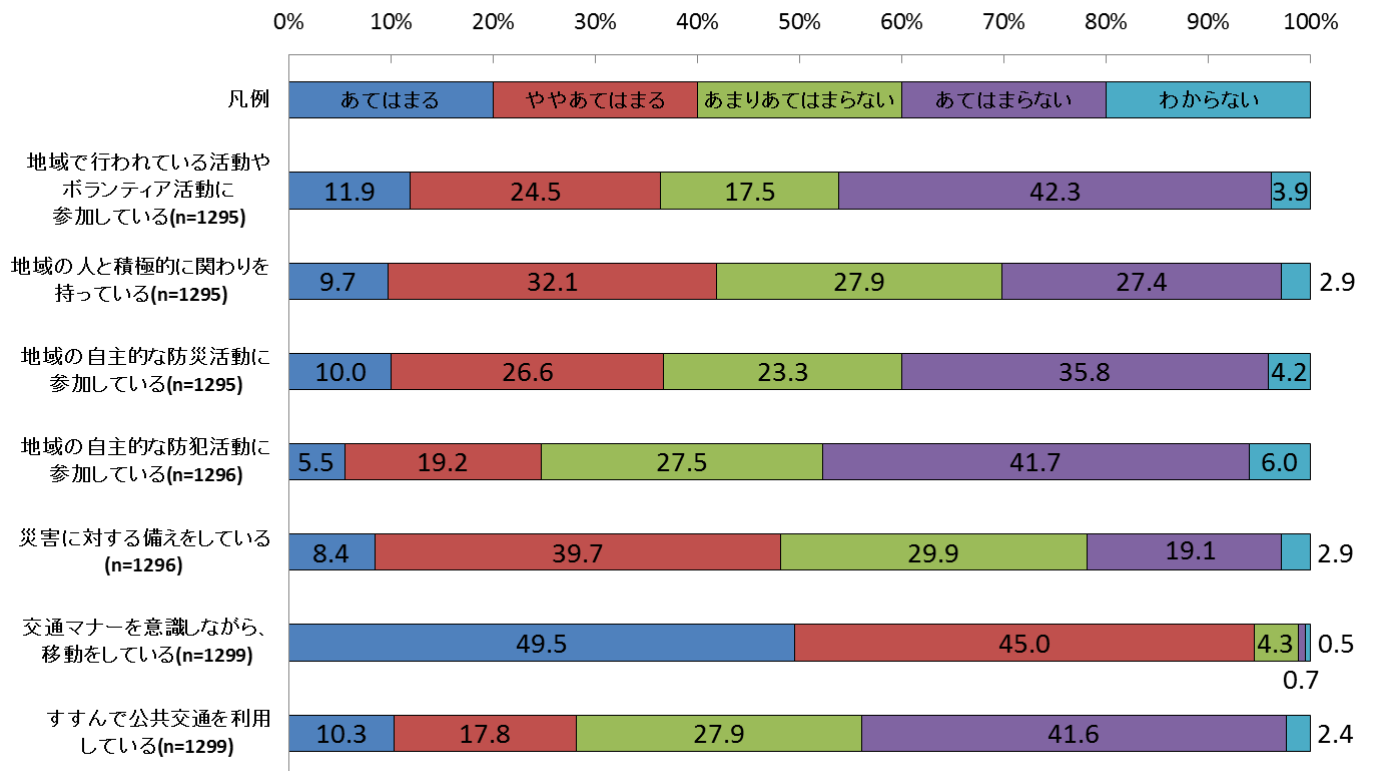
①度数分布

- 「道路整備の推進」の3項目については、肯定的評価が2~4割と低い傾向にあるが、「生活する上で必要最小限の公共交通が確保されている」については、肯定的評価が55.8%であった。
- 「交通安全対策の充実」について、「市民の交通マナーが向上している」の肯定的評価が24.0%であり、基本目標3の調査項目のなかでも低い。これに対し、自身の行動の「交通マナーを意識しながら、移動をしている」は、94.5%が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答しており、個人の意識と市への評価に大きな乖離がみられる。
- 「安全な水を利用することができる」は93.3%の市民が肯定的に評価している。

図表 32 松本市の現状について



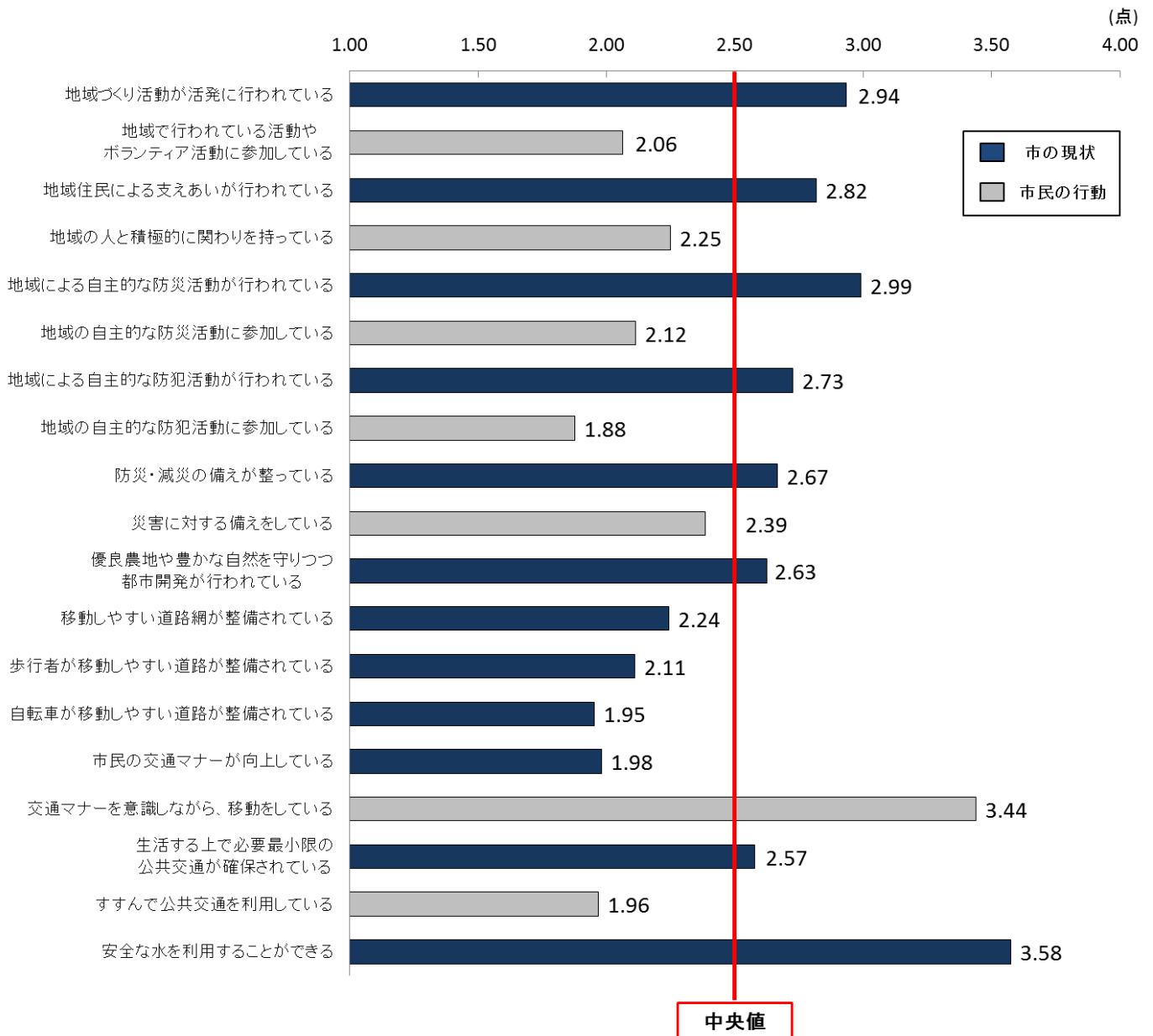
図表 33 市民の行動について



②平均点

- ・市の現状については「道路整備の推進（移動しやすい）（歩行者が移動しやすい）（自転車が移動しやすい）」の3項目、「市民の交通マナーが向上している」が、中央値2.5点未満である。
- ・市民の行動については、「交通マナーを意識しながら、移動をしている」以外は、すべての項目が中央値2.5点より低い結果であった。
- ・「地域づくり・地域福祉活動・地域防災活動・地域防犯活動の推進」の各施策については、市の現状評価より市民行動の評価が低い。特に「地域の自主的な防犯活動に参加している」は、1.88点であり、全体の中で最も低い。

図表 34 平均点・全体の比較



- ・全体での評価が低い道路整備の推進のうち（歩行者が移動しやすい）（自転車が移動しやすい）の2項目、「市民の交通マナーが向上している」については、10代、20代の評価が全体より0.2点以上高い。
- ・「地域づくり・地域福祉活動・地域防災活動・地域防犯活動の推進」の市民の行動は、65代以上の評価は全体より0.2点以上高い。一方で10代から30代の評価は全体より0.2点以上低い結果となっている。地域づくりに若い世代の参加が少ないことが伺える。

図表 35 年代別比較・松本市の現状について

施策	18～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	全体
地域づくり活動が活発に行われている	3.19	2.92	2.89	2.90	2.85	2.96	2.87	2.85	2.94	2.89	2.97	3.15	2.94
地域住民による支えあいが行われている	3.02	2.69	2.77	2.82	2.81	2.85	2.85	2.84	2.74	2.72	2.88	2.93	2.82
地域による自主的な防犯活動が行われている	3.13	2.74	2.83	2.96	3.01	3.06	3.02	2.94	2.92	2.93	3.08	3.16	2.99
地域による自主的な防災活動が行われている	2.95	2.49	2.64	2.69	2.72	2.83	2.62	2.72	2.63	2.69	2.74	2.95	2.73
防災・減災の備えが整っている	2.70	2.60	2.55	2.61	2.75	2.86	2.70	2.51	2.38	2.65	2.74	2.86	2.67
優良農地や豊かな自然を守りつつ都市開発が行われている	2.98	2.71	2.92	2.56	2.84	2.69	2.69	2.49	2.44	2.50	2.43	2.59	2.63
移動しやすい道路網が整備されている	2.43	2.34	2.29	2.14	2.19	2.08	2.11	2.17	2.00	2.31	2.40	2.48	2.24
歩行者が移動しやすい道路が整備されている	2.50	2.29	2.19	1.94	2.07	1.97	1.99	1.96	1.94	2.20	2.19	2.28	2.11
自転車が移動しやすい道路が整備されている	2.30	2.04	2.07	1.81	1.89	1.87	1.96	1.83	1.78	1.98	2.02	2.08	1.95
市民の交通マナーが向上している	2.25	1.78	1.95	1.85	1.92	1.83	1.89	1.90	1.89	2.10	2.14	2.12	1.98
生活する上で必要最小限の公共交通が確保されている	2.78	2.80	2.81	2.85	2.35	2.58	2.56	2.37	2.39	2.57	2.62	2.50	2.57
安全な水を利用することができる	3.63	3.58	3.62	3.51	3.62	3.50	3.53	3.55	3.58	3.56	3.63	3.62	3.58

図表 36 年代別比較・市民の行動について

施策	18～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	全体
地域で行われている活動やボランティア活動に参加している	1.71	1.26	1.65	1.77	2.10	1.97	2.13	2.06	2.01	2.43	2.34	2.37	2.06
地域の人と積極的に関わりを持っている	1.87	1.51	1.89	2.01	2.21	2.30	2.31	2.30	2.27	2.46	2.44	2.64	2.25
地域の自主的な防災活動に参加している	1.72	1.26	1.62	1.71	1.95	2.16	2.04	2.20	2.20	2.47	2.46	2.57	2.12
地域の自主的な防犯活動に参加している	1.59	1.13	1.58	1.52	1.75	1.97	1.83	1.91	1.92	2.22	2.07	2.23	1.88
災害に対する備えをしている	2.43	2.13	2.36	2.27	2.38	2.34	2.32	2.37	2.31	2.46	2.57	2.49	2.39
交通マナーを意識しながら、移動をしている	3.46	3.25	3.51	3.42	3.36	3.36	3.28	3.39	3.58	3.46	3.54	3.57	3.44
すすんで公共交通を利用している	2.73	2.05	1.78	1.77	1.88	1.82	1.88	1.84	1.90	1.79	2.03	2.40	1.96

※各項目全体より0.2点以上高いセルは青色、0.2点以上低いセルには黄色を付けている。

(2) 経年比較分析

①平均点の推移

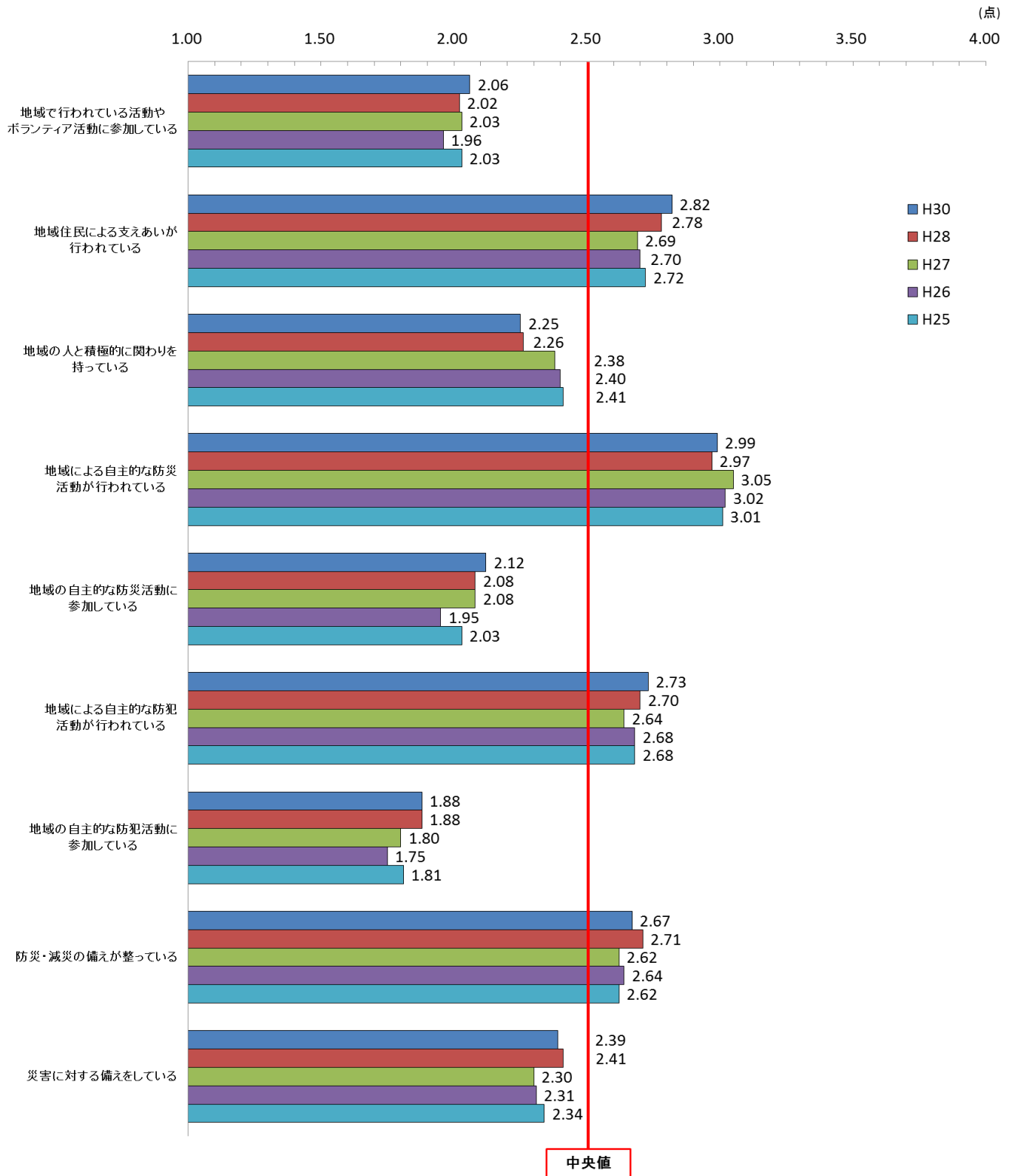
・過去5年間の結果と比較しても、概ね傾向は変わっていない。

図表 37 経年比較・平均点の推移

基本施策 (個別目標)	調査項目	評価 対象	平均点					
			差 H30-H28	H30	H28	H27	H26	H25
3-1-1 地域づくりの推進	地域づくり活動が活発に行われている	市	0.03	2.94	2.91	—	—	—
	地域で行われている活動やボランティア活動に参加している	市民	0.04	2.06	2.02	2.03	1.96	2.03
3-1-2 地域福祉活動の推進	地域住民による支えあいが行われている	市	0.04	2.82	2.78	2.69	2.70	2.72
	地域の人と積極的に関わりを持っている	市民	-0.01	2.25	2.26	2.38	2.40	2.41
3-1-3 地域防災活動の推進	地域による自主的な防災活動が行われている	市	0.02	2.99	2.97	3.05	3.02	3.01
	地域の自主的な防災活動に参加している	市民	0.04	2.12	2.08	2.08	1.95	2.03
3-1-4 地域防犯活動の推進	地域による自主的な防犯活動が行われている	市	0.03	2.73	2.70	2.64	2.68	2.68
	地域の自主的な防犯活動に参加している	市民	0.00	1.88	1.88	1.80	1.75	1.81
3-2-1 危機管理体制の強化	防災・減災の備えが整っている	市	-0.04	2.67	2.71	2.62	2.64	2.62
3-2-2 防災機能の充実	災害に対する備えをしている	市民	-0.02	2.39	2.41	2.30	2.31	2.34

※網掛けのセルは中央値 2.5 未満の項目

図表 38 経年比較・平均点の推移



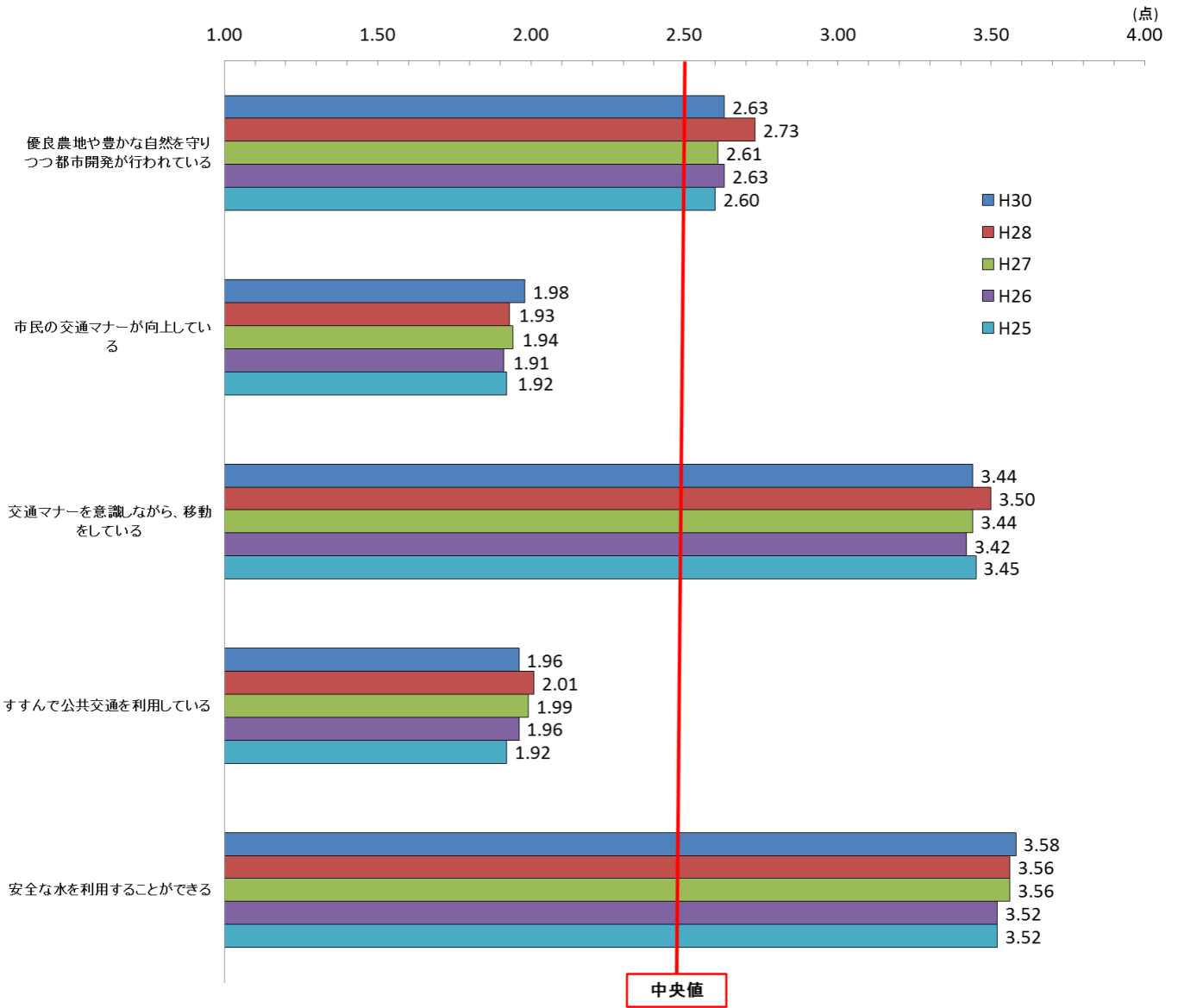
・過去5年間の結果と比較しても、概ね傾向は変わっていない。

図表 39 経年比較・平均点の推移

基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象	平均点					
			差 H30-H28	H30	H28	H27	H26	H25
3-3-1 調和した土地利用 の推進	優良農地や豊かな自然 を守りつつ都市開発が 行われている	市	-0.10	2.63	2.73	2.61	2.63	2.60
3-3-2 道路整備の推進	移動しやすい道路網が 整備されている	市	-0.03	2.24	2.27	-	-	-
	歩行者が移動しやすい 道路が整備されている	市	-0.05	2.11	2.16	-	-	-
	自転車が移動しやすい 道路が整備されている	市	-0.04	1.95	1.99	-	-	-
3-3-3 交通安全対策 の充実	市民の交通マナーが向 上している	市	0.05	1.98	1.93	1.94	1.91	1.92
	交通マナーを意識しなが ら、移動をしている	市民	-0.06	3.44	3.50	3.44	3.42	3.45
3-3-4 交通のまちづくりの 推進	生活する上で必要最小 限の公共交通が確保さ れている	市	0.01	2.57	2.56	-	-	-
	すすんで公共交通を利 用している	市民	-0.05	1.96	2.01	1.99	1.96	1.92
3-3-5 水道水の安定供給	安全な水を利用すること ができる	市	0.02	3.58	3.56	3.56	3.52	3.52
3-3-6 下水道の適正な維持管 理	調査項目を設定しなかった							

※網掛けのセルは中央値 2.5 未満の項目

図表 40 経年比較・平均点の推移



②評価保留の割合の推移

・「地域づくり・地域福祉活動・地域防災活動・地域防犯活動の推進」の各項目については、依然として13～19%で推移している。

図表 41 経年比較・評価保留の割合の推移

基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象	評価保留の割合(%)					
			差 H30-H28	H30	H28	H27	H26	H25
3-1-1 地域づくりの推進	地域づくり活動が活発に行われている	市	2.4	19.8	17.4	—	—	—
	地域で行われている活動やボランティア活動に参加している	市民	-0.2	3.9	4.1	3.3	3.6	3.3
3-1-2 地域福祉活動の推進	地域住民による支えあいが行われている	市	0.2	18.3	18.1	15.4	13.6	15.2
	地域の人と積極的に関わりを持っている	市民	-0.2	2.9	3.1	2.6	2.3	2.4
3-1-3 地域防災活動の推進	地域による自主的な防災活動が行われている	市	-1.3	13.5	14.8	13.8	13.5	11.4
	地域の自主的な防災活動に参加している	市民	-0.1	4.2	4.3	3.3	3.5	3.9
3-1-4 地域防犯活動の推進	地域による自主的な防犯活動が行われている	市	0.9	19.8	18.9	18.5	17.0	16.3
	地域の自主的な防犯活動に参加している	市民	0.3	6.0	5.7	4.7	5.0	5.4
3-2-1 危機管理体制の強化	防災・減災の備えが整っている	市	0.8	23.5	22.7	19.3	22.1	19.9
3-2-2 防災機能の充実	災害に対する備えをしている	市民	0.5	2.9	2.4	2.4	2.0	2.5

※網掛けのセルは20%以上の項目

- ・「優良農地や豊かな自然を守りつつ都市開発が行われている」については、前回調査からさらに0.5%上がり、23.9%となっている。

図表 42 経年比較・評価保留の割合の推移

基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象	評価保留の割合(%)					
			差 H30-H28	H30	H28	H27	H26	H25
3-3-1 調和した土地利用 の推進	優良農地や豊かな自然 を守りつつ都市開発が 行われている	市	0.5	23.9	23.4	15.8	19.0	17.4
3-3-2 道路整備の推進	移動しやすい道路網が 整備されている	市	0.1	5.9	5.8	-	-	-
	歩行者が移動しやすい 道路が整備されている	市	-0.5	5.1	5.6	-	-	-
	自転車が移動しやすい 道路が整備されている	市	0.6	6.8	6.2	-	-	-
3-3-3 交通安全対策 の充実	市民の交通マナーが向 上している	市	0.0	9.6	9.6	8.1	8.0	8.5
	交通マナーを意識しな がら、移動をしている	市民	-0.6	0.5	1.1	0.8	0.6	1.7
3-3-4 交通のまちづくりの 推進	生活する上で必要最小 限の公共交通が確保さ れている	市	-1.1	4.5	5.6	-	-	-
	すすんで公共交通を利 用している	市民	0.3	2.4	2.1	2.0	1.9	2.1
3-3-5 水道水の安定供給	安全な水を利用すること ができる	市	-0.8	2.4	3.2	2.7	3.3	2.7

※網掛けのセルは20%以上の項目

5.【基本目標4】 人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち

本市では松本の豊かな自然環境を守り、快適な生活環境を整え、持続可能な循環型の社会が構築できるよう、市民、事業者などと行政が連携するまちづくりを進めている。

■基本施策と評価項目

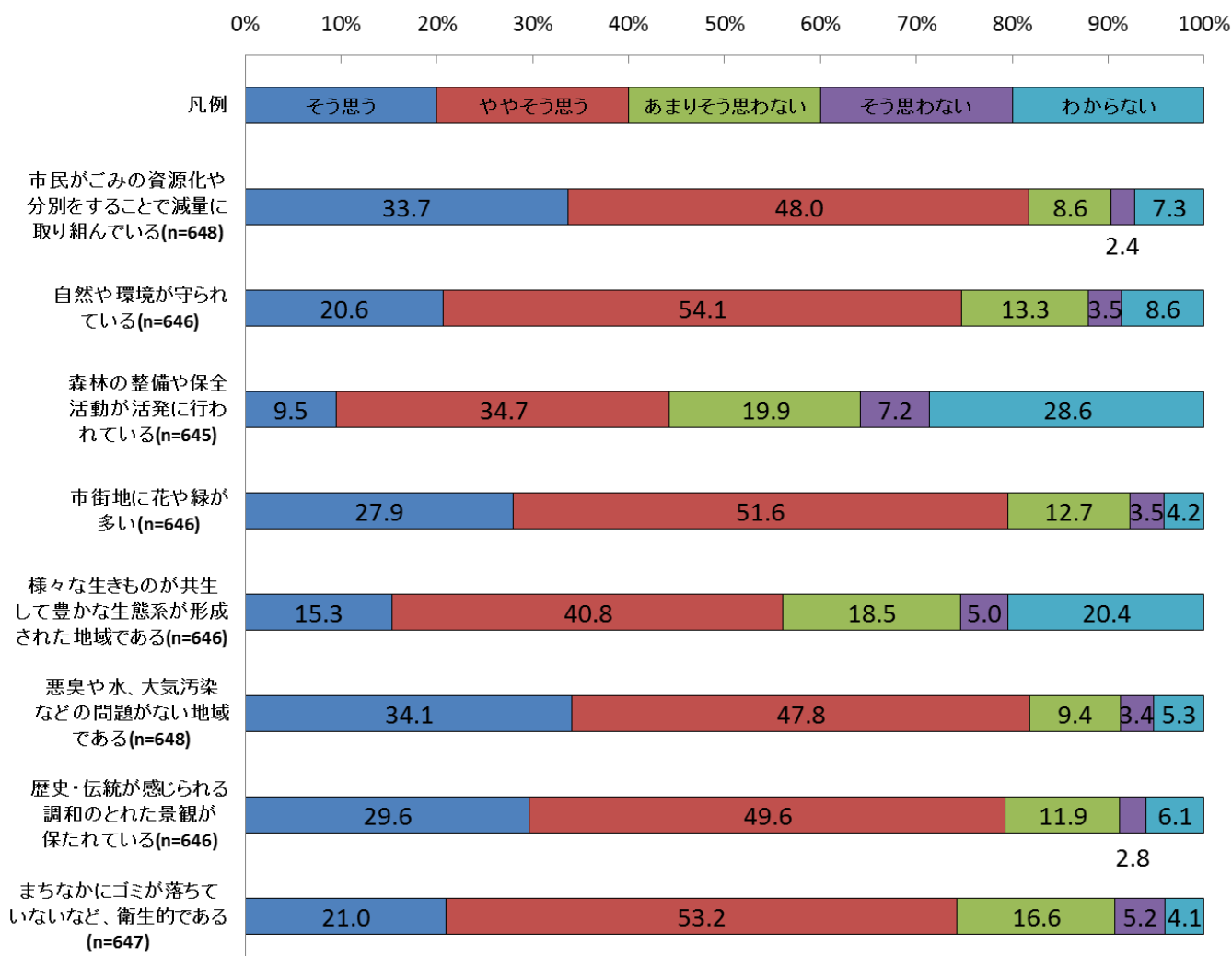
政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象
4-1 環境負荷軽減に取り組むまち	4-1-1 新エネルギー活用の推進	省エネに積極的に取り組んでいる	市民
	4-1-2 3Rの推進	市民がごみの資源化や分別をすることで減量に取り組んでいる	市
		ごみの資源化や分別をすることで減量を行っている	市民
	4-1-3 環境教育の充実	自然や環境が守られている	市
		自然や環境を守るための取り組みや行動をしている	市民
	4-2 自然を守り、育むまち	4-2-1 森林環境整備の推進	森林の整備や保全活動が活発に行われている
4-2-2 花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進		市街地に花や緑が多い	市
		市街地の緑化活動を行っている	市民
4-2-3 生物多様性保全の推進		様々な生きものが共生して豊かな生態系が形成された地域である	市
		環境にやさしい暮らしをしている	市民
4-3 快適な生活環境を育むまち		4-3-1 水・大気などの環境保全の推進	悪臭や水、大気汚染などの問題がない地域である
	4-3-2 景観維持、保全の推進	歴史・伝統が感じられる調和のとれた景観が保たれている	市
	4-3-3 公衆衛生環境の向上	まちなかにゴミが落ちていないなど、衛生的である	市

(1) 今年度調査結果

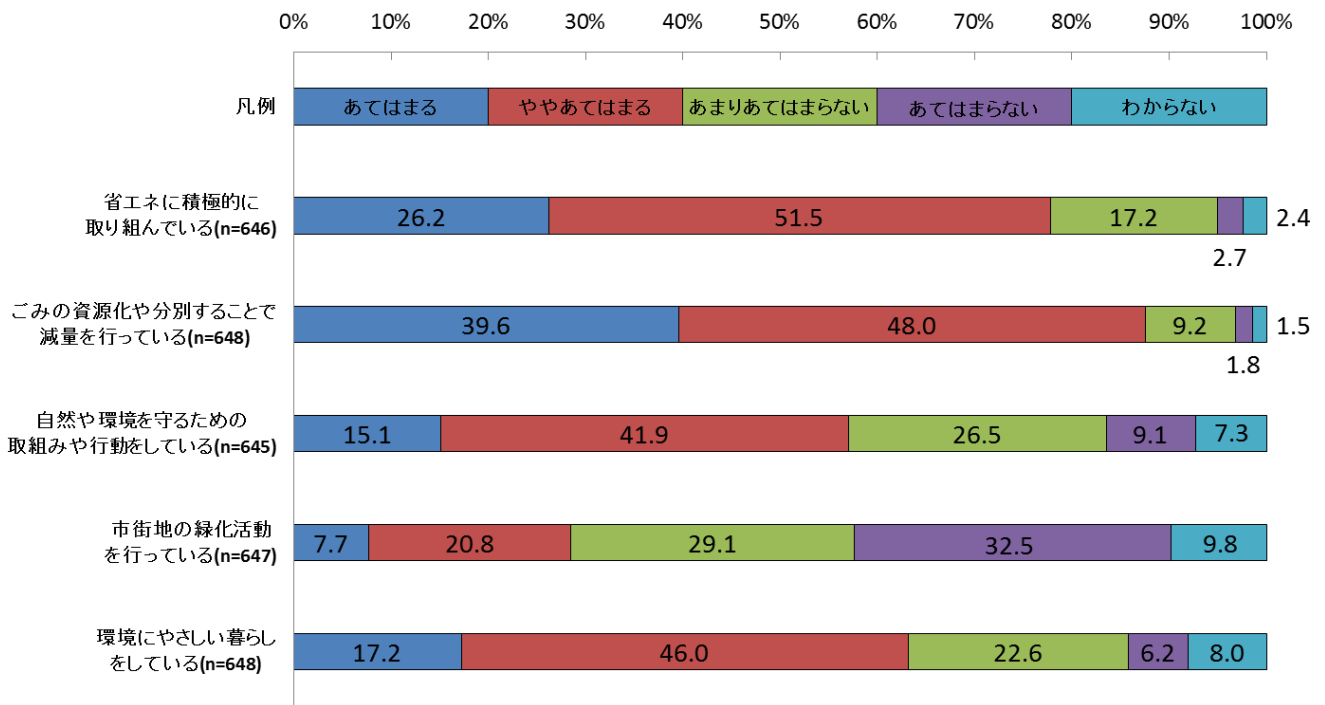
① 度数分布

- ・市の現状の 8 項目のうち、6 項目について、肯定的評価が 70%以上であった。市民の自然や生活環境への意識も高く、市の取組が伝わっていると考えられる。
- ・「森林の整備や保全活動が活発に行われている」は、評価保留の割合が 28.6%と高い。
- ・市民の行動についても、「省エネに積極的に取り組んでいる」「ごみの資源化や分別をすることで減量を行っている」については「あてはまる」「ややあてはまる」が 70%以上であった。
- ・「市街地の緑化活動を行っている」は 28.5%と低い数値となっている。

図表 43 松本市の現状について



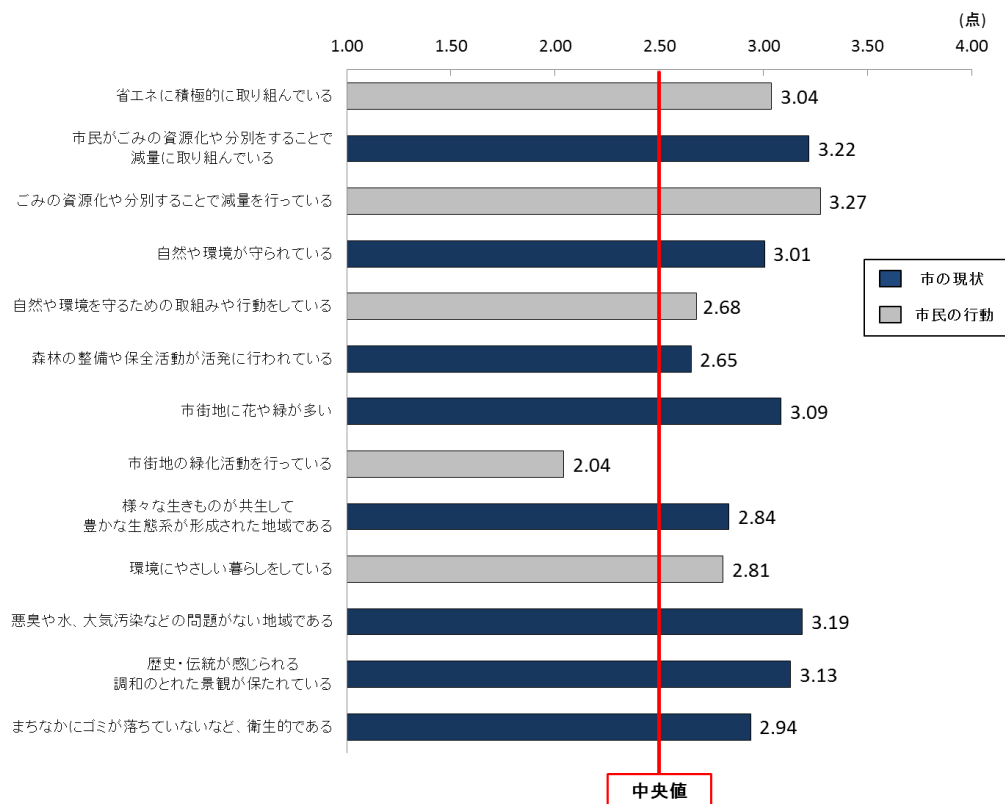
図表 44 市民の行動について



②平均点

- 平均点が最も高い項目は「ごみの資源化や分別をすることで減量を行っている」で3.27点であり、次いで、「市民がごみの資源化や分別をすることで減量に取り組んでいる」の3.22点であった。
- 中央値2.5点より低い項目は、市民の行動の「市街地の緑化活動を行っている」の1項目のみであった。

図表 45 平均点・全体の比較



- ・市の現状については、「市民がごみの資源化や分別をすることで減量に取り組んでいる」はすべての年代で中央値を超え、全体としても数値は高い。
- ・市街地の緑化活動は、すべての年代で中央値を下回っている。

図表 46 年代別比較・松本市の現状について

施策	18～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	全体
市民がごみの資源化や分別をすることで減量に取り組んでいる	3.04	2.73	3.06	2.99	2.97	3.13	3.18	3.09	3.23	3.39	3.46	3.61	3.22
自然や環境が守られている	3.14	2.94	3.07	2.96	2.93	3.08	2.97	2.93	2.93	2.95	3.08	3.13	3.01
森林の整備や保全活動が活発に行われている	2.92	2.88	2.94	2.79	2.68	2.90	2.75	2.52	2.53	2.29	2.50	2.68	2.65
市街地に花や緑が多い	3.14	3.19	3.19	3.06	3.10	3.16	3.12	3.02	2.94	2.94	3.17	3.17	3.09
様々な生きものが共生して豊かな生態系が形成された地域である	3.12	2.98	3.10	2.84	2.92	2.91	2.87	2.72	2.70	2.63	2.88	2.71	2.84
悪臭や水、大気汚染などの問題がない地域である	3.37	3.06	3.07	3.07	3.10	3.20	3.25	3.17	3.13	3.16	3.30	3.33	3.19
歴史・伝統が感じられる調和のとれた景観が保たれている	3.26	3.23	3.20	3.06	3.14	3.26	3.21	3.08	3.00	3.11	3.14	3.05	3.13
まちなかにゴミが落ちていないなど、衛生的である	2.92	2.94	2.86	2.87	2.93	2.98	2.89	2.92	2.84	2.89	3.02	3.12	2.94

図表 47 年代別比較・市民の行動について

施策	18～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	全体
省エネに積極的に取り組んでいる	2.88	2.62	3.00	2.87	2.84	2.91	3.08	3.02	2.96	3.12	3.33	3.38	3.04
ごみの資源化や分別することで減量を行っている	3.19	2.76	3.11	3.05	3.12	3.17	3.28	3.36	3.21	3.41	3.49	3.61	3.27
自然や環境を守るための取組みや行動をしている	2.51	2.33	2.71	2.54	2.66	2.49	2.61	2.65	2.69	2.86	2.82	2.89	2.68
市街地の緑化活動を行っている	2.04	1.56	1.96	1.71	2.02	1.92	1.99	2.03	1.90	2.33	2.22	2.37	2.04
環境にやさしい暮らしをしている	2.61	2.49	2.68	2.48	2.66	2.72	2.74	2.79	2.72	3.01	3.05	3.18	2.81

※各項目全体より 0.2 点以上高いセルは青色、0.2 点以上低いセルには黄色を付けている。

(2) 経年比較分析

①平均点の推移

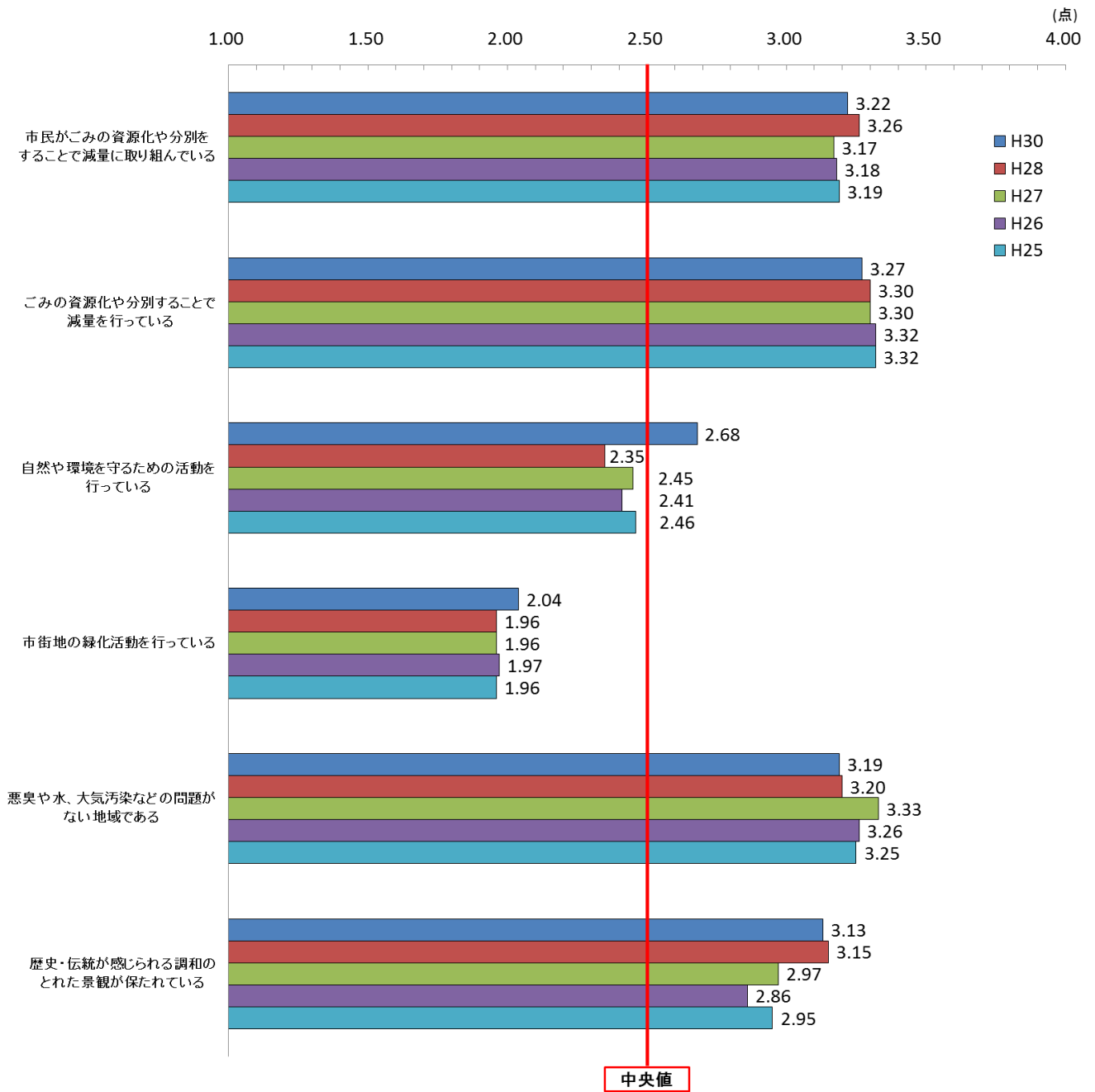
・「自然や環境を守るための活動を行っている」は、今年度は中央値 2.5 点を上回った。

図表 48 経年比較・平均点の推移

基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象	平均点					
			差 H30-H28	H30	H28	H27	H26	H25
4-1-1 新エネルギー活用の 推進	省エネに積極的に取り 組んでいる	市民	-0.03	3.04	3.07	-	-	-
4-1-2 3Rの推進	市民がごみの資源化や 分別をすることで減量に 取り組んでいる	市	-0.04	3.22	3.26	3.17	3.18	3.19
	ごみの資源化や分別を することで減量を行って いる	市民	-0.03	3.27	3.30	3.30	3.32	3.32
4-1-3 環境教育の充実	自然や環境が守られて いる	市	-0.08	3.01	3.09	-	-	-
	自然や環境を守るため の活動を行っている	市民	0.33	2.68	2.35	2.45	2.41	2.46
4-2-1 森林環境整備の推 進	森林の整備や保全活動 が活発に行われている	市	-0.15	2.65	2.80	-	-	-
4-2-2 花のあるまちづくり・ まちなか緑化の推進	市街地に花や緑が多い	市	0.01	3.09	3.08	-	-	-
	市街地の緑化活動を行 っている	市民	0.08	2.04	1.96	1.96	1.97	1.96
4-2-3 生物多様性保全の 推進	様々な生きものが共生し て豊かな生態系が形成 された地域である	市	-0.04	2.84	2.88	-	-	-
	環境にやさしい暮らしを している	市民	-0.06	2.81	2.87	-	-	-
4-3-1 水・大気などの環境 保全の推進	悪臭や水、大気汚染な どの問題がない地域で ある	市	-0.01	3.19	3.20	3.33	3.26	3.25
4-3-2 景観維持、保全の推 進	歴史・伝統が感じられる 調和のとれた景観が保 たれている	市	-0.02	3.13	3.15	2.97	2.86	2.95
4-3-3 公衆衛生環境の向 上	まちなかにゴミが落ちて いないなど、衛生的であ る	市	-0.01	2.94	2.95	-	-	-

※網掛けのセルは中央値 2.5 未満の項目

図表 49 経年比較・平均点の推移



②評価保留の割合の推移

- ・「森林の整備や保全活動が活発に行われている」「様々な生きものが共生して豊かな生態系が形成された地域である」は回答保留が20%以上である。

図表 50 経年比較・評価保留の割合の推移

基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象	評価保留の割合(%)					
			差 H30-H28	H30	H28	H27	H26	H25
4-1-1 新エネルギー活用の 推進	省エネに積極的に取り 組んでいる	市民	-1.1	2.4	3.5	-	-	-
4-1-2 3Rの推進	市民がごみの資源化や 分別をすることで減量に 取り組んでいる	市	0.9	7.3	6.4	6.3	7.5	5.5
	ごみの資源化や分別を することで減量を行って いる	市民	-0.2	1.5	1.7	1.6	1.8	1.1
4-1-3 環境教育の充実	自然や環境が守られて いる	市	0.5	8.6	8.1	-	-	-
	自然や環境を守るため の活動を行っている	市民	-1.4	7.3	8.7	5.9	7.7	6.4
4-2-1 森林環境整備の推 進	森林の整備や保全活動 が活発に行われている	市	-5.4	28.6	34.0	-	-	-
4-2-2 花のあるまちづくり・ まちなか緑化の推進	市街地に花や緑が多い	市	0.2	4.2	4.0	-	-	-
	市街地の緑化活動を行 っている	市民	0.0	9.8	9.8	8.7	8.1	7.8
4-2-3 生物多様性保全の 推進	様々な生きものが共生 して豊かな生態系が形 成された地域である	市	-1.9	20.4	22.3	-	-	-
	環境にやさしい暮らしを している	市民	-2.0	8.0	10.0	-	-	-
4-3-1 水・大気などの環境 保全の推進	悪臭や水、大気汚染な どの問題がない地域で ある	市	-0.3	5.3	5.6	4.9	5.1	4.4
4-3-2 景観維持、保全の推 進	歴史・伝統が感じられる 調和のとれた景観が保 たれている	市	-0.8	6.1	6.9	5.0	9.0	6.6
4-3-3 公衆衛生環境の向 上	まちなかにゴミが落ちて いないなど、衛生的であ る	市	-1.0	4.1	5.1	-	-	-

※網掛けのセルは20%以上の項目

6.【基本目標5】魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち

本市では松本の資源と人材を活かして、産業基盤を強化し、地域のブランド力を高め、地域経済がさらに力強く発展するよう、人が行きかうまちづくりを進めている。

■基本施策と評価項目

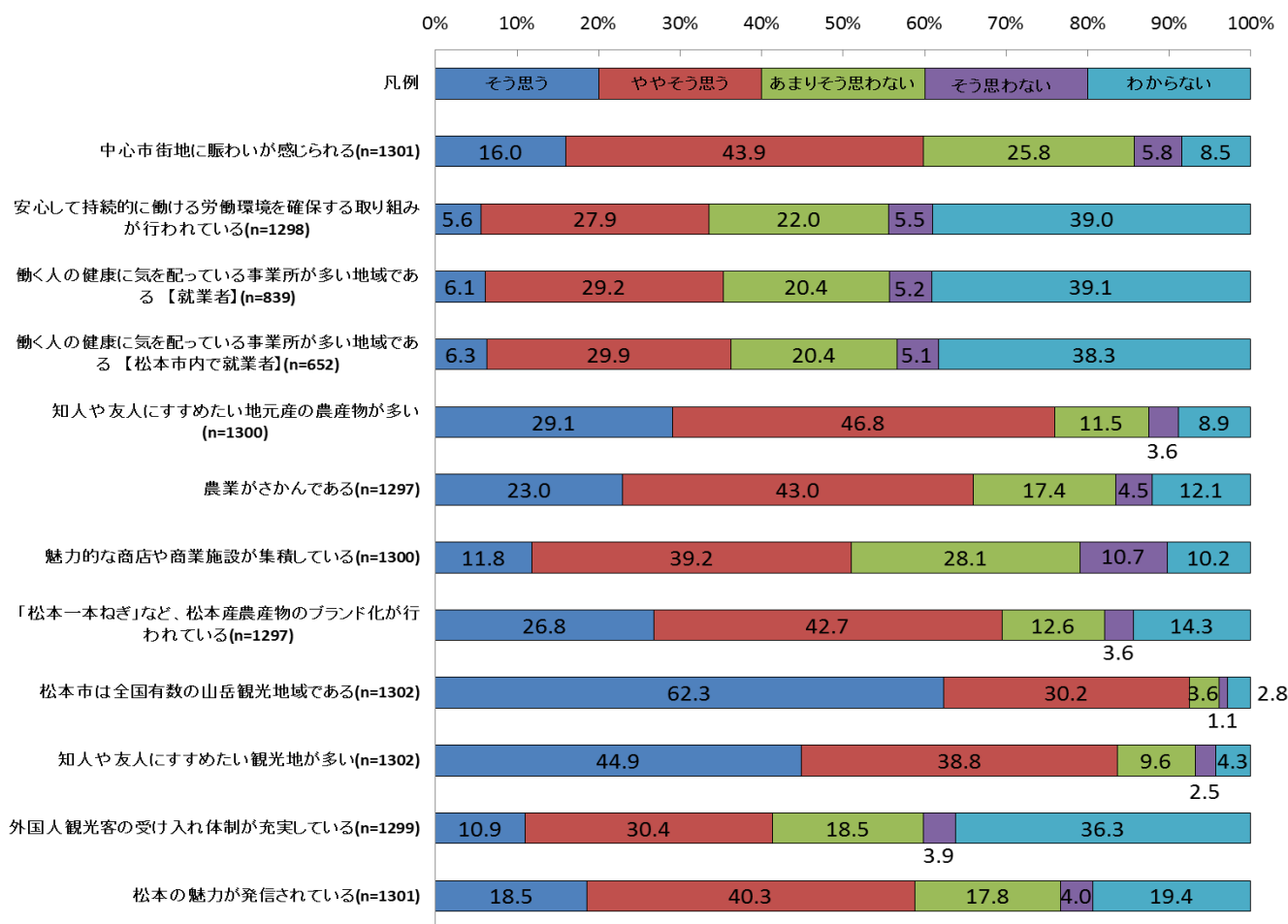
政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象
5-1 地域資源と人材を活かすまち	5-1-1 人材育成・組織づくりの推進	極めて限定的な市民にしか回答できないため調査項目を設定しなかった	
	5-1-2 中心市街地の賑わいの創出	中心市街地に賑わいが感じられる	市
	5-1-3 山岳観光の推進	松本市は全国有数の山岳観光地域である	市
	5-1-4 労働、雇用対策の推進	安心して持続的に働ける労働環境を確保する取り組みが行われている	市
		仕事と健康のバランスを取りながら働いている	市民
5-1-5 健康経営の推進	働く人の健康に気を配っている事業所が多い地域である	市	
5-2 産業の活力を生み、伸ばすまち	5-2-1 農林業の振興と美しい農山村の継承	知人や友人にすすめたい地元産の農産物が多い	市
		農業がさかんである	市
		地元産の農産物を積極的に購入している	市民
	5-2-2 商業の振興	魅力的な商店や商業施設が集積している	市
	5-2-3 ものづくり産業の振興	極めて限定的な市民にしか回答できないため調査項目を設定しなかった	
5-3 松本ブランドを発信するまち	5-3-1 農産物高付加価値化の推進	「松本一本ねぎ」など、松本産農産物のブランド化が行われている	市
	5-3-2 新産業の創出	極めて限定的な市民にしか回答できないため調査項目を設定しなかった	
	5-3-3 戦略的な観光施策の推進	知人や友人にすすめたい観光地が多い	市
		外国人観光客の受け入れ体制が充実している	市
		松本の魅力が発信されている	市

(1) 今年度調査結果

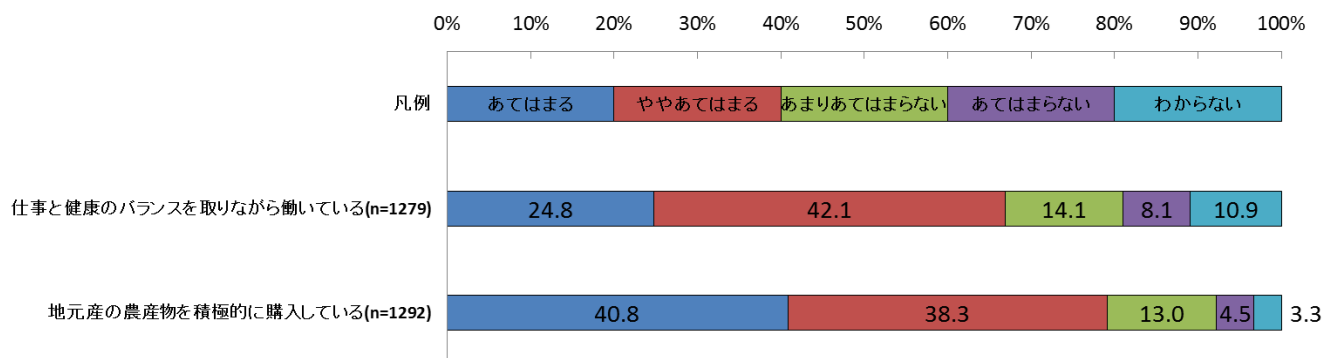
① 度数分布

- ・「安心して持続的に働ける労働環境を確保する取り組みが行われている」については、肯定的な評価が 33.5% に対し、評価保留の割合が 39.0% であり、市の取組みが十分に伝わっていないと考えられる。
- ・「松本市は全国有数の山岳観光地域である」「知人や友人にすすめたい観光地が多い」は、80%以上の市民が肯定的に評価している。松本市が観光地として理解されている。
- ・「外国人観光客の受け入れ体制が充実している」など、インバウンドに関する項目は、評価保留の割合が 36.3% と高い。

図表 51 松本市の現状について



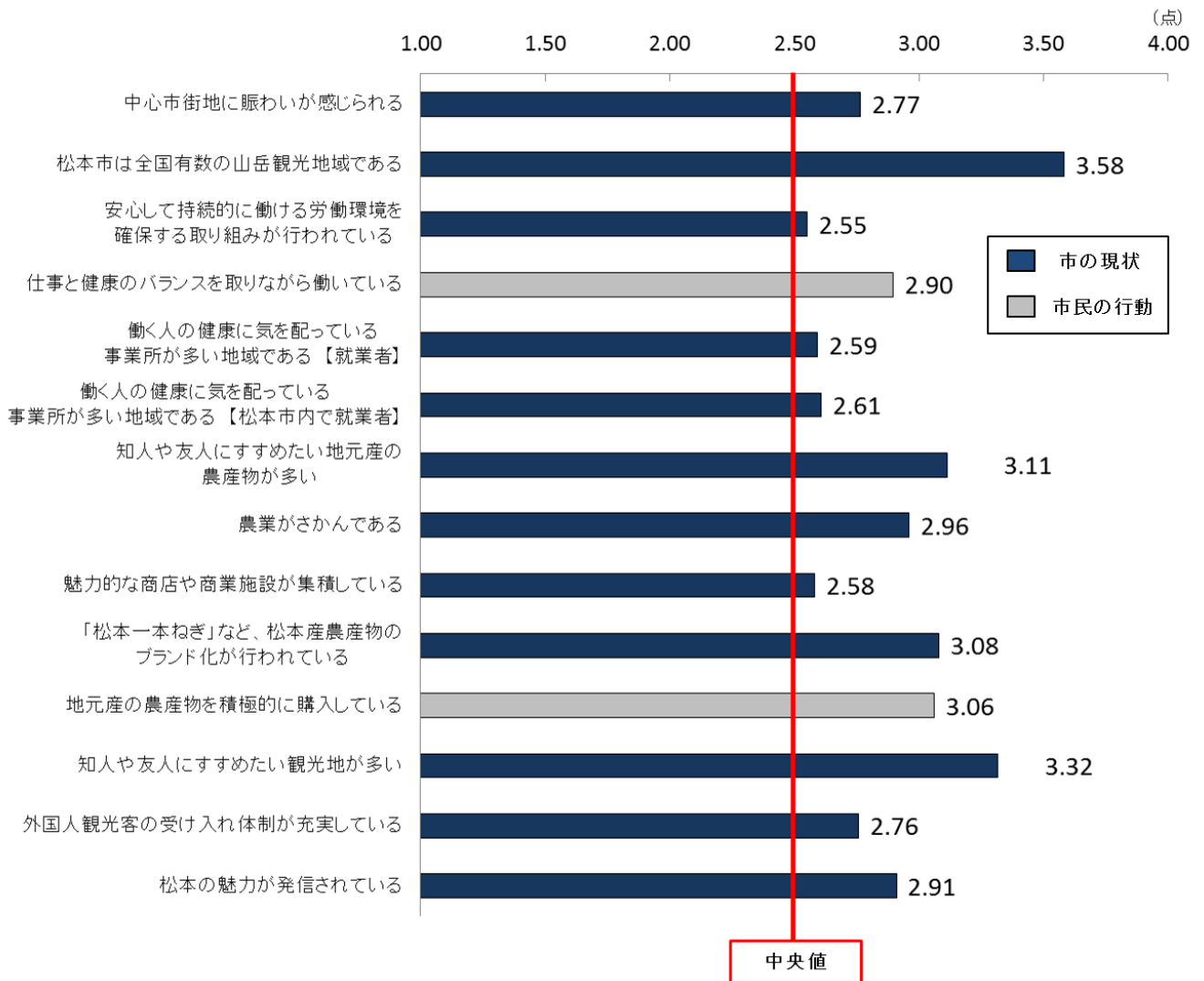
図表 52 市民の行動について



②平均点

・平均点が最も高い項目は、「松本市は全国有数の山岳観光地域である」で 3.58 点であり、次いで、「知人や友人にすすめたい観光地が多い」の 3.32 点である。

図表 53 平均点・全体の比較



- ・「働く人の健康に気を配っている事業所が多い地域である」は、全体の評価は中央値を超える中、30代と60～64歳で中央値を下回った。「地元産の農産物を積極的に購入している」はすべての年代で中央値を超えている。

図表 54 年代別比較・松本市の現状について

施策	18～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	全体
中心市街地に賑わいが感じられる	3.02	3.02	3.05	2.85	2.74	2.71	2.79	2.78	2.54	2.66	2.65	2.76	2.77
安心して持続的に働ける労働環境を確保する取り組みが行われている	2.76	2.56	2.71	2.54	2.40	2.63	2.60	2.42	2.45	2.54	2.51	2.71	2.55
【就業者】働く人の健康に気を配っている事業所が多い地域である	2.86	2.59	2.48	2.36	2.53	2.59	2.65	2.56	2.48	2.71	2.72	3.00	2.59
知人や友人にすすめたい地元産の農産物が多い	3.18	3.29	3.11	3.00	3.23	3.09	3.11	3.11	3.06	3.06	3.18	3.07	3.11
農業がさかんである	3.19	3.25	3.16	3.15	3.04	3.03	2.99	2.89	2.70	2.83	2.84	2.83	2.96
魅力的な商店や商業施設が集積している	2.87	2.81	2.74	2.64	2.62	2.55	2.65	2.56	2.36	2.39	2.57	2.58	2.58
「松本一本ねぎ」など、松本産農産物のブランド化が行われている	3.24	3.12	3.07	2.99	3.12	3.06	3.05	2.89	2.97	3.17	3.13	3.18	3.08
松本市は全国有数の山岳観光地域である	3.61	3.57	3.57	3.48	3.44	3.55	3.63	3.55	3.61	3.66	3.67	3.60	3.58
知人や友人にすすめたい観光地が多い	3.27	3.28	3.06	3.01	3.15	3.27	3.41	3.36	3.34	3.52	3.43	3.45	3.32
外国人観光客の受け入れ体制が充実している	3.13	2.91	2.88	2.75	2.82	2.84	2.75	2.71	2.56	2.66	2.68	2.67	2.76
松本の魅力が発信されている	3.14	3.02	3.08	2.78	2.84	2.93	2.78	2.91	2.72	2.91	3.04	2.95	2.91

図表 55 年代別比較・市民の行動について

施策	18～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	全体
仕事と健康のバランスを取りながら働いている	3.02	2.87	2.85	2.54	2.72	2.81	2.97	2.83	2.94	3.01	3.17	3.02	2.90
地元産の農産物を積極的に購入している	2.71	2.65	2.92	2.78	2.99	3.00	3.13	3.06	3.11	3.16	3.32	3.33	3.06

※各項目全体より0.2点以上高いセルは青色、0.2点以上低いセルには黄色を付けている。

(2) 経年比較分析

①平均点の推移

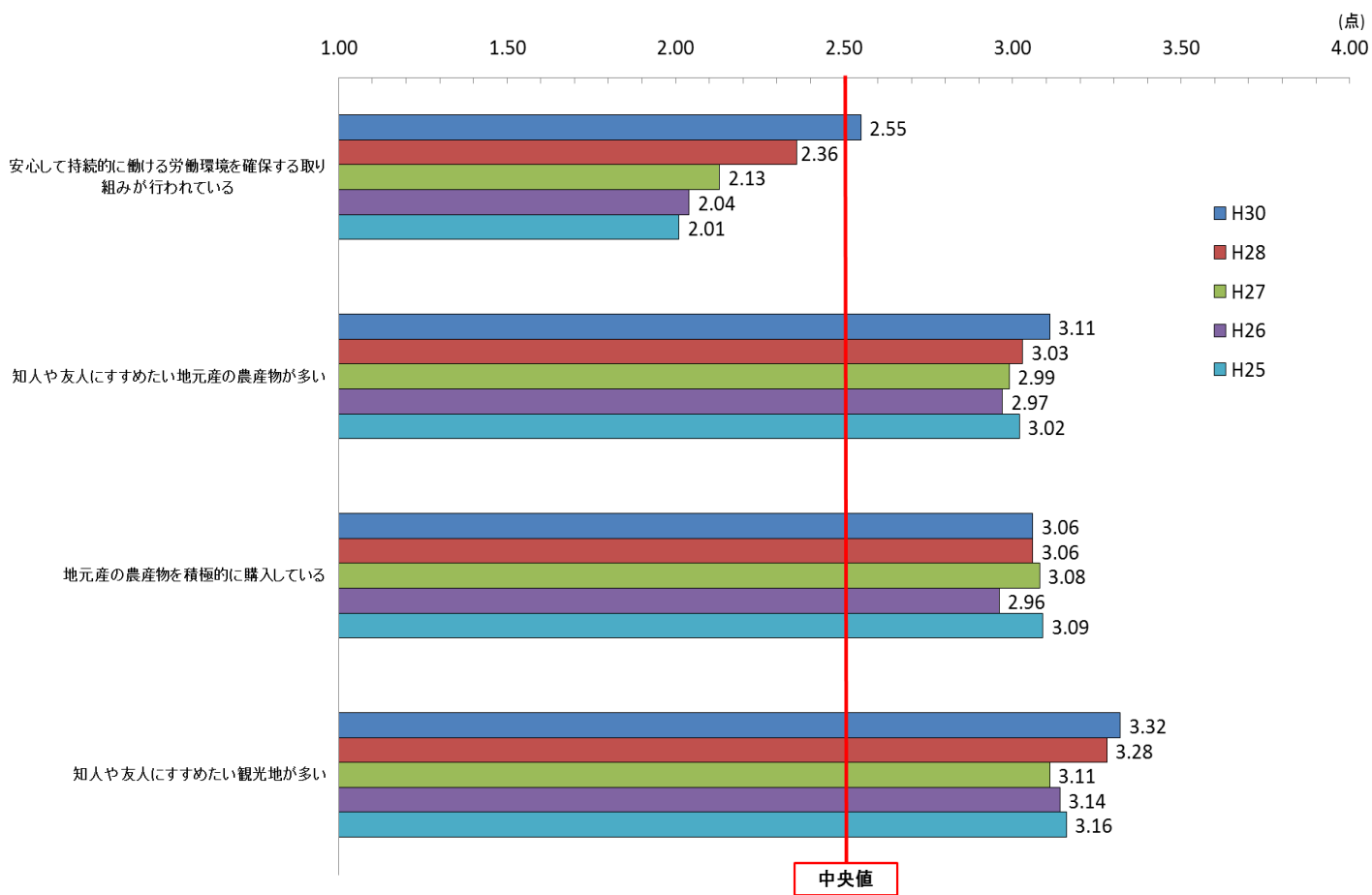
- 「働く場を確保する取り組みが行われている」、「魅力的な商店や商業施設が集積している」が中央値 2.5 点を上回り、項目全体で、2.5 未満の項目がなくなった。

図表 56 経年比較・平均点の推移

基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象	平均点					
			差 H30-H28	H30	H28	H27	H26	H25
5-1-2 中心市街地の賑わいの創出	中心市街地に賑わいが感じられる	市	0.12	2.77	2.65	-	-	-
5-1-3 山岳観光の推進	松本市は全国有数の山岳観光地域である	市	-0.04	3.58	3.62	-	-	-
5-1-4 労働、雇用対策の推進	働く場を確保する取組が行われている	市	0.19	2.55	2.36	2.13	2.04	2.01
	仕事と健康のバランスを取りながら働いている	市民	0.13	2.90	2.77	-	-	-
5-1-5 健康経営の推進	働く人の健康に気を配っている事業所が多い地域である	就業者	-0.49	2.59	3.08	-	-	-
		松本市内で就業者	-0.49	2.61	3.10	-	-	-
5-2-1 農林業の振興と美しい農山村の継承	知人や友人にすすめたい地元産の農産物が多い	市	0.08	3.11	3.03	2.99	2.97	3.02
	農業がさかんである	市	0.03	2.96	2.93	-	-	-
5-2-2 商業の振興	魅力的な商店や商業施設が集積している	市	0.15	2.58	2.43	-	-	-
5-3-1 農産物高付加価値化の推進	「松本一本ねぎ」など、松本産農産物のブランド化が行われている	市	0.06	3.08	3.02	-	-	-
	地元産の農産物を積極的に購入している	市民	0.00	3.06	3.06	3.08	2.96	3.09
5-3-3 戦略的な観光施策の推進	知人や友人にすすめたい観光地が多い	市	0.04	3.32	3.28	3.11	3.14	3.16
	外国人観光客の受け入れ体制が整っている	市	0.10	2.76	2.66	-	-	-
	松本の魅力が発信されている	市	0.05	2.91	2.86	-	-	-

※網掛けのセルは中央値 2.5 未満の項目

図表 57 経年比較・平均点の推移



②評価保留の割合の推移

- ・「働く場を確保する取り組みが行われている」については、依然として回答保留の割合が高く、市の取組が周知・浸透されていないと考えられる。
- ・「働く人の健康に気を配っている事業所が多い地域である」については、評価保留の割合が増大していることから、評価の分析が必要である。
- ・「外国人観光客の受け入れ体制が整っている」についても増加傾向がみられ、観光施策の周知が必要であると考えられる。

図表 58 経年比較・評価保留の割合の推移

基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象	評価保留の割合(%)					
			差 H30-H28	H30	H28	H27	H26	H25
5-1-2 中心市街地の賑わいの創出	中心市街地に賑わいが感じられる	市	-0.6	8.5	9.1	-	-	-
5-1-3 山岳観光の推進	松本市は全国有数の山岳観光地域である	市	-1.3	2.8	4.1	-	-	-
5-1-4 労働、雇用対策の推進	働く場を確保する取組が行われている	市	2.5	39.0	36.5	29.3	32.4	31.6
	仕事と健康のバランスを取りながら働いている	市民	4.5	10.9	6.4	-	-	-
5-1-5 健康経営の推進	働く人の健康に気を配っている事業所が多い地域である	就業者	36.3	39.1	2.8	-	-	
		松本市内で就業者	36.0	38.3	2.3	-	-	
5-2-1 農林業の振興と美しい農山村の継承	知人や友人にすすめたい地元産の農産物が多い	市	-1.2	8.9	10.0	6.2	8.9	5.9
	農業がさかんである	市	-1.5	12.1	13.6	-	-	-
5-2-2 商業の振興	魅力的な商店や商業施設が集積している	市	-1.7	10.2	11.9	-	-	-
5-3-1 農産物高付加価値化の推進	「松本一本ねぎ」など、松本産農産物のブランド化が行われている	市	-0.6	14.3	14.9	-	-	-
	地元産の農産物を積極的に購入している	市民	-0.8	3.3	4.1	2.0	1.7	3.0
5-3-3 戦略的な観光施策の推進	知人や友人にすすめたい観光地が多い	市	-0.3	4.3	4.6	3.8	4.3	3.9
	外国人観光客の受け入れ体制が整っている	市	3.6	36.3	32.7	-	-	-
	松本の魅力が発信されている	市	-1.5	19.4	20.9	-	-	-

※網掛けのセルは20%以上の項目

7.【基本目標6】ともに学びあい人と文化を育むまち

本市では薫り高い松本の文化を礎に、人と人とのつながりが深まり、自ら行動する未来の担い手が育つよう、豊かな人間性を育むまちづくりを進めている。

■基本施策と評価項目

政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象
6-1 子どもの可能性が広がるまち	6-1-1 学校教育の充実	学校や地域で小中学生の元気な声がよく聞こえる	市
	6-1-2 学校環境整備の推進	小中学校に充実した教育環境が整っていると感じたり、見かける	市
	6-1-3 家庭、地域と学校の連携強化	食に関する指導や豊かな食習慣の確立などに取り組んでいる地域である	市
家族で食事をするなど、食育に取り組んでいる		市民	
6-2 生涯学習が地域に活かされるまち	6-2-1 生涯学習機会の充実	様々な学びや趣味を通じて、充実した日常生活を送っている	市民
	6-2-2 生涯学習施設整備の推進	様々な学びや趣味を気軽に行える施設が充実している	市
6-3 文化芸術を創り、育むまち	6-3-1 文化芸術活動の推進	音楽や芸術にふれている(音楽や芸術活動に取り組んだり、鑑賞することを含む)	市民
	6-3-2 スポーツの振興	継続的にスポーツに親しんでいる(競技・生涯スポーツやラジオ体操・散歩等の運動に取り組んだり、応援・観戦や指導・ボランティア活動を含む)	市民
6-4 歴史・文化遺産を守り、生かすまち	6-4-1 歴史・文化資産保護・活用の推進	地域の伝統や文化の保存、継承が行われている	市
		(祭りなどの)地域の伝統や文化の保存、継承に取り組んでいる	市民
	6-4-2 城下町まつもとにふさわしいまちづくり	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている	市

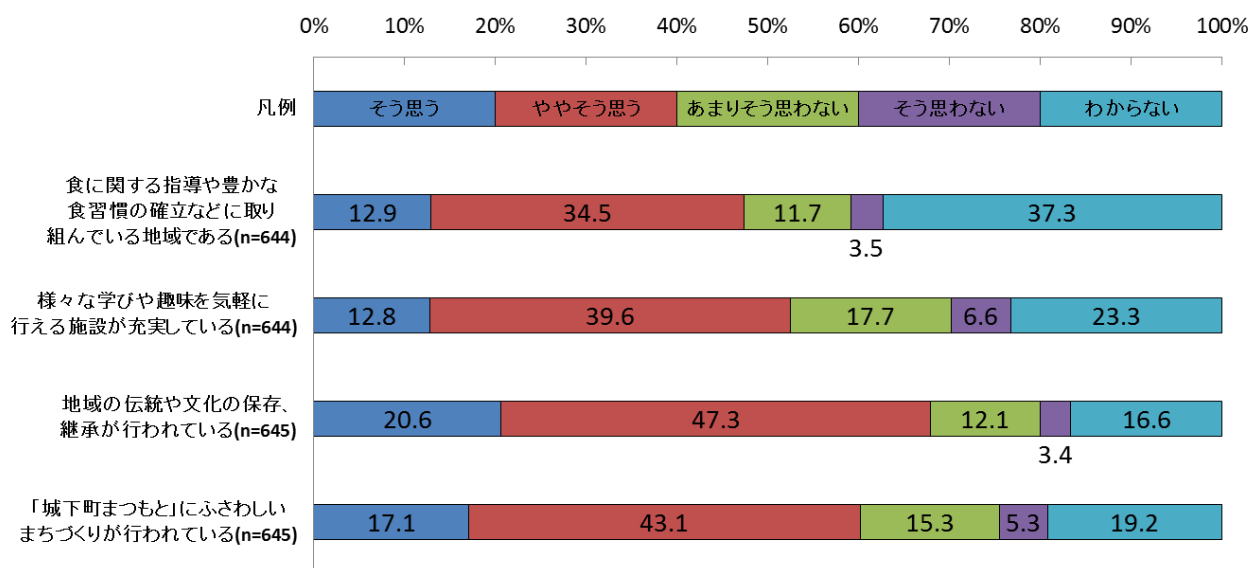
(1) 今年度調査結果

①度数分布

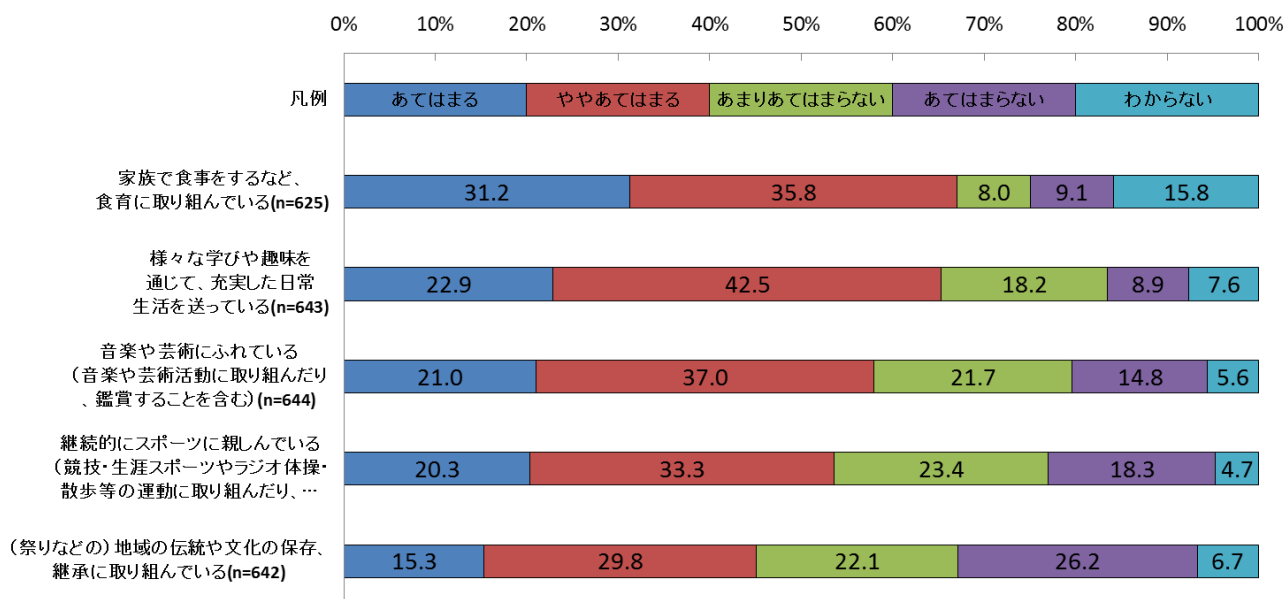
■受益者が限定されない項目

- ・市の現状の「食に関する指導や豊かな食習慣の確立などに取り組んでいる地域である」は、肯定的な評価は 47.4%、評価保留の割合が 37.3%であった。
- ・自らの行動の項目で「家族で食事をするなど、食育に取り組んでいる」について、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した市民は 67.0%であった。
- ・「地域の伝統や文化の保存、継承が行われている」については、67.9%が肯定的な評価をしている

図表 59 松本市の現状について（受益者が限定されない項目）

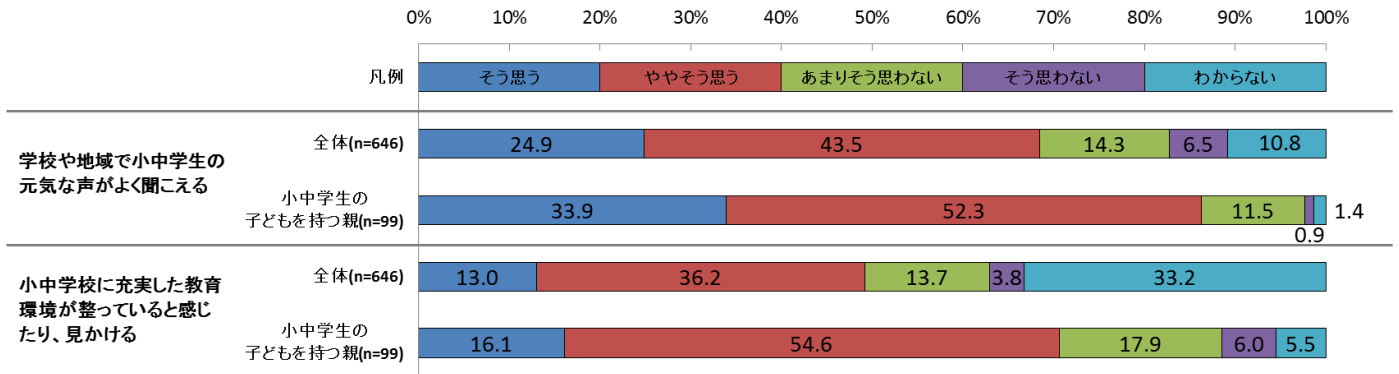


図表 60 市民の行動について（受益者が限定されない項目）



・学校環境の整備・充実に関しては、市民全体の評価保留の割合が高く、周知が必要である。

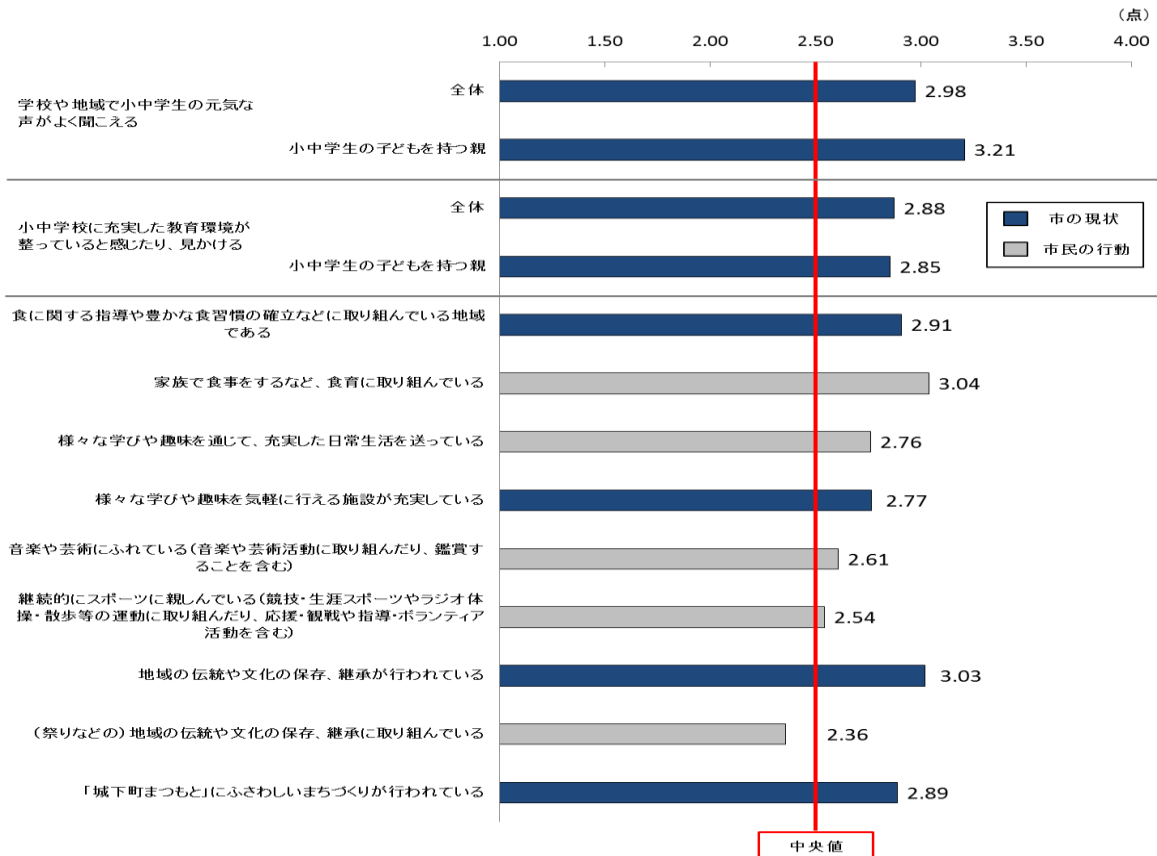
図表 61 松本市の現状について（受益者が限定される項目）



②平均点

- ・市の現状評価で平均点が高い項目は、「学校や地域で小中学生の元気な声がよく聞こえる」の小中学生の子どもを持つ親の評価の 3.21 点と高く、次いで、「地域の伝統や文化の保存、継承が行われている」の 3.03 点である。
- ・中央値 2.5 点より低い項目は、「(祭りなどの) 地域の伝統や文化の保存、継承に取り組んでいる」の 1 項目であった。
- ・市民の行動では「家族で食事をするなど、食育に取り組んでいる」が 3.04 点と高い。

図表 62 平均点・全体の比較



- ・「学校や地域で小中学生の元気な声がよく聞こえる」については、10代から30代の平均点が全体と比較して高い傾向にある。一方、「小中学校に充実した教育環境が整っていると感じたり、見かける」については、65歳以上の平均点が高い。
- ・「音楽や芸術にふれている」は市民全体よりも10代20代が0.2点以上高い。

図表 63 年代別比較・松本市の現状について

施策	18～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	全体
学校や地域で小中学生の元気な声がよく聞こえる	3.22	3.20	3.23	3.15	3.12	3.04	2.94	2.89	2.75	2.87	2.77	2.94	2.98
小中学校に充実した教育環境が整っていると感じたり、見かける	2.94	2.80	2.91	2.77	2.84	2.86	2.80	2.83	2.71	2.90	3.00	3.12	2.88
食に関する指導や豊かな食習慣の確立などに取り組んでいる地域である	3.07	2.73	2.98	2.89	2.99	2.94	2.97	2.87	2.61	2.87	2.92	3.00	2.91
様々な学びや趣味を気軽に行える施設が充実している	2.89	2.56	2.86	2.67	2.68	2.82	2.69	2.67	2.52	2.75	3.04	2.93	2.77
地域の伝統や文化の保存、継承が行われている	3.16	2.76	3.00	2.95	2.98	3.01	3.00	2.94	3.03	3.04	3.16	3.13	3.03
「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている	2.98	2.76	2.91	2.80	2.86	2.98	2.92	2.72	2.83	2.93	2.96	2.97	2.89

図表 64 年代別比較・市民の行動について

施策	18～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	全体
家族で食事をするなど、食育に取り組んでいる	3.02	2.47	2.99	2.90	3.20	2.93	3.04	3.01	3.12	3.08	3.14	3.20	3.04
様々な学びや趣味を通じて、充実した日常生活を送っている	3.11	2.90	2.85	2.62	2.70	2.58	2.72	2.62	2.67	2.73	2.91	2.95	2.76
音楽や芸術にふれている(音楽や芸術活動に取り組んだり、鑑賞することを含む)	2.89	2.85	2.76	2.49	2.60	2.53	2.52	2.58	2.51	2.54	2.65	2.65	2.61
継続的にスポーツに親しんでいる(競技・生涯スポーツやラジオ体操・散歩等の運動に取り組んだり、応援・観戦や指導・ボランティア活動を含む)	2.73	2.38	2.52	2.29	2.44	2.49	2.62	2.52	2.46	2.63	2.70	2.65	2.54
(祭りなどの)地域の伝統や文化の保存、継承に取り組んでいる	2.51	2.28	2.28	2.13	2.36	2.28	2.22	2.28	2.31	2.45	2.39	2.71	2.36

※各項目全体より0.2点以上高いセルは青色、0.2点以上低いセルには黄色を付けている。

(2) 経年比較分析

①平均点の推移

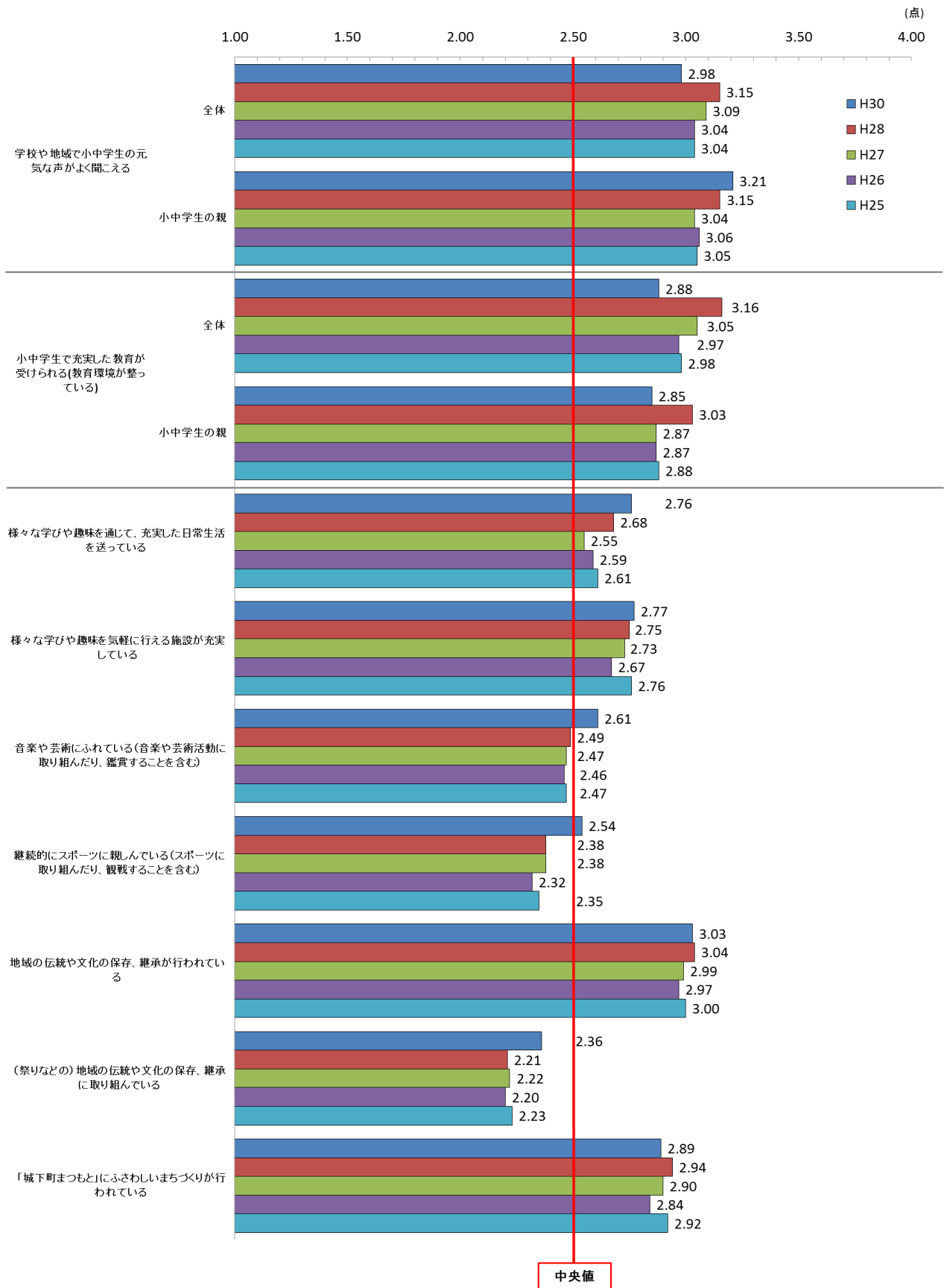
- 「学校環境の整備・充実」「家庭、地域と学校の連携強化」は、中央値を上回り高い評価ではあるが、市民全体の評価、小中学生の親の評価ともに下がっている。

図表 65 経年比較・平均点の推移

表基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象	平均点						
			差 H30-H28	H30	H28	H27	H26	H25	
6-1-1 学校教育の充実	学校や地域 で小中学生 の元気な声 がよく聞こえ る	全体	市	-0.17	2.98	3.15	3.09	3.04	3.04
		小中学生 の親	市	0.06	3.21	3.15	3.04	3.06	3.05
6-1-2 学校環境の整備・充 実	小中学校に 充実した教育 環境が整って いると感じた り、見かける	全体	市	-0.28	2.88	3.16	3.05	2.97	2.98
		小中学生 の親	市	-0.18	2.85	3.03	2.87	2.87	2.88
6-1-3 家庭、地域と学校の 連携強化	食に関する指導や豊かな食習慣の確立などに取り組んでいる地域である		市	-0.04	2.91	2.95	-	-	-
	家族で食事をするなど、食育に取り組んでいる		市民	-0.14	3.04	3.18	-	-	-
6-2-1 生涯学習機会の充 実	様々な学びや趣味を通じて、充実した日常生活を送っている		市民	0.08	2.76	2.68	2.55	2.59	2.61
6-2-2 生涯学習施設整備 の推進	様々な学びや趣味を気軽に行える施設が充実している		市	0.02	2.77	2.75	2.73	2.67	2.76
6-3-1 文化芸術活動の推 進	音楽や芸術にふれている(音楽や芸術活動に取り組んだり、鑑賞することを含む)		市民	0.12	2.61	2.49	2.47	2.46	2.47
6-3-2 スポーツの振興	継続的にスポーツに親しんでいる(競技・生涯スポーツやラジオ体操・散歩等の運動に取り組んだり、応援・観戦や指導・ボランティア活動を含む)		市民	0.16	2.54	2.38	2.38	2.32	2.35
6-4-1 歴史・文化資産保 護・活用の推進	地域の伝統や文化の保存、継承が行われている		市	-0.01	3.03	3.04	2.99	2.97	3.00
	(祭りなどの)地域の伝統や文化の保存、継承に取り組んでいる		市民	0.15	2.36	2.21	2.22	2.20	2.23
6-4-2 城下町まつもとにふ さわしいまちづくり	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている		市	-0.05	2.89	2.94	2.90	2.84	2.92

※網掛けのセルは中央値 2.5 未満の項目

図表 66 経年比較・平均点の推移



②評価保留の割合の推移

- ・「学校や地域で小中学生の元気な声がよく聞こえる」については、大きく減少した。
- ・市民の行動として「家族で食事をするなど、食育に取り組んでいる」については、大きく増加しており、評価の分析が必要である。

図表 67 経年比較・評価保留の割合の推移

表基本施策 (個別目標)	調査項目		評価対象	評価保留の割合(%)					
				差 H30-H28	H30	H28	H27	H26	H25
6-1-1 学校教育の充実	学校や地域で 小中学生の元 気な声がよく 聞こえる	全体	市	-19.4	10.8	30.2	28.1	29.9	25.1
		小中学生の親		-3.5	1.4	4.9	1.0	6.5	1.6
6-1-2 学校環境の整備・充実	小中学校に充 実した教育環 境が整ってい ると感じたり、 見かける	全体	市	-0.8	33.2	34.0	31.4	35.2	31.0
		小中学生の親		0.0	5.5	5.5	3.1	8.2	5.7
6-1-3 家庭、地域と学校の 連携強化	食に関する指導や豊かな食習慣の確立などに取り組んでいる地域である		市	0.2	37.3	37.1	-	-	-
	家族で食事をするなど、食育に取り組んでいる		市民	12.3	15.8	3.5	-	-	-
6-2-1 生涯学習機会の充実	様々な学びや趣味を通じて、充実した日常生活を送っている		市民	4.0	7.6	3.6	8.4	8.2	6.6
6-2-2 生涯学習施設整備の推進	様々な学びや趣味を気軽に楽しめる施設が充実している		市	-1.0	23.3	24.3	23.0	22.0	22.2
6-3-1 文化芸術活動の推進	音楽や芸術にふれている(音楽や芸術活動に取り組んだり、鑑賞することを含む)		市民	2.0	5.6	3.6	5.1	5.4	4.3
6-3-2 スポーツの振興	継続的にスポーツに親しんでいる(競技・生涯スポーツやラジオ体操・散歩等の運動に取り組んだり、応援・観戦や指導・ボランティア活動を含む)		市民	2.1	4.7	2.6	5.4	6.7	4.8
6-4-1 歴史・文化資産保護・活用の推進	地域の伝統や文化の保存、継承が行われている		市	-1.3	16.6	17.9	19.2	18.4	16.3
	(祭りなどの)地域の伝統や文化の保存、継承に取り組んでいる		市民	0.5	6.7	6.2	6.4	9.0	7.0
6-4-2 城下町まつもとにふさわしいまちづくり	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている		市	-2.1	19.2	21.3	18.4	17.6	16.7

※網掛けのセルは20%以上の項目

8. 行政について

本市では選択と集中による事業の効率化、重点化を進めるとともに、顧客主義や成果主義など市民の目線に立って、市民の負託に的確に応えられる行政をめざし、5つの方針のもと行政運営に取り組んでいる。

■方針と評価項目

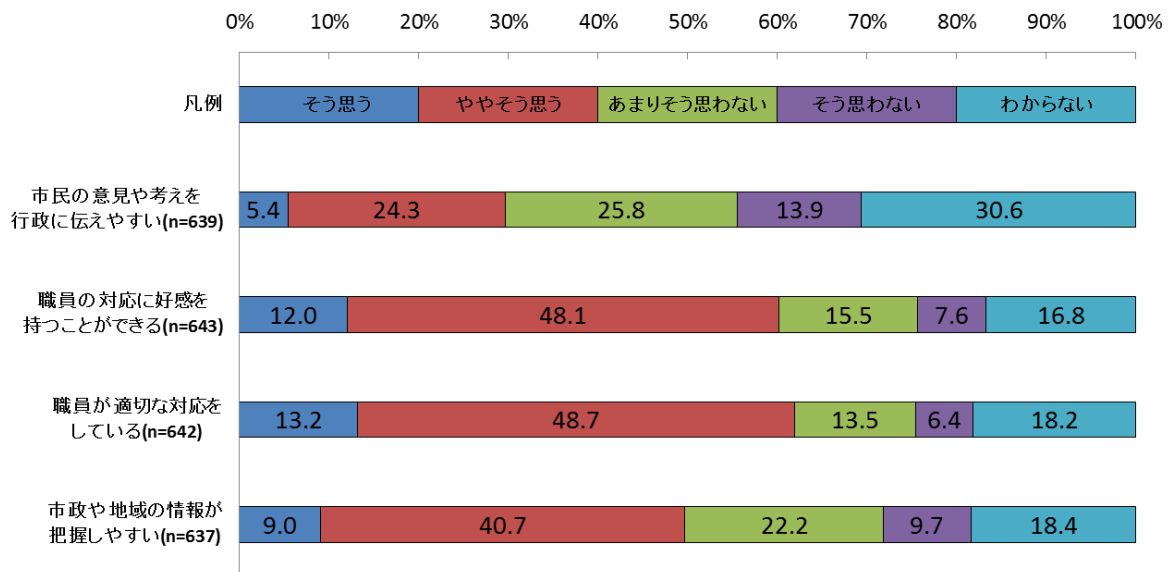
方針	調査項目	評価対象
方針 1 質の高い行政経営の実現	市民の意見や考えを行政に伝えやすい	市
	行政の活動に関心を持っている	市民
方針 2 財政基盤の強化	極めて限定的な市民にしか回答できなかったため調査項目を設定しなかった	
方針 3 窓口サービス・広聴の充実	職員の対応に好感を持つことができる	市
	職員が適切な対応をしている	市
方針 4 松本の魅力発信力の強化	市政や地域の情報が把握しやすい	市
方針 5 人材育成の推進	方針 3 に含む	

(1) 今年度調査結果

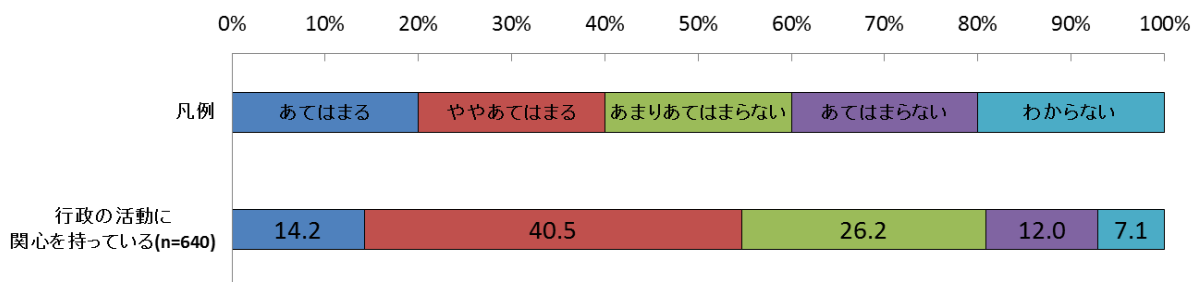
①度数分布

- ・「職員の対応に好感を持つことができる」「職員が適切な対応をしている」については、50%以上が肯定的に評価している。
- ・「市民の意見や考えを行政に伝えやすい」については、肯定的な評価は 29.7%である。評価保留の割合が 30.6%と高い。
- ・「行政の活動に関心を持っている」は、肯定的評価の割合が 54.7%である。

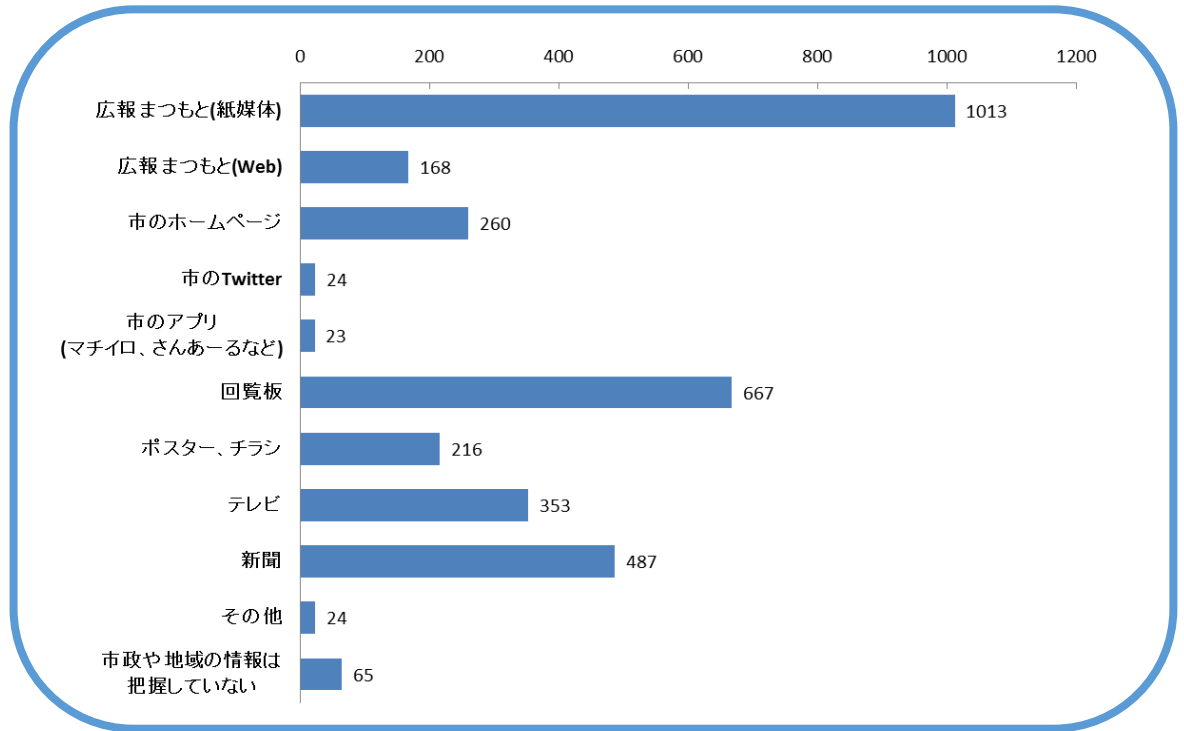
図表 68 松本市の現状について



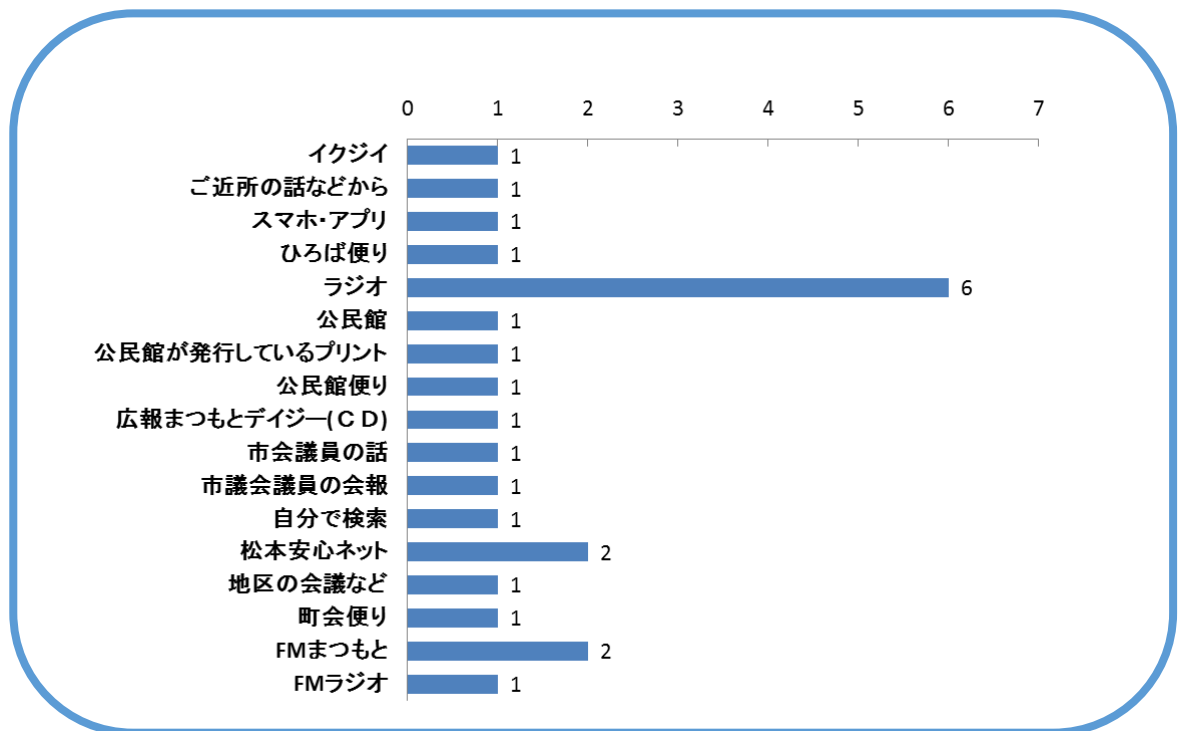
図表 69 市民の行動について



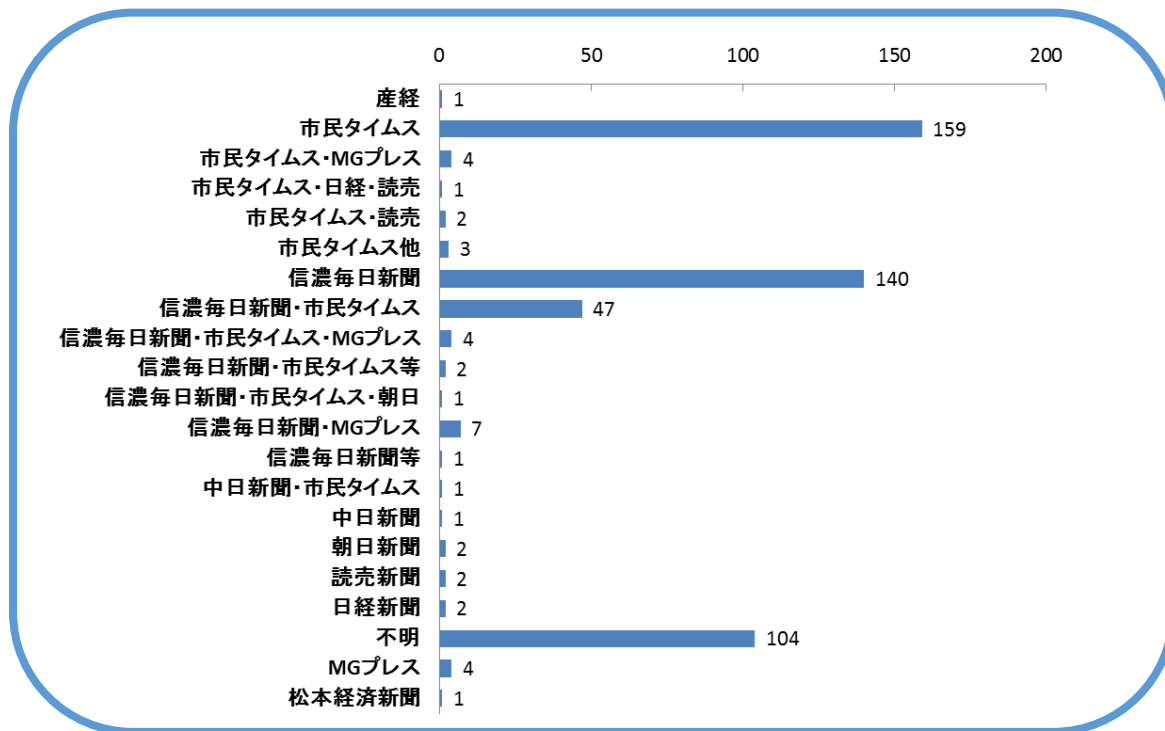
図表 70 市政や地域の情報を把握するために使っているメディア



図表 71 その他のメディア



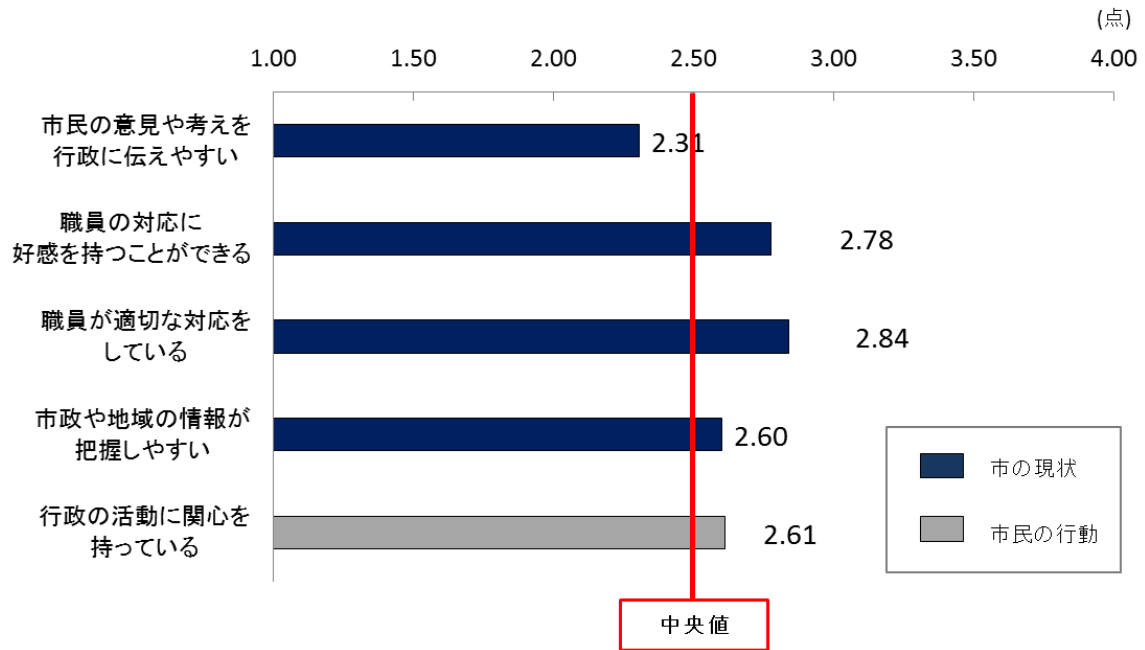
図表 72 新聞の具体名



②平均点

- ・中央値 2.5 点より低い項目は、「市民の意見や考えを行政に伝えやすい」のみであった。
- ・年代別で見ると、70 代以上の平均点が全体と比較して高い傾向にある。

図表 73 平均点・全体の比較



図表 74 年代別比較・松本市の現状について

施策	18～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	全体
市民の意見や考えを行政に伝えやすい	2.42	2.27	2.13	2.01	2.20	2.26	2.26	2.14	2.23	2.45	2.61	2.51	2.31
職員の対応に好感を持つことができる	2.76	2.85	2.62	2.60	2.62	2.71	2.68	2.59	2.77	2.84	3.05	3.10	2.78
職員が適切な対応をしている	2.84	2.95	2.76	2.69	2.69	2.69	2.78	2.65	2.82	2.91	3.10	3.13	2.84
市政や地域の情報が把握しやすい	2.64	2.55	2.44	2.48	2.54	2.52	2.55	2.49	2.47	2.72	2.91	2.71	2.60

図表 75 年代別比較・市民の行動について

施策	18～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	全体
行政の活動に関心を持っている	2.48	2.28	2.35	2.53	2.45	2.55	2.55	2.49	2.65	2.69	2.91	2.98	2.61

※各項目全体より 0.2 点以上高いセルは青色、0.2 点以上低いセルには黄色を付けている。

(2) 経年比較分析

①平均点の推移

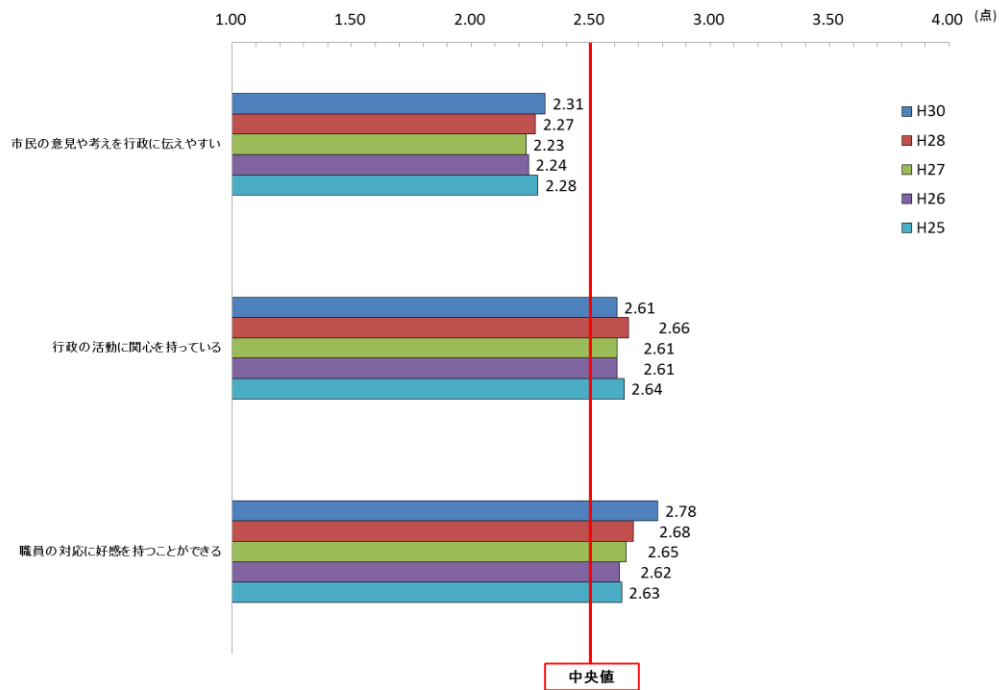
・過去5年間の結果と比較しても、概ね傾向は変わっていないが、「窓口サービス・公聴の充実」については、評価が上がっている。

図表 76 経年比較・平均点の推移

方針	調査項目	評価対象	平均点					
			差 H30-H28	H30	H27	H26	H25	H24
方針1 質の高い行政経営 の実現	市民の意見や考えを行政に伝えやすい	市	0.04	2.31	2.27	2.23	2.24	2.28
	行政の活動に関心を持っている	市民	-0.05	2.61	2.66	2.61	2.61	2.64
方針2 財政基盤の強化	極めて限定的な市民にしか回答できないため調査項目を設定しなかった							
方針3 窓口サービス・広聴 の充実	職員の対応に好感を持つことができる	市	0.10	2.78	2.68	2.65	2.62	2.63
	職員が適切な対応をしている	市	0.10	2.84	2.74	-	-	-
方針4 松本の魅力発信力の強化	行政や地域の情報が把握しやすい	市	-	2.60				
方針5 人材育成の推進	方針3に含む							

※網掛けのセルは中央値 2.5 未満の項目

図表 77 経年比較・平均点の推移



②評価保留の割合の推移

■ 評価結果 ■

- ・過去5年間の結果と比較しても、概ね傾向は変わっていない。

図表 78 経年比較・評価保留の割合の推移

方針	調査項目	評価対象	評価保留の割合 (%)					
			差 H30-H28	H30	H28	H27	H26	H25
方針1 質の高い行政経営 の実現	市民の意見や考えを行政に伝えやすい	市	2.4	30.6	28.2	26.5	30.8	28.3
	行政の活動に関心を持っている	市民	-2.8	7.1	9.9	9.0	9.4	8.7
方針2 財政基盤の強化	極めて限定的な市民にしか回答できないため調査項目を設定しなかった							
方針3 窓口サービス・広聴 の充実	職員の対応に好感を持つことができる	市	-1.7	16.8	18.5	17.7	18.0	15.6
	職員が適切な対応をしている	市	-2.0	18.2	20.2	-	-	-
方針4 松本の魅力発信力の強化	行政や地域の情報が把握しやすい	市	-	18.4	-	-	-	-
方針5 人材育成の推進	方針3に含む							

※網掛けのセルは20%以上の項目

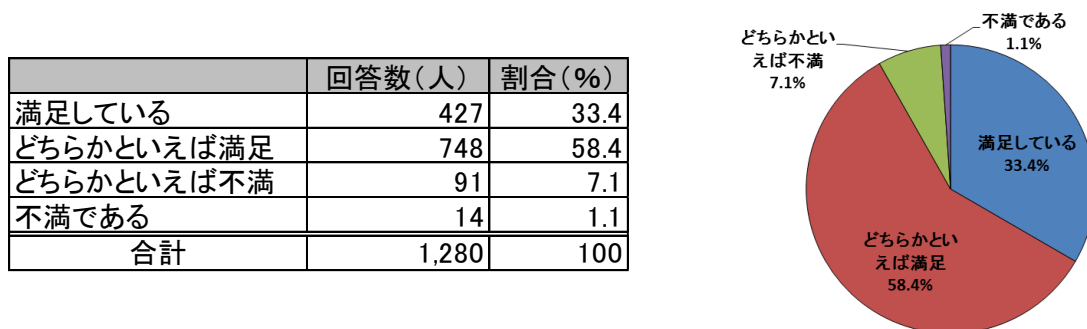
第4章 松本市での暮らしに関する総合的な評価結果

1. 松本市での暮らしに対する満足度

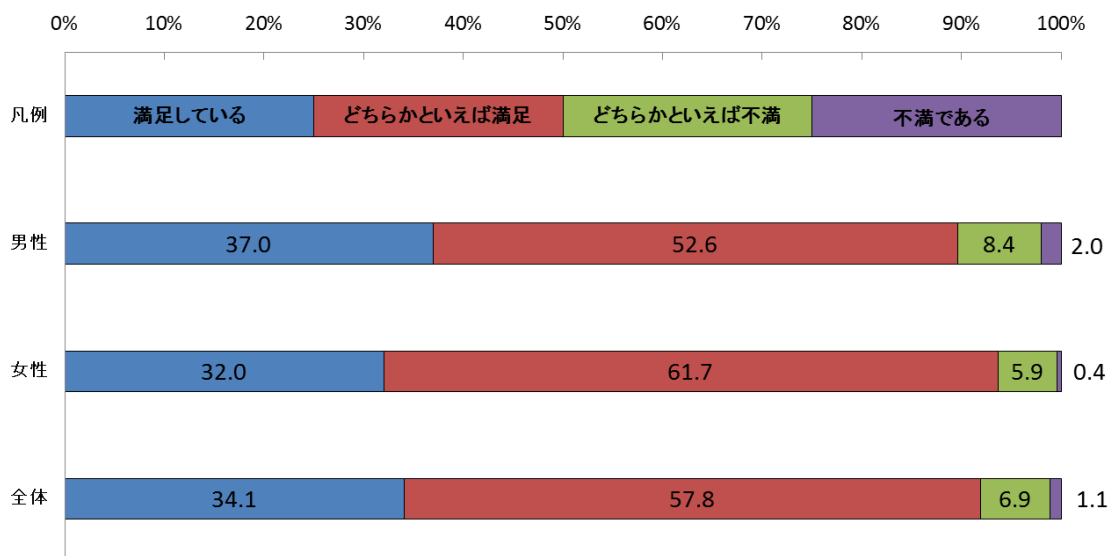
(1) 今年度調査結果

- ・松本市での暮らしに対する満足度は、91.8%が肯定的に評価している。
- ・性別でも、同じ傾向である。
- ・年代別で見ると、18歳から24歳の年代で満足度が高くなっている。その他の年代では、大きく変わらない傾向である。

図表 79 松本市での暮らしに対する満足度

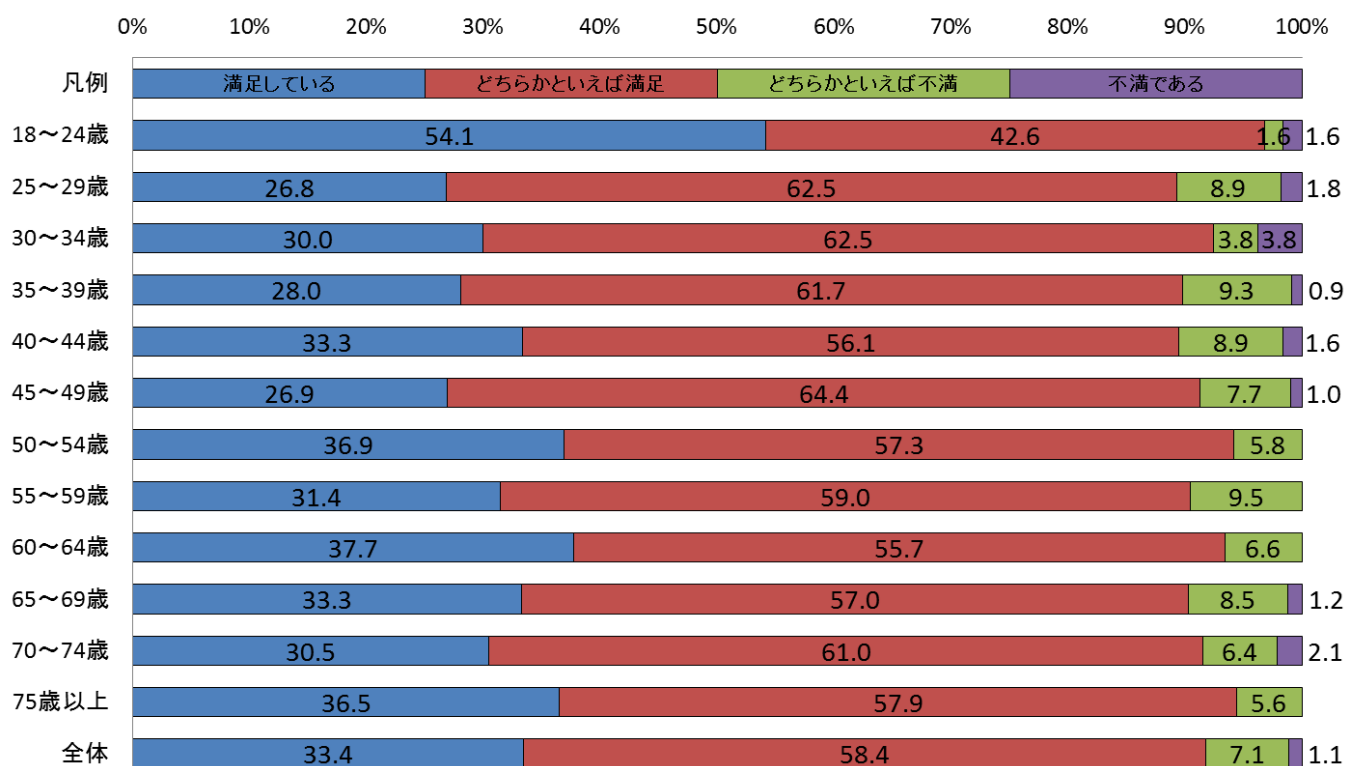


図表 80 性別比較・暮らしに対する満足度



満足度		満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	全体
男性	回答数	185	263	42	10	500
	割合(%)	37.0	52.6	8.4	2.0	100.0
女性	回答数	218	420	40	3	681
	割合(%)	32.0	61.7	5.9	0.4	100.0
全体	回答数	403	683	82	13	1,181
	割合(%)	34.1	57.8	6.9	1.1	100.0

図表 81 年代別比較・暮らしに対する満足度

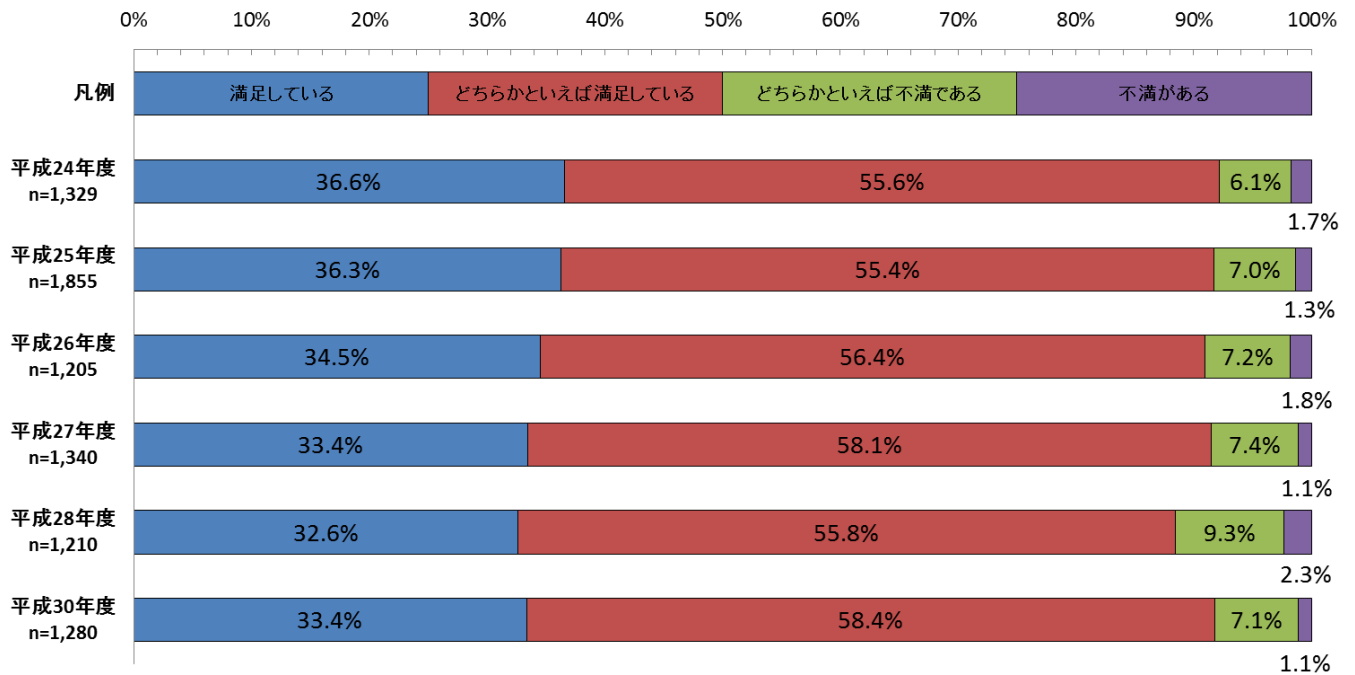


満足度		満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	全体
18～24歳	回答数	33	26	1	1	61
	割合(%)	54.1%	42.6%	1.6%	1.6%	100.0%
25～29歳	回答数	15	35	5	1	56
	割合(%)	26.8%	62.5%	8.9%	1.8%	100.0%
30～34歳	回答数	24	50	3	3	80
	割合(%)	30.0%	62.5%	3.8%	3.8%	100.0%
35～39歳	回答数	30	66	10	1	107
	割合(%)	28.0%	61.7%	9.3%	0.9%	100.0%
40～44歳	回答数	41	69	11	2	123
	割合(%)	33.3%	56.1%	8.9%	1.6%	100.0%
45～49歳	回答数	28	67	8	1	104
	割合(%)	26.9%	64.4%	7.7%	1.0%	100.0%
50～54歳	回答数	38	59	6	0	103
	割合(%)	36.9%	57.3%	5.8%	0.0%	100.0%
55～59歳	回答数	33	62	10	0	105
	割合(%)	31.4%	59.0%	9.5%	0.0%	100.0%
60～64歳	回答数	40	59	7	0	106
	割合(%)	37.7%	55.7%	6.6%	0.0%	100.0%
65～69歳	回答数	55	94	14	2	165
	割合(%)	33.3%	57.0%	8.5%	1.2%	100.0%
70～74歳	回答数	43	86	9	3	141
	割合(%)	30.5%	61.0%	6.4%	2.1%	100.0%
75歳以上	回答数	46	73	7	0	126
	割合(%)	36.5%	57.9%	5.6%	0.0%	100.0%
全体	回答数	426	746	91	14	1,277
	割合(%)	33.4%	58.4%	7.1%	1.1%	100.0%

(2) 経年比較分析

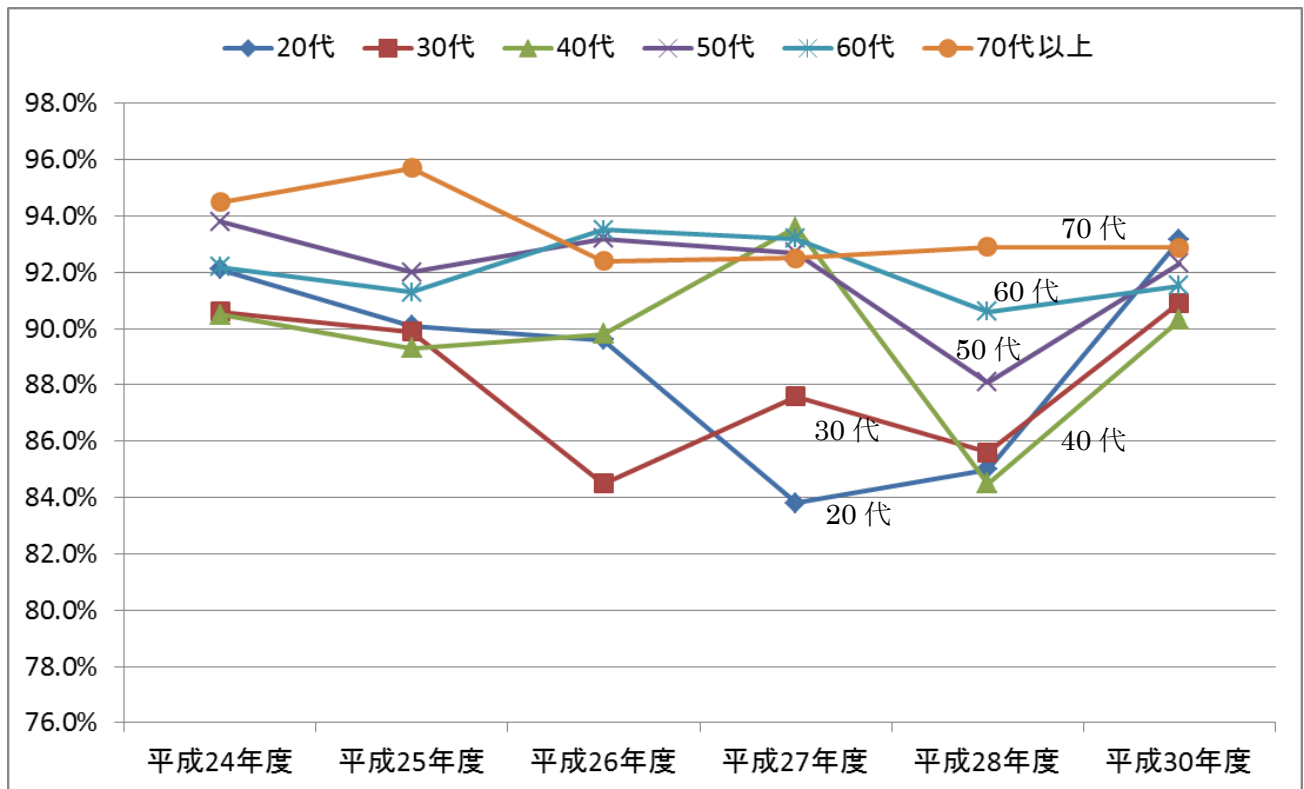
- ・平成24年度からの経年で比較しても「満足している」「どちらかといえば満足している」の割合は、高い数値を維持している。
- ・年代別に経年比較分析を行ってみても、ほぼすべての年代において、「満足している」の割合が増加している。

図表 82 経年比較・暮らしに対する満足度



満足度		満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	全体	「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせた割合
平成24年度	回答数	486	739	81	23	1,329	92.2%
	割合(%)	36.6%	55.6%	6.1%	1.7%	100.0%	
平成25年度	回答数	673	1028	129	25	1,855	91.7%
	割合(%)	36.3%	55.4%	7.0%	1.3%	100.0%	
平成26年度	回答数	416	680	87	22	1,205	91.0%
	割合(%)	34.5%	56.4%	7.2%	1.8%	100.0%	
平成27年度	回答数	448	778	99	15	1,340	91.5%
	割合(%)	33.4%	58.1%	7.4%	1.1%	100.0%	
平成28年度	回答数	395	675	112	28	1,210	88.4%
	割合(%)	32.6%	55.8%	9.3%	2.3%	100.0%	
平成30年度	回答数	427	748	91	14	1,280	91.8%
	割合(%)	33.4%	58.4%	7.1%	1.1%	100.0%	

図表 83 経年比較・年代別満足度（「満足している」、「どちらかといえば満足している」の合算値）



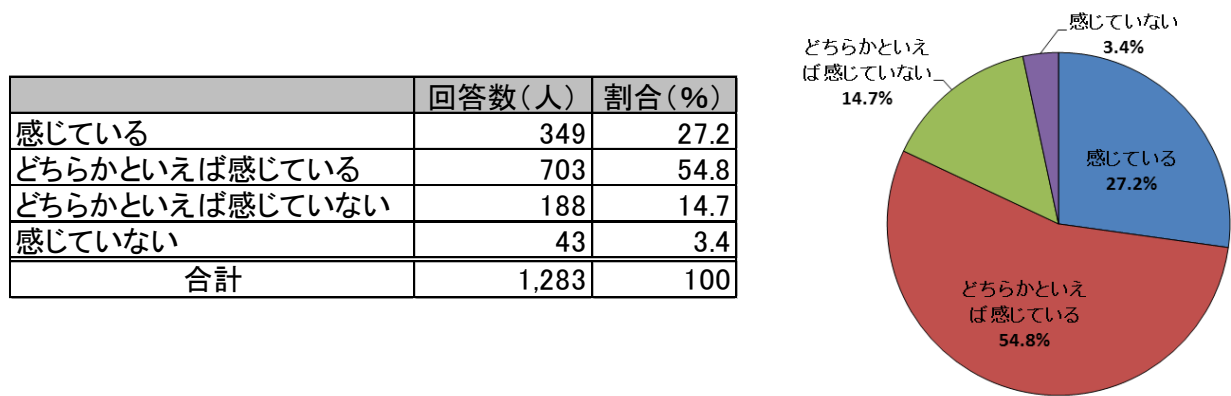
満足度		20代	30代	40代	50代	60代	70代
平成24年度	回答数	94	202	227	211	282	207
	割合(%)	92.1%	90.6%	90.5%	93.8%	92.2%	94.5%
平成25年度	回答数	119	240	309	289	382	357
	割合(%)	90.1%	89.9%	89.3%	92.0%	91.3%	95.7%
平成26年度	回答数	43	53	76	60	96	88
	割合(%)	89.6%	84.5%	89.8%	93.2%	93.5%	92.4%
平成27年度	回答数	35	63	75	61	106	108
	割合(%)	83.8%	87.6%	93.6%	92.7%	93.2%	92.5%
平成28年度	回答数	49	91	132	101	186	179
	割合(%)	85.0%	85.6%	84.5%	88.1%	90.6%	92.9%
平成30年度	回答数	109	170	205	192	248	248
	割合(%)	93.2%	90.9%	90.3%	92.3%	91.5%	92.9%

2. 暮らしのなかでの「生きがい」

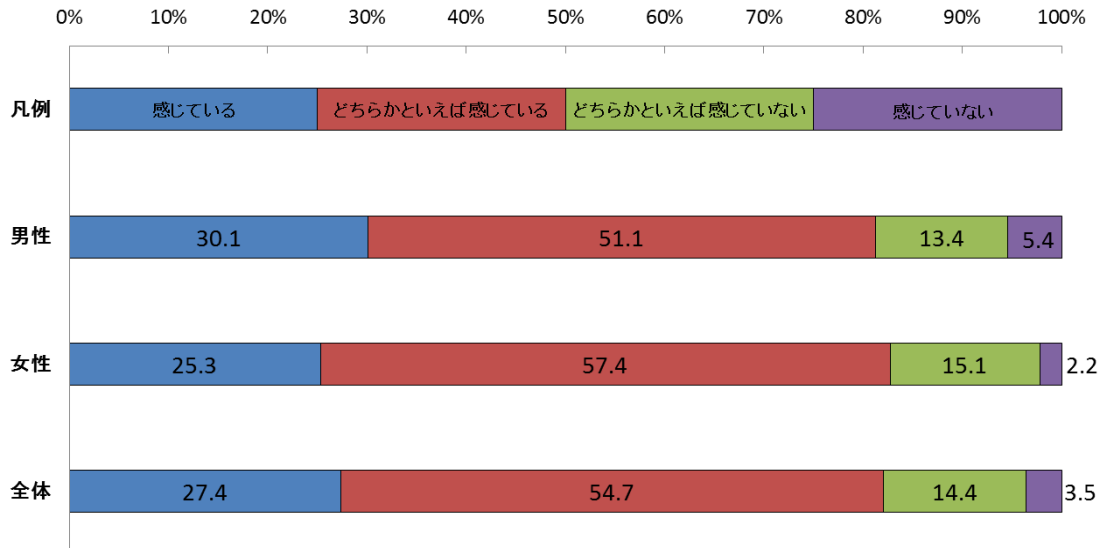
(1) 今年度調査結果

- ・暮らしのなかで「生きがい」を感じるか聞いたところ、82%が生きがいを感じている。
- ・性別でも、同じ傾向である。
- ・年代別で見ると、60歳から64歳の年代で、生きがいを感じている割合がやや低い。

図表 84 暮らしのなかで「生きがい」を感じるか

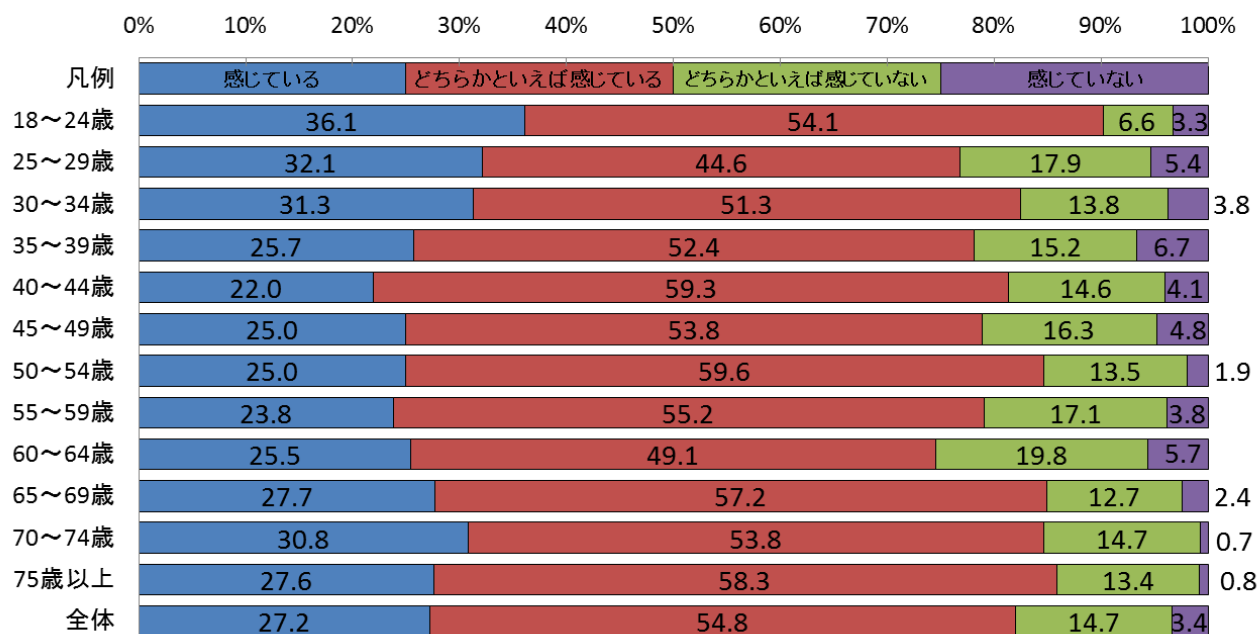


図表 85 性別比較・暮らしのなかで「生きがい」を感じるか



生きがい		感じている	どちらかといえば感じている	どちらかといえば感じていない	感じていない	全体
男性	回答数	151	256	67	27	501
	割合(%)	30.1%	51.1%	13.4%	5.4%	100.0%
女性	回答数	173	392	103	15	683
	割合(%)	25.3%	57.4%	15.1%	2.2%	100.0%
全体	回答数	324	648	170	42	1184
	割合(%)	27.4%	54.7%	14.4%	3.5%	100.0%

図表 86 年代別比較・暮らしのなかで「生きがい」を感じるか



生きがい		感じている	どちらかといえ ば感じている	どちらかといえ ば感じていない	感じていない	全体
18～24歳	回答数	22	33	4	2	61
	割合%	36.1%	54.1%	6.6%	3.3%	100.0%
25～29歳	回答数	18	25	10	3	56
	割合%	32.1%	44.6%	17.9%	5.4%	100.0%
30～34歳	回答数	25	41	11	3	80
	割合%	31.3%	51.3%	13.8%	3.8%	100.0%
35～39歳	回答数	27	55	16	7	105
	割合%	25.7%	52.4%	15.2%	6.7%	100.0%
40～44歳	回答数	27	73	18	5	123
	割合%	22.0%	59.3%	14.6%	4.1%	100.0%
45～49歳	回答数	26	56	17	5	104
	割合%	25.0%	53.8%	16.3%	4.8%	100.0%
50～54歳	回答数	26	62	14	2	104
	割合%	25.0%	59.6%	13.5%	1.9%	100.0%
55～59歳	回答数	25	58	18	4	105
	割合%	23.8%	55.2%	17.1%	3.8%	100.0%
60～64歳	回答数	27	52	21	6	106
	割合%	25.5%	49.1%	19.8%	5.7%	100.0%
65～69歳	回答数	46	95	21	4	166
	割合%	27.7%	57.2%	12.7%	2.4%	100.0%
70～74歳	回答数	44	77	21	1	143
	割合%	30.8%	53.8%	14.7%	0.7%	100.0%
75歳以上	回答数	35	74	17	1	127
	割合%	27.6%	58.3%	13.4%	0.8%	100.0%
全体	回答数	348	701	188	43	1,280
	割合%	27.2%	54.8%	14.7%	3.4%	100.0%

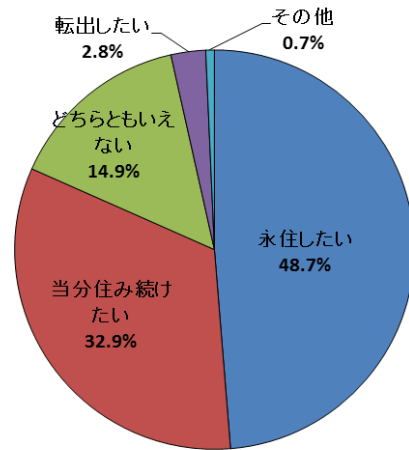
3. 松本市での居住継続意向

(1) 今年度調査結果

- ・今後の居住意向については、81.6%が住み続けたいとの意向を示している。
- ・性別でみても、同じ傾向である。
- ・年代別でみると、年代があがるにつれて「永住したい」という回答割合が高くなっている。

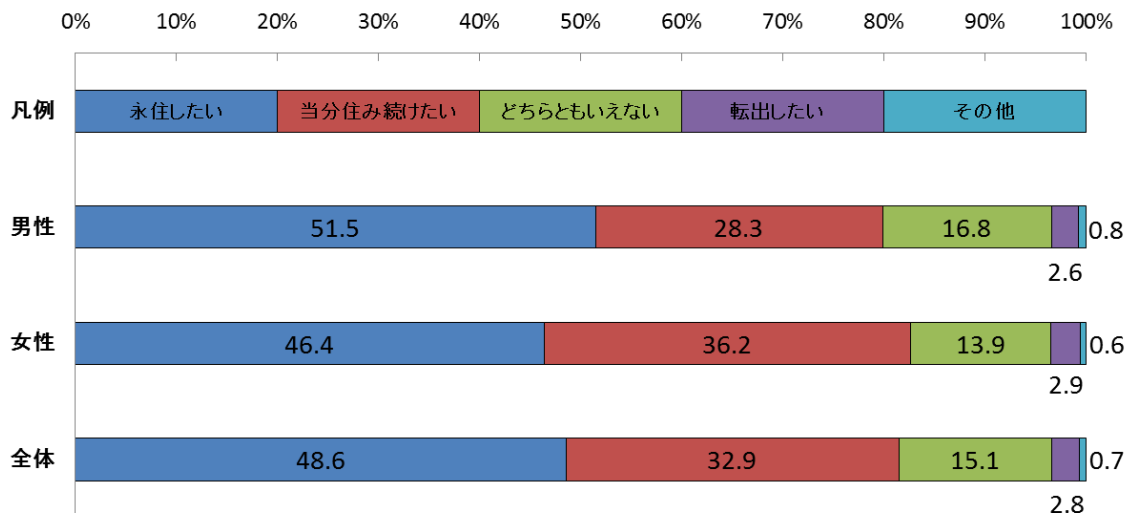
図表 87 松本市での居住継続意向

	回答数(人)	割合(%)
永住したい	626	48.7
当分住み続けたい	423	32.9
どちらともいえない	191	14.9
転出したい	36	2.8
その他	9	0.7
合計	1,285	100.0

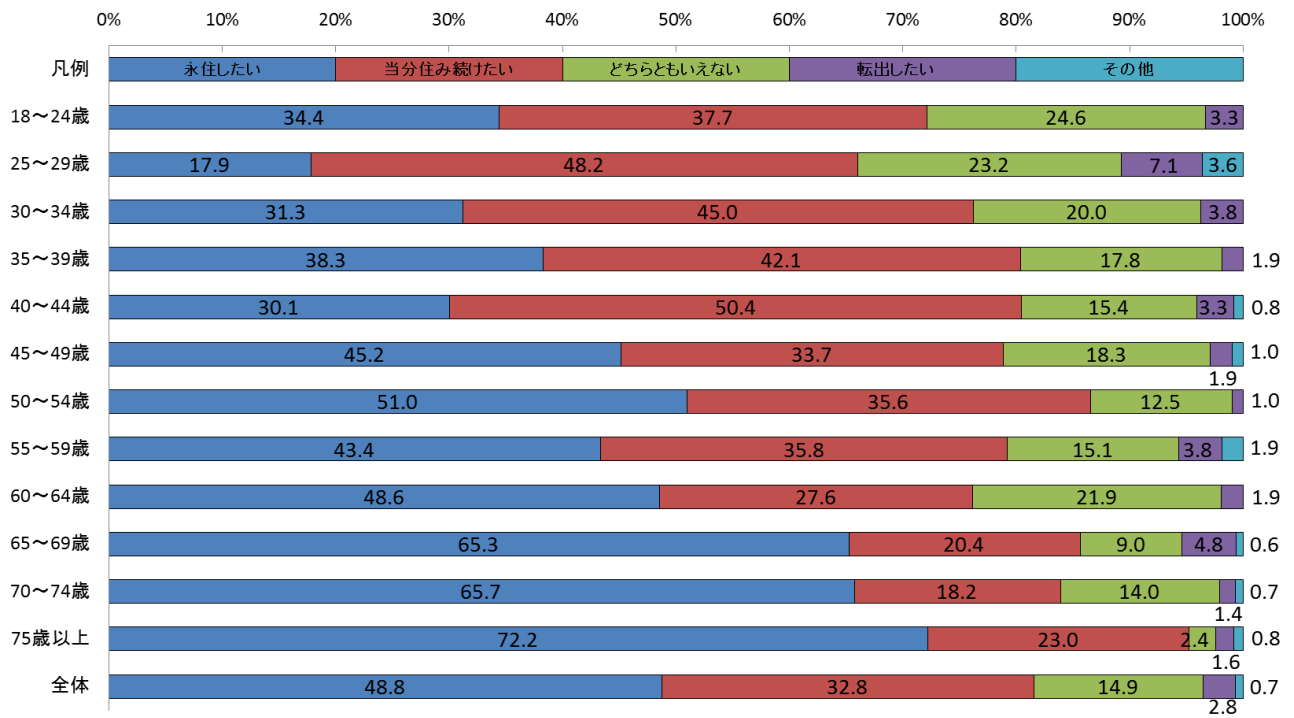


図表 88 性別比較・松本市での居住継続意向

居住意向		永住したい	当分住み続けたい	どちらともいえない	転出したい	その他	全体
男性	回答数	258	142	84	13	4	501
	割合(%)	51.5%	28.3%	16.8%	2.6%	0.8%	100.0%
女性	回答数	318	248	95	20	4	685
	割合(%)	46.4%	36.2%	13.9%	2.9%	0.6%	100.0%
全体	回答数	576	390	179	33	8	1,186
	割合(%)	48.6%	32.9%	15.1%	2.8%	0.7%	100.0%



図表 89 年代別比較・松本市での居住継続意向

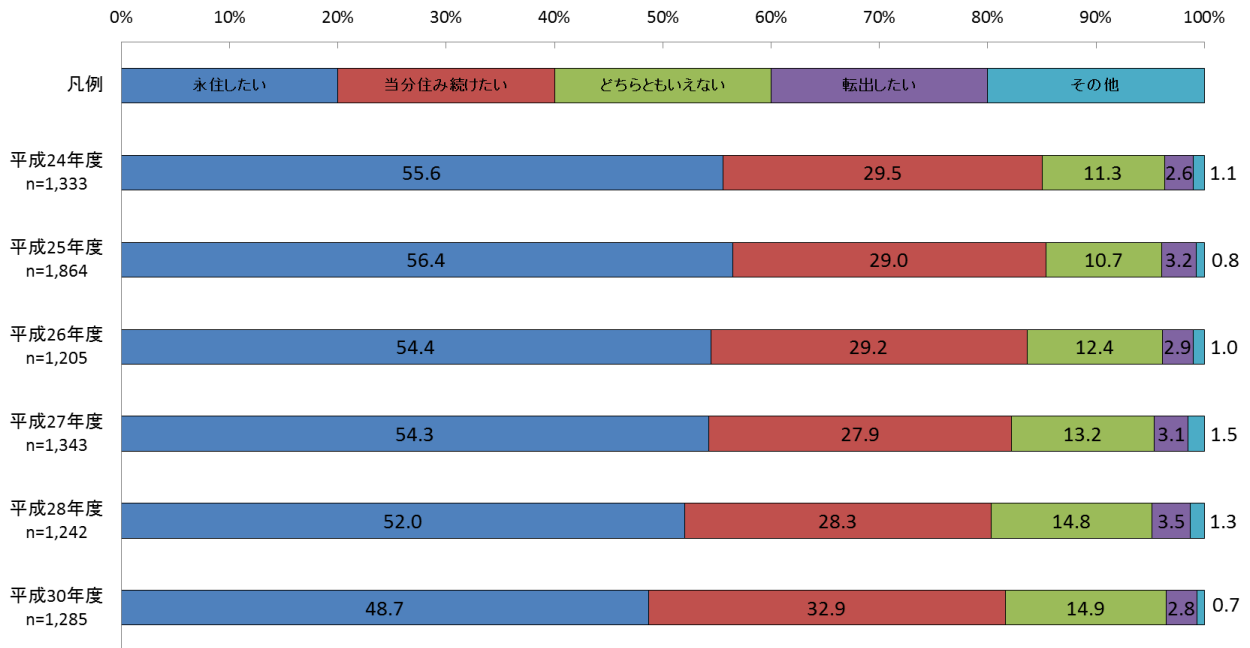


居住意向		永住したい	当分住み 続けたい	どちらとも いえない	転出したい	その他	全体
18～24歳	回答数	21	23	15	2	0	61
	割合%	34.4%	37.7%	24.6%	3.3%	0.0%	100.0%
25～29歳	回答数	10	27	13	4	2	56
	割合%	17.9%	48.2%	23.2%	7.1%	3.6%	100.0%
30～34歳	回答数	25	36	16	3	0	80
	割合%	31.3%	45.0%	20.0%	3.8%	0.0%	100.0%
35～39歳	回答数	41	45	19	2	0	107
	割合%	38.3%	42.1%	17.8%	1.9%	0.0%	100.0%
40～44歳	回答数	37	62	19	4	1	123
	割合%	30.1%	50.4%	15.4%	3.3%	0.8%	100.0%
45～49歳	回答数	47	35	19	2	1	104
	割合%	45.2%	33.7%	18.3%	1.9%	1.0%	100.0%
50～54歳	回答数	53	37	13	1	0	104
	割合%	51.0%	35.6%	12.5%	1.0%	0.0%	100.0%
55～59歳	回答数	46	38	16	4	2	106
	割合%	43.4%	35.8%	15.1%	3.8%	1.9%	100.0%
60～64歳	回答数	51	29	23	2	0	105
	割合%	48.6%	27.6%	21.9%	1.9%	0.0%	100.0%
65～69歳	回答数	109	34	15	8	1	167
	割合%	65.3%	20.4%	9.0%	4.8%	0.6%	100.0%
70～74歳	回答数	94	26	20	2	1	143
	割合%	65.7%	18.2%	14.0%	1.4%	0.7%	100.0%
75歳以上	回答数	91	29	3	2	1	126
	割合%	72.2%	23.0%	2.4%	1.6%	0.8%	100.0%
全体	回答数	625	421	191	36	9	1,282
	割合%	48.8%	32.8%	14.9%	2.8%	0.7%	100.0%

(2) 経年比較

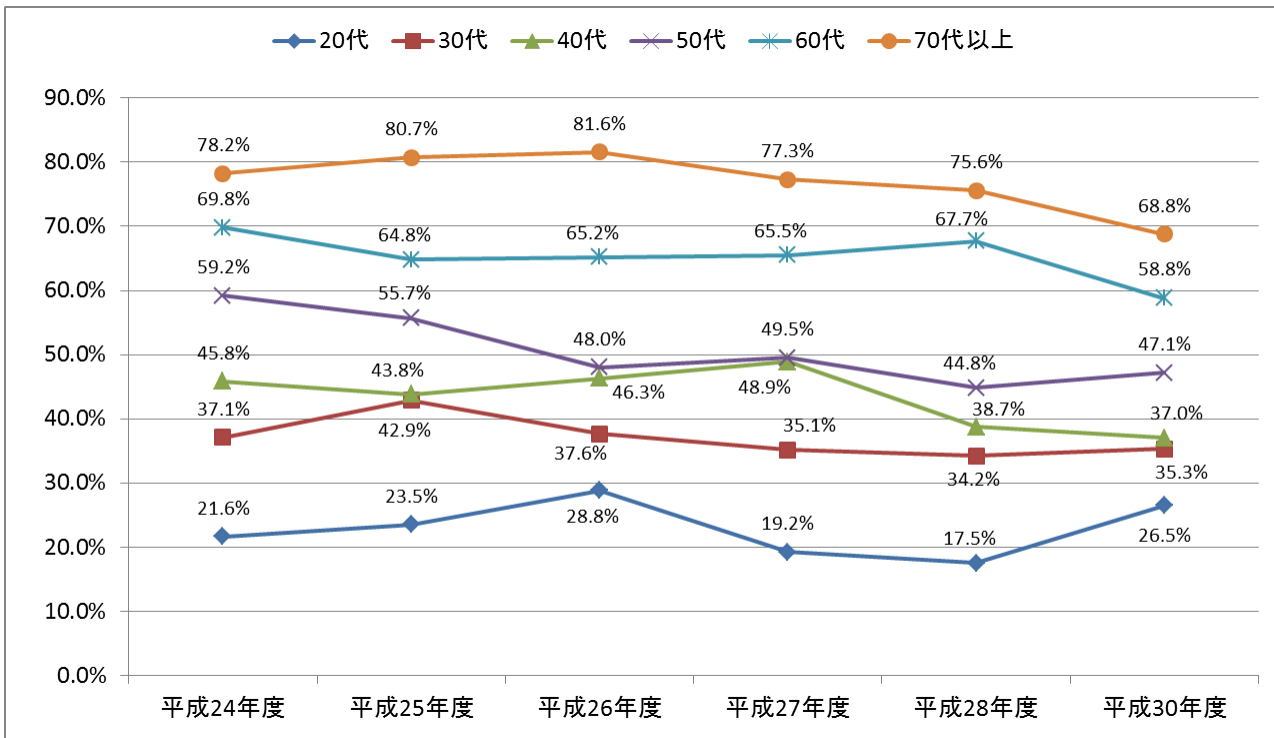
- ・平成 24 年度から経年で比較すると、大きく変化がなく、どの年も約 80%が住み続けたいとの意向を示している。一方、肯定的な意見の中で「永住したい」とする割合は、減少傾向がみられるとともに、「どちらともいえない」とする割合も微増している。
- ・年代別にみると、平成 28 年度と比較して 40 代と 60 代以上の永住意向が下がっており、20 代、30 代、50 代は、上がっている。

図表 90 経年比較・松本市での居住継続意向



居留意向	永住したい	当分住み続けたい	どちらともいえない	転出したい	その他	全体	「永住したい」「当分住み続けたい」を合わせた割合
平成24年度	回答数 741	393	150	35	14	1,333	85.1%
	割合 (%) 55.6	29.5	11.3	2.6	1.1	100.0%	
平成25年度	回答数 1052	540	199	59	14	1,864	85.4%
	割合 (%) 56.4	29.0	10.7	3.2	0.8	100.0%	
平成26年度	回答数 656	352	150	35	12	1,205	83.7%
	割合 (%) 54.4	29.2	12.4	2.9	1.0	100.0%	
平成27年度	回答数 729	375	177	42	20	1,343	82.2%
	割合 (%) 54.3	27.9	13.2	3.1	1.5	100.0%	
平成28年度	回答数 646	352	184	44	16	1,242	80.4%
	割合 (%) 52.0	28.3	14.8	3.5	1.3	100.0%	
平成30年度	回答数 626	423	191	36	9	1,285	81.6%
	割合 (%) 48.7	32.9	14.9	2.8	0.7	100.0%	

図表 70 経年比較・年代別松本市での永住意向



居留意向		20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
平成24年度	回答数	22	83	115	135	213	172
	割合(%)	21.6%	37.1%	45.8%	59.2%	69.8%	78.2%
平成25年度	回答数	31	115	152	176	273	302
	割合(%)	23.5%	42.9%	43.8%	55.7%	64.8%	80.7%
平成26年度	回答数	30	65	100	106	182	173
	割合(%)	28.8%	37.6%	46.3%	48.0%	65.2%	81.6%
平成27年度	回答数	19	71	116	108	211	204
	割合(%)	19.2%	35.1%	48.9%	49.5%	65.5%	77.3%
平成28年度	回答数	18	53	94	81	201	198
	割合(%)	17.5%	34.2%	38.7%	44.8%	67.7%	75.6%
平成30年度	回答数	31	66	84	99	160	185
	割合(%)	26.5%	35.3%	37.0%	47.1%	58.8%	68.8%

第5章 総括

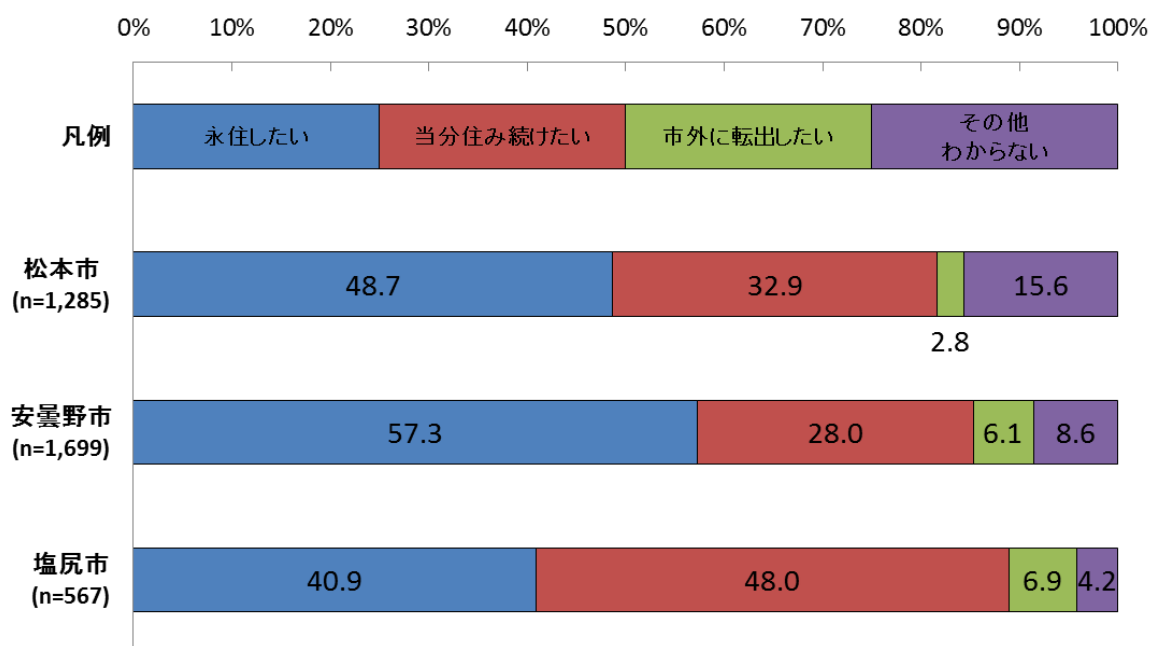
1. 松本市での暮らしの現状

松本市での暮らしの満足度は、「満足している」「どちらかという満足している」を合わせると 91.8% と高い数値であり、平成 24 年度の調査開始から、継続して高い数値を維持している。

居住意向では、「永住したい」という意向が今年度は 52.0%であった。平成 24 年度の 55.6%から比較すると年々微減し、「どちらともえない」という回答が微増傾向にある。他地域との比較では、永住意向は、前回と同様に安曇野市より低く、塩尻市より高い傾向にある。

前回調査から新たに設定した「暮らしのなかで生きがいを感じるか」という問いに対しては、「感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせると 82.1%で高い数値である。

図表 92 他地域比較・居住継続意向



※安曇野市：第2次安曇野市総合計画 市民意識調査報告書(平成28年)

※塩尻市：平成29年度市民意識調査結果（基本集計版）カテゴリーに合わせて再集計している

2. 基本施策ごとの評価

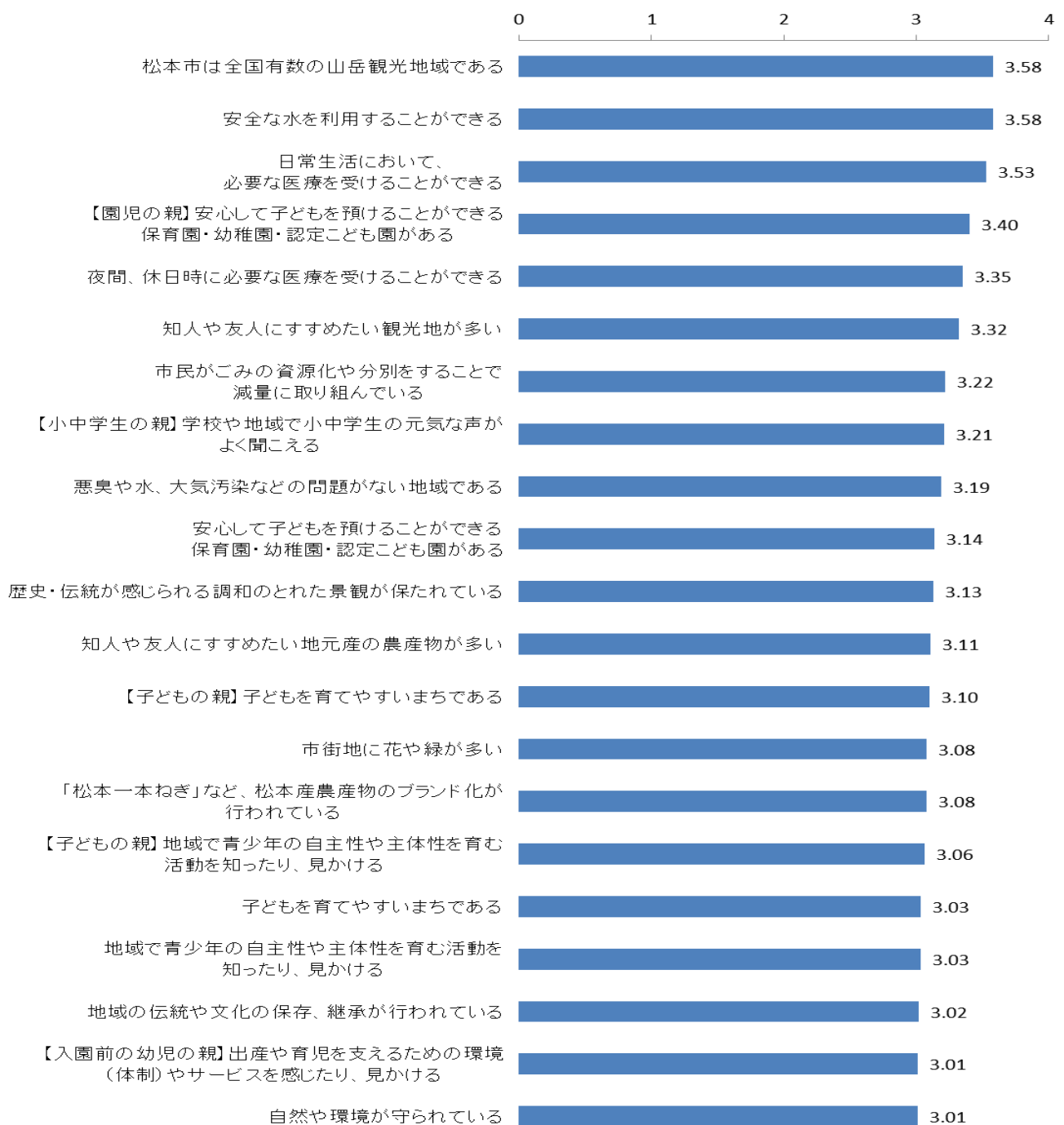
(1) 基本施策ごとの特徴的な傾向

市の現状評価項目のなかで、最も評価が高かったのは、「山岳観光の推進（松本市は全国有数の山岳観光地）」と「水道水の安定供給（安全な水を利用する）」の2項目であり、3.58点であった。

また、戦略的な観光施策（知人や友人にすすめたい観光地が多い）も高評価であり、上高地、乗鞍高原や美ヶ原高原など、知名度が高い観光地が市内にあることが影響しているといえる。

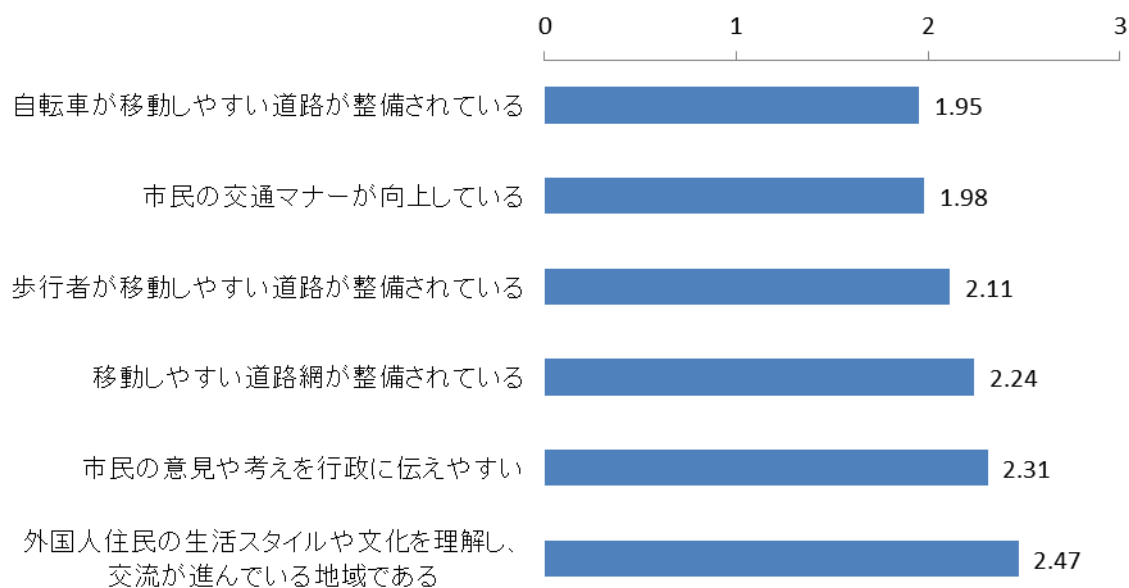
次いで、「地域医療の充実（日常生活において）」、「保育環境の充実（安心して子どもを預ける）」の受益者評価が高く、医療・福祉施策が一定の評価を得ているといえる。

図表 93 市の現状評価で平均点が高い施策（平均点 3.0 以上）



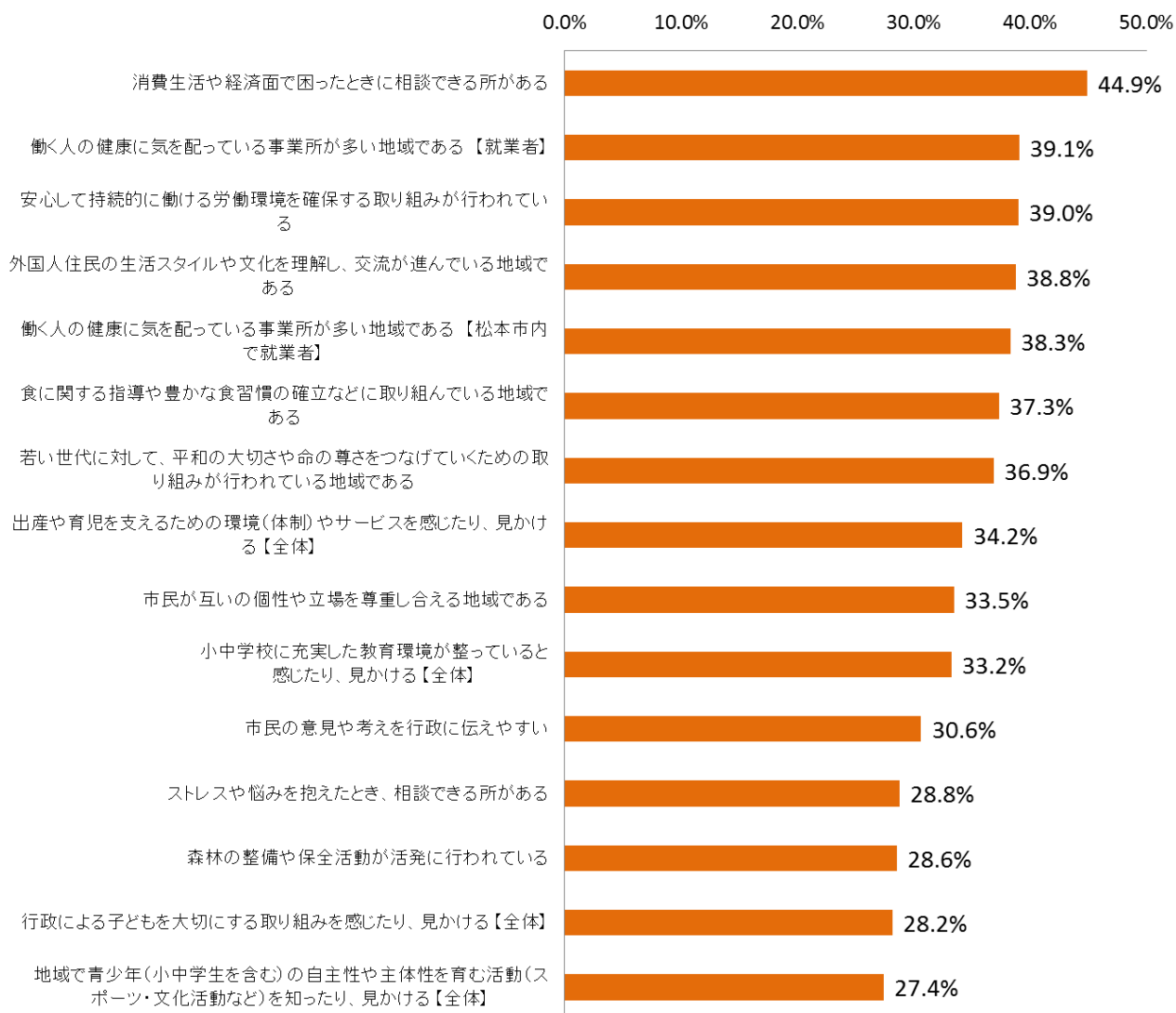
市の現状評価項目のなかで、最も評価が低かったのは、「道路整備の推進（自転車がー）」であり、1.95点であった。次いで「交通安全対策（市民の交通マナー）」の1.98点「質の高い行政経営の実現（市民の意見や考えをー）」「道路整備の推進（歩行者がー）（移動しやすいー）」、となっている。

図表 94 市の現状評価で平均点が低い施策（平均点 2.5未満）



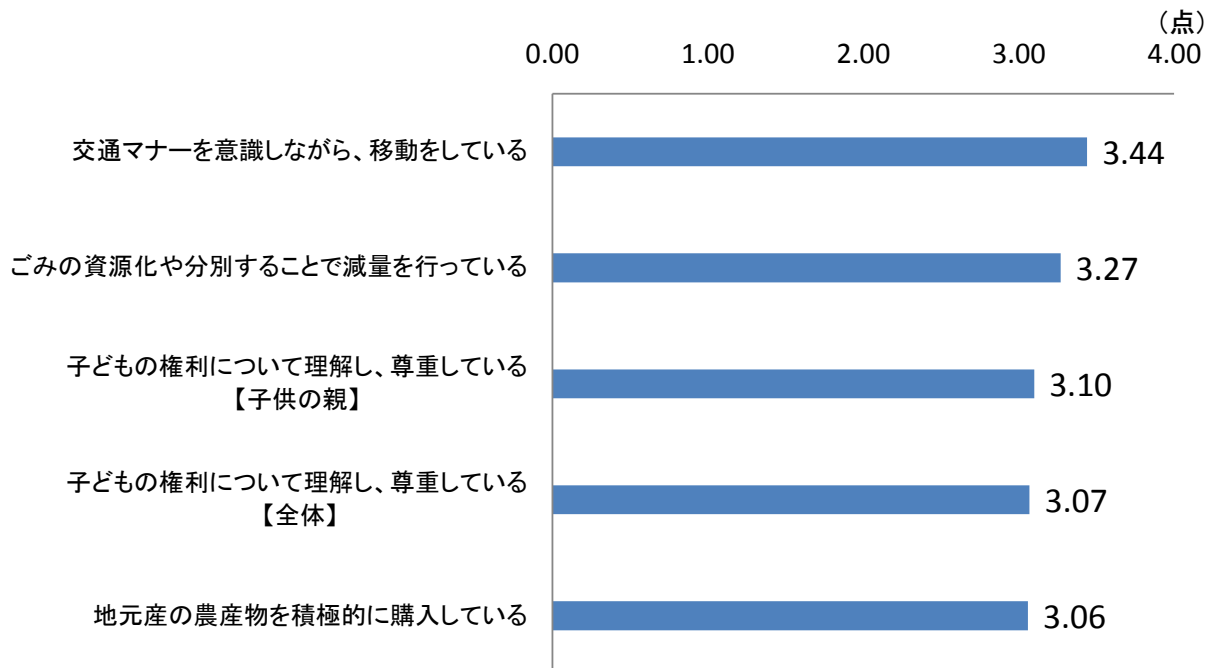
市の現状評価項目のなかで、評価保留の割合が高かったのは、「生活福祉の充実（消費生活や経済面－）」であり、44.9%であった。次いで「健康経営の推進（働く人の健康に気を配っている－）」、「労働、雇用対策の推進（安心して持続的に－）」となっている。受益者が限定された項目が多い状況である。

図表 95 市の現状評価で評価保留の割合が高い項目 上位15項目

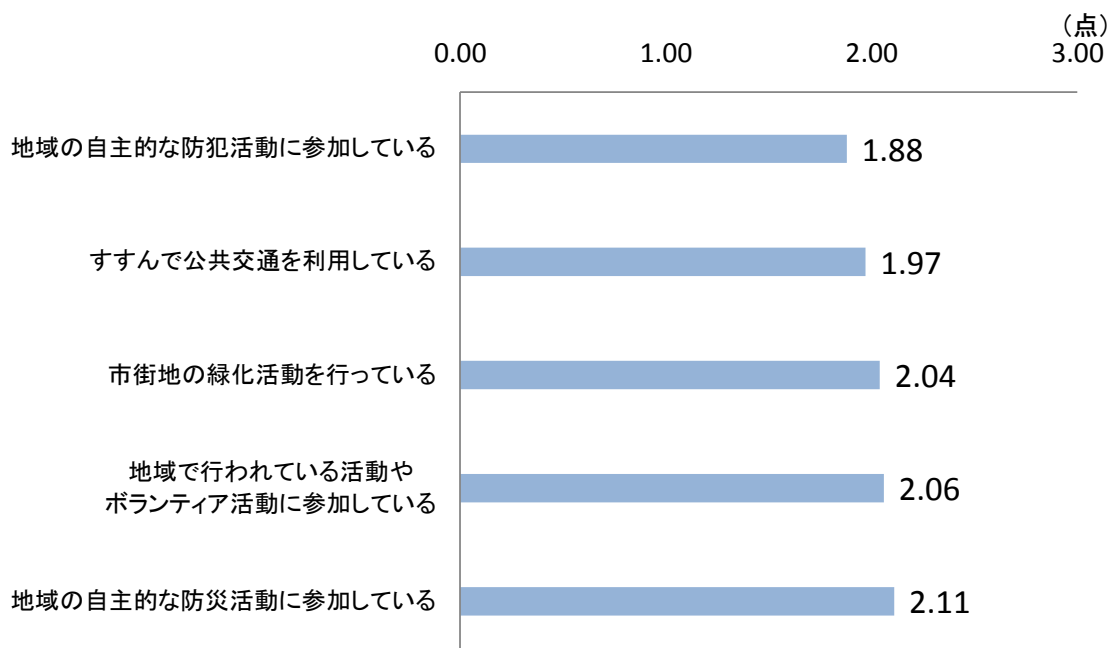


市民の行動の項目のなかで平均点が高いのは、「交通安全対策（市民の交通マナー）」、「3R の推進（ごみの資源化や分別）」であった。低い項目は「地域防犯活動の推進（地域の自主的な防犯活動）」、「交通のまちづくりの推進（すすんで公共交通）」であった。

図表 96 市民の行動で平均点が高い項目 上位5項目



図表 97 市民の行動で平均点が低い項目 下位5項目



以上の結果や中央値 2.5 点や評価保留の割合を見ながら、各政策の特徴的な傾向をまとめる。

図表 98 基本施策ごとの評価結果

調査項目	評価結果の特徴的な傾向
基本目標1 (人の健康) だれもが健康でいきいきと暮らすまち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域医療・救急医療・健康づくりに関する項目は、市の取組みに一定の評価が得られている。また、継続的に健康づくりに取り組んでいる市民も多い。 ・ 「ストレスや悩みを相談できる場所がある」については、平均点が中央値以上であるが、評価保留割合が前回調査より高くなっている。同様に「健康について考えー」と「ご近所同士がー」も評価保留割合が前回調査よりも高くなっており、これまで以上の周知が必要である。
基本目標2 (生活の健康) 一人ひとりが輝き大切にされるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の取組みでは、多文化共生の評価が低い。また、平和意識、人権尊重、多文化共生、生活福祉は、評価保留の割合が 30%以上であり、取組みの周知が必要である。 ・ 高齢者福祉、障害者福祉に関しては、前回調査よりは評価保留の割合が減少してきているが、まだまだ周知が必要である。 ・ 出産・子育て、保育環境に関しては、市民全体と受益者の間で評価保留の割合の差が大きく、当事者以外にも支援内容や取組みについて、周知していく必要がある。
基本目標3 (地域の健康) 安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の支え合い(地域づくり、地域福祉、地域防災、地域防犯)の施策に関しては、「市の現状」評価は高いが、実際に取り組んでいる市民は、少ない傾向が続いている。市民が参加しやすい活動の提案が必要である。 ・ 道路整備(道路網、歩行者道、自転車道)は、中央値 2.5 点未満と評価が低く、課題を感じている市民が多い状況である。 ・ 交通マナーについては、自身は取り組んでいるが、市全体としては向上していないと感じている人が多い。
基本目標4 (環境の健康) 人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の現状に対する評価は、どの施策も中央値 2.5 点以上と高いが、「森林の整備や保全活動ー」の項目については、評価が下がっている。 ・ 「市街地の緑化活動を行っている」市民の割合は低い傾向にはあるが、前回調査に比べ、活動している市民は増えている。
基本目標5 (経済の健康) 魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体を通して市の取組みに対して若年者の評価が高い。特に「中心市街地に賑わいがー」と「魅力的な商店やー」について高く、若者の定住に繋がるのではないかと見える。 ・ 観光に関する評価(山岳観光地域、知人・友人にすすめたい、松本の魅力が発信されている)は、どの項目も高く、観光都市として評価されているが、戦略的な観光施策の推進(外国人観光客の受け入れ体制)は評価保留の割合が多い。これから東京オリンピック・パラリンピックもあるため、さらに周知する必要がある。 ・ 健康経営の推進は、評価が前回調査に比べ低くなっているが、評価保留も高くなっていることから、評価の分析が必要である。
基本目標6 (教育・文化の健康) とともに学びあい人と文化を育むまち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学生の学校や地域での様子は、評価が高く、特に小中学生の親の評価は継続して 3.0 以上となっている。 ・ 文化芸術の推進、スポーツの振興に関する市民の行動は、中央値 2.5 以上となり、評価は上がっている。
行政について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質の高い行政経営(「市民の意見や考えをー」)は依然として評価が低く、評価保留の割合も高い。より一層、周知を図る必要がある。 ・ 市政や地域の情報を把握するメディアは紙媒体が圧倒的に多く、紙媒体による情報発信は重要である。

(2) 年代別に評価の傾向が異なる施策

年代別に算出した平均点が回答者全体と比べて 0.2 点以上低い施策を取りまとめたものが以下である。20 代、30 代で評価が低い施策は、政策 3「安全・安心で支え合いの心がつなぐまちづくり」の「3-1 地域の支え合いを育むまち」や、政策 4「人にやさしい環境を保全し自然と共生するまちづくり」の市民自身の行動に関わる項目で多い傾向がある。若年層に特化した地域づくりへの活動促進、環境意識の向上を行っていく必要がある。

図表 99 回答者全体と比較して若年層の評価が低い項目 ※○の中の数字は基本目標の番号

対象者	区分	施策名	
18~24 歳	市民	③地域づくりの推進（「地域で行われている活動やー」） ③地域福祉活動の推進（「地域の人と積極的に関わりをー」） ③地域防災活動の推進（「地域の自主的な防災活動ー」） ③地域防犯活動の推進（「地域の自主的な防犯活動ー」）	
		⑤農産物高付加価値化の推進（「地元産の農産物を積極的にー」）	
25~29 歳	市	①健康づくりの推進（「健康について考えー」） ①心の健康、生きがいづくりの推進（「ストレスや悩みをー」） ①ソーシャルキャピタルを生かした健康づくり（「ご近所同士がー」）	
		③地域防災活動の推進（「地域の自主的な防災活動ー」） ③地域防犯活動の推進（「地域の自主的な防犯活動ー」）	
		④ 3 R の推進（「市民がごみの資源化やー」）	
		⑥生涯学習施設整備の推進（「様々な学びや趣味を気軽に行えるー」） ⑥歴史・文化資産保護・活用の推進（「地域の伝統や文化の保存ー」）	
		市民	②出産・育児支援の充実（「子どもの権利ー」） ②出産・育児支援の充実（「青少年（小中学生を含む）の自主性やー」）
			③地域づくりの推進（「地域で行われている活動やー」） ③地域福祉活動の推進（「地域の人と積極的に関わりをー」） ③地域防災活動の推進（「地域の自主的な防災活動ー」） ③地域防犯活動の推進（「地域の自主的な防犯活動ー」） ③防災・減災対策の推進（「災害に対する備えー」）
	④新エネルギー活用の推進（「省エネに積極的に取りー」） ④ 3 R の推進（「市民がごみの資源化やー」） ④環境教育の充実（「自然や環境を守るためー」） ④花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進（「市街地の緑化活動ー」） ④生物多様性保全の推進（環境にやさしい暮らしー）		
	⑤農産物高付加価値化の推進（「地元産の農産物を積極的にー」）		
	⑥家庭、地域と学校の連携強化（「家族で食事をするなどー」）		
	⑦質の高い行政経営の実現（「行政の活動に関心をー」）		

30～34 歳	市	①健康づくりの推進（「健康について考えー」）
		①ソーシャルキャピタルを生かした健康づくり（「ご近所同士がー」）
	①地域医療の充実（「日常生活において、必要なー」）	
	⑤戦略的な観光施策の推進（「知人や友人にすすめたいー」）	
	市民	③地域づくりの推進（「地域で行われている活動やー」）
③地域福祉活動の推進（「地域の人と積極的に関わりをー」）		
③地域防災活動の推進（「地域の自主的な防災活動ー」）		
③地域防犯活動の推進（「地域の自主的な防犯活動ー」）		
		⑦質の高い行政経営の実現（「行政の活動に関心をー」）
35～39 歳	市	①健康づくりの推進（「健康について考えー」）
		④3Rの推進（「市民がごみの資源化やー」）
		⑤健康経営の推進（「【就業者】働く人の健康に気をー」）
		⑤戦略的な観光施策の推進（「知人や友人にすすめたいー」）
		⑦質の高い行政経営の実現（「市民の意見や考えをー」）
	市民	①健康づくりの推進（「健康づくりに継続的にー」）
		①心の健康、生きがいづくりの推進（「不安やストレスを一人でー」）
		③地域づくりの推進（「地域で行われている活動やー」）
		③地域福祉活動の推進（「地域の人と積極的に関わりをー」）
		③地域防災活動の推進（「地域の自主的な防災活動ー」）
		③地域防犯活動の推進（「地域の自主的な防犯活動ー」）
		④3Rの推進（「市民がごみの資源化やー」）
		④花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進（「市街地の緑化活動ー」）
		④生物多様性保全の推進（環境にやさしい暮らしー）
		⑤労働、雇用対策の推進（「仕事と健康のバランスをー」）
		⑤農産物高付加価値化の推進（「地元産の農産物を積極的にー」）
⑥スポーツの振興（「継続的にスポーツに親しんでー」）		
⑥歴史・文化資産保護・活用の推進（「祭りなどの）地域の伝統やー」）		

中間層、シニア層は、評価が低い項目にばらつきがある。40代は健康づくりや環境にやさしい暮らしなど、自身の行動に関する項目が低い。50代は道路整備、公共交通など政策3「安全・安心で支え合いの心がつなぐまちづくり」の都市基盤関連の項目で評価が低い。60代は森林整備、70代は学校教育の充実の評価が低い傾向にある。

図表 71 回答者全体と比較して中間層、シニア層の評価が低い項目

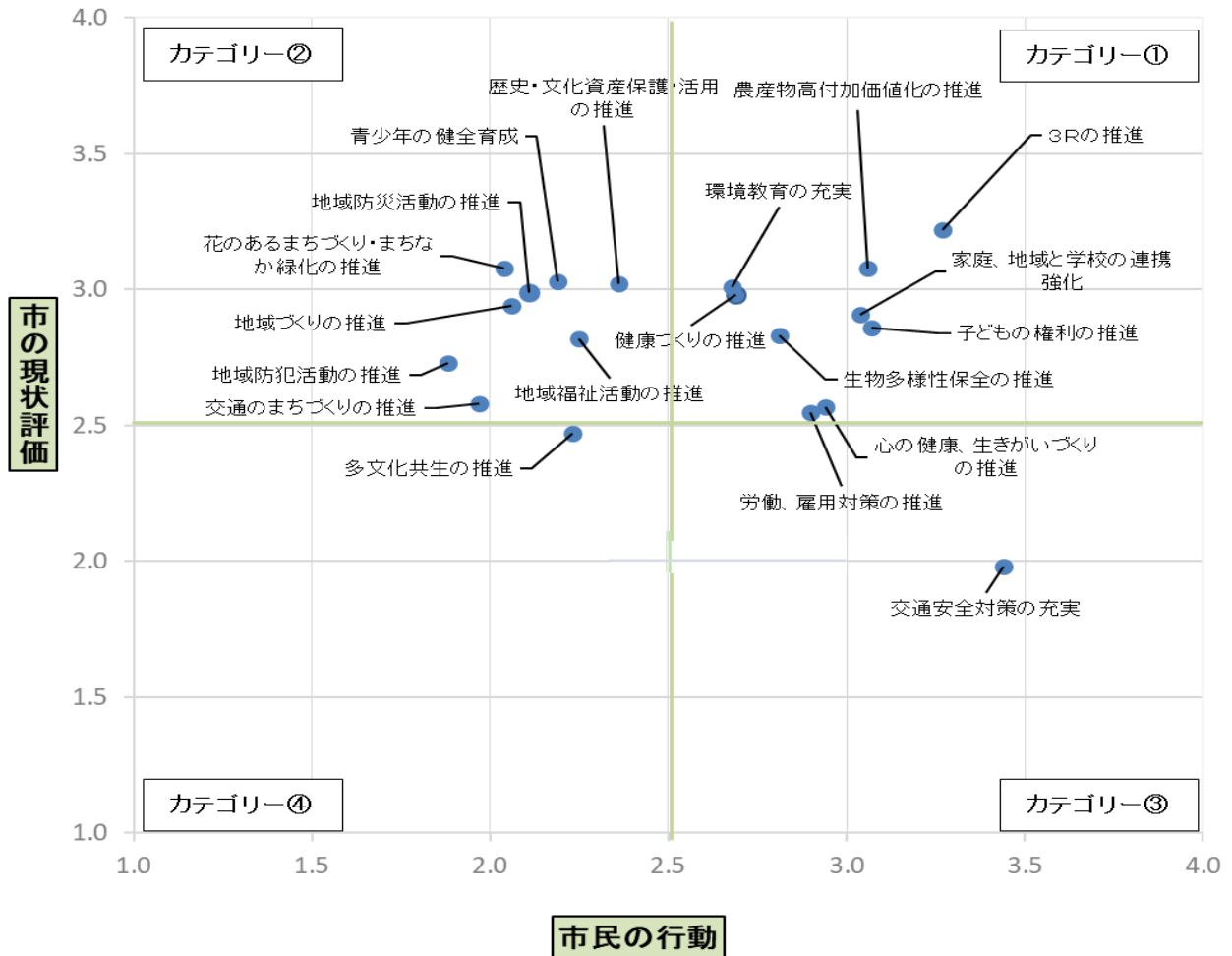
対象者	区分	施策名		
40～44 歳	市	③交通のまちづくりの推進（「生活する上で必要最小限－」）		
		④3Rの推進（「市民がごみの資源化や－」）		
45～49 歳	市民	①健康づくりの推進（「健康づくりに継続的に－」）		
50～54 歳	市民	①健康づくりの推進（「健康づくりに継続的に－」）		
55～59 歳	市	②生活福祉の充実（「消費生活や経済面で困った－」） ③交通のまちづくりの推進（「生活する上で必要最小限－」）		
	市民	②青少年の健全育成（「青少年（小中学生を含む）の自主性や－」）		
60～64 歳	市	②子育て環境の充実（「出産や育児を支える－」） ③危機管理体制の強化（「防災・減災の備えが－」） ③道路整備の推進（「移動しやすい道路網が－」） ⑤中心市街地の賑わいの創出（「中心市街地に賑わい－」） ⑤農林業の振興と美しい農山村の継承（「農業がさかん－」） ⑤商業の振興（「魅力的な商店や－」）		
		⑥学校教育の充実（「学校や地域で小中学生－」） ⑥家庭、地域と学校の連携強化（「食に関する指導や－」） ⑥生涯学習施設整備の推進（「様々な学びや趣味を気軽に行える－」）		
		市民	②青少年の健全育成（「青少年（小中学生を含む）の自主性や－」）	
		65～69 歳	市	④森林環境整備の推進（「森林の整備や保全活動－」） ④生物多様性保全の推進（「様々な生きものが共生－」）
				70～75 歳
		75 歳以上		－

(3) 市の現状評価と市民の行動からみる施策の方向性

市の環境・体制に対する評価と市民の行動という 2 つの視点で聞いた施策に傾向を取りまとめる。2 つの視点で聞いた施策について、横軸を「市の現状評価」、縦軸を「市民の行動」としたグラフである。

「市の現状評価」「市民の行動」がともに 2.5 点を下回る項目は「多文化共生の推進」の 1 項目だけである。

図表 101 市の現状評価と市民の行動の平均点の分布



中央値 2.5 を基準に 4 つのカテゴリーに分類し、政策の状況について整理を行った。

図表 72 市の現状評価と市民の行動からみる施策の分類 ※○の中の数字は基本目標の番号

カテゴリー	該当施策
<p>カテゴリー① 市の環境・体制に対する評価、市民の行動がともに高い水準</p> <p>◆市の環境・体制：2.5 以上 ◆市民の行動：2.5 以上</p>	<p>①健康づくりの推進 ①心の健康、生きがいくりの推進 ②子どもの権利の推進 ④3Rの推進 ④環境教育の充実 ④生物多様性保全の推進 ⑤労働、雇用対策の推進 ⑤農産物高付加価値化の推進 ⑥家庭、地域と学校の連携強化</p>
<p>カテゴリー② 市の環境・体制に対する評価水準は高いが、市民の行動が低い水準</p> <p>◆市の環境・体制：2.5 以上 ◆市民の行動：2.5 未満</p>	<p>②青少年の健全育成 ③地域づくりの推進 ③地域福祉活動の推進 ③地域防災活動の推進 ③地域防犯活動の推進 ③交通のまちづくりの推進 ④花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進 ⑥歴史・文化資産保全・活用の推進</p>
<p>カテゴリー③ 市の環境・体制に対する評価水準は低いが、市民の行動は高い水準</p> <p>◆市の環境・体制：2.5 未満 ◆市民の行動：2.5 以上</p>	<p>③交通安全対策の充実</p>
<p>カテゴリー④ 市の環境・体制に対する評価、市民の行動がともに低い水準</p> <p>◆市の環境・体制：2.5 未満 ◆市民の行動：2.5 未満</p>	<p>②多文化共生の推進</p>

(4) 経年による調査結果の比較

①過去5年間の調査結果との比較

平成24年度から実施している本調査の結果を比較し、各項目の傾向を把握する。なお、平成28年度より第10次基本計画にあわせて調査項目の見直しを行っており、比較分析は調査項目の変更がない施策で行う。

1) 平均点の経年比較

■市の現状評価に関する経年比較結果■

- ・市の現状の項目で、平成28年から平成30年にかけて上がっているものは、「出産・子育て環境の充実」である。
- ・この5年間での変化としては、「保育環境の充実」「労働、雇用対策の推進」は評価が上がっている傾向にある。

図表 103 松本市の現状評価の経年比較（政策1～政策2）

基本施策番号	施策名	H30年度の調査項目	平均点					平均点の差				
			H25	H26	H27	H28	H30	H25⇒H26	H26⇒H27	H27⇒H28	H28⇒H30	H25⇒H30
1-1-1	健康づくりの推進	健康について考え、実践できる環境がある	3.08	2.98	2.99	2.94	2.98	-0.10	0.01	-0.05	0.04	-0.10
1-1-2	心の健康、生きがいづくりの推進	ストレスや悩みを抱えたとき、相談できる所がある	2.56	2.45	2.45	2.43	2.57	-0.11	0.00	-0.02	0.14	0.01
1-2-1	地域医療の充実	日常生活において、必要な医療を受けることができる	3.59	3.55	3.51	3.50	3.53	-0.04	-0.04	-0.01	0.03	-0.06
1-2-2	救急医療の充実	夜間、休日時に必要な医療を受けることができる	3.37	3.34	3.33	3.32	3.35	-0.03	-0.01	-0.01	0.03	-0.02
2-1-2	人権尊重の推進	市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域である	2.61	2.62	2.63	2.63	2.64	0.01	0.01	0.00	0.01	0.03
2-1-3	多文化共生の推進	外国人住民の生活スタイルや文化を理解し、交流が進んでいる地域である	2.47	2.40	2.47	2.59	2.46	-0.07	0.07	0.12	-0.13	-0.01
2-2-1	高齢者福祉の充実	高齢者が暮らしやすいまちである	2.78	2.73	2.60	2.68	2.70	-0.05	-0.13	0.08	0.02	-0.08
		【高齢者(60歳以上)】高齢者が暮らしやすいまちである	2.85	2.76	2.65	2.76	2.71	-0.09	-0.11	0.11	-0.05	-0.14
		【介護サービス利用者と同居者】高齢者が暮らしやすいまちである	2.93	2.76	2.68	2.65	2.79	-0.17	-0.08	-0.03	0.14	-0.14
2-2-2	障害者(児)福祉の充実	障害のある人が安心して生活できる環境整備を感じたり、見かけられる	2.66	2.55	2.49	2.56	2.51	-0.11	-0.06	0.07	-0.05	-0.15
		【障害者と同居者】障害のある人が安心して生活できる環境整備を感じたり、見かけられる	2.67	2.56	2.56	2.51	2.59	-0.11	0.00	-0.05	0.08	-0.08
2-3-2	子育て環境の充実	出産や育児を支えるための環境(体制)やサービスを感じたり、見かける	2.71	2.57	2.58	2.79	2.81	-0.14	0.01	0.21	0.02	0.10
		【子どもの親】出産や育児を支えるための環境(体制)やサービスを感じたり、見かける	2.74	2.60	2.51	2.76	2.98	-0.14	-0.09	0.25	0.22	0.24
		【入園前の幼児の親】出産や育児を支えるための環境(体制)やサービスを感じたり、見かける	2.87	2.58	2.64	2.88	3.01	-0.29	0.06	0.24	0.13	0.14
2-3-3	保育環境の充実	安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園・認定こども園がある	3.07	3.05	2.99	3.18	3.14	-0.02	-0.06	0.19	-0.04	0.07
		【園児の親】安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園・認定こども園がある	3.19	3.23	3.11	3.35	3.40	0.04	-0.12	0.24	0.05	0.21
2-3-4	青少年の健全育成	地域で青少年(小中学生を含む)の自主性や主体性を育む活動(スポーツ・文化活動など)を知ったり、見かける	2.92	2.89	3.02	3.04	3.03	-0.03	0.13	0.02	-0.01	0.11
		【子どもの親】地域で青少年(小中学生を含む)の自主性や主体性を育む活動(スポーツ・文化活動など)を知ったり、見かける	2.88	2.81	2.90	3.02	3.06	-0.07	0.09	0.12	0.04	0.18

※各項目、平均点の差が0.2点以上高いセルは濃い色、0.2点以上低いセルには薄い色を付けている。

図表 104 松本市の現状評価の経年比較（政策3～行政について）

基本施策 番号	施策名	H30年度の調査項目	平均点					平均点の差				
			H25	H26	H27	H28	H30	H25⇒ H26	H26⇒ H27	H27⇒ H28	H28⇒ H30	H25⇒ H30
3-1-2	地域福祉活動の推進	地域住民による支えあいが行われている	2.72	2.70	2.69	2.78	2.82	-0.02	-0.01	0.09	0.04	0.10
3-1-3	地域防災活動の推進	地域による自主的な防災活動が行われている	3.01	3.02	3.05	2.97	2.99	0.01	0.03	-0.08	0.02	-0.02
3-1-4	地域防犯活動の推進	地域による自主的な防犯活動が行われている	2.68	2.68	2.64	2.70	2.73	0.00	-0.04	0.06	0.03	0.05
3-2-1	危機管理体制の強化	防災・減災の備えが整っている	2.62	2.64	2.62	2.71	2.67	0.02	-0.02	0.09	-0.04	0.05
3-3-1	調和した土地利用の推進	優良農地や豊かな自然を守りつつ都市開発が行われている	2.60	2.63	2.61	2.73	2.63	0.03	-0.02	0.12	-0.10	0.03
3-3-3	交通安全対策の充実	市民の交通マナーが向上している	1.92	1.91	1.94	1.93	1.98	-0.01	0.03	-0.01	0.05	0.06
3-3-5	水道水の安定供給	安全な水を利用することができる	3.52	3.52	3.56	3.56	3.58	0.00	0.04	0.00	0.02	0.06
4-1-2	3Rの推進	市民がごみの資源化や分別をすることで減量に取り組んでいる	3.19	3.18	3.17	3.26	3.22	-0.01	-0.01	0.09	-0.04	0.03
4-3-1	水・大気などの環境保全の推進	悪臭や水、大気汚染などの問題がない地域である	3.25	3.26	3.33	3.20	3.19	0.01	0.07	-0.13	-0.01	-0.06
4-3-2	景観維持、保全の推進	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている	2.95	2.86	2.97	3.15	3.13	-0.09	0.11	0.18	-0.02	0.18
5-1-4	労働、雇用対策の推進	安心して持続的に働ける労働環境を確保する取り組みが行われている	2.01	2.04	2.13	2.36	2.55	0.03	0.09	0.23	0.19	0.54
5-2-1	農林業の振興と美しい農山村の継承	知人や友人にすすめたい地元産の農産物が多い	3.02	2.97	2.99	3.03	3.11	-0.05	0.02	0.04	0.08	0.09
5-3-3	戦略的な観光施策の推進	知人や友人にすすめたい観光地が多い	3.16	3.14	3.11	3.28	3.32	-0.02	-0.03	0.17	0.04	0.16
6-1-1	学校教育の充実	学校や地域で小中学生の元気な声がよく聞こえる	3.04	3.04	3.09	3.15	2.98	0.00	0.05	0.06	-0.17	-0.06
		【小中学生の親】学校や地域で小中学生の元気な声がよく聞こえる	3.05	3.06	3.04	3.15	3.21	0.01	-0.02	0.11	0.06	0.16
6-1-2	学校環境の整備・充実	小中学校に充実した教育環境が整っていると感じたり、見かける	2.98	2.97	3.05	3.16	2.88	-0.01	0.08	0.11	-0.28	-0.10
		【小中学生の親】小中学校に充実した教育環境が整っていると感じたり、見かける	2.88	2.87	2.87	3.03	2.85	-0.01	0.00	0.16	-0.18	-0.03
6-2-2	社会教育環境の整備	様々な学びや趣味を気軽に行える施設が充実している	2.76	2.67	2.73	2.75	2.77	-0.09	0.06	0.02	0.02	0.01
6-4-1	歴史・文化資産保護・活用の推進	地域の伝統や文化の保存、継承が行われている	3.00	2.97	2.99	3.04	3.03	-0.03	0.02	0.05	-0.01	0.03
6-4-2	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている	2.92	2.84	2.90	2.94	2.89	-0.08	0.06	0.04	-0.05	-0.03
行政について	質の高い行政経営の実現	市民の意見や考えを行政に伝えやすい	2.28	2.24	2.23	2.27	2.31	-0.04	-0.01	0.04	0.04	0.03
行政について	窓口サービス・広聴の充実	職員の対応に好感を持つことができる	2.63	2.62	2.65	2.68	2.78	-0.01	0.03	0.03	0.10	0.15

※各項目、平均点の差が 0.2 点以上高いセルは濃い色、0.2 点以上低いセルには薄い色を付けている。

■市民の行動に関する経年比較結果■

- ・市民の行動の項目で、平成 28 年から平成 30 年にかけて「青少年の健全育成」と「環境教育の充実」が上がっている。
- ・この 5 年間での変化としても、「青少年の健全育成」が上がっている。

図表 105 市民の行動の経年比較（政策 1～行政について）

基本施策 番号	施策名	H30年度の調査項目	平均点					平均点の差				
			H25	H26	H27	H28	H30	H25⇒ H26	H26⇒ H27	H27⇒ H28	H28⇒ H30	H25⇒ H30
1-1-1	健康づくりの推進	健康づくりに継続的に取り組んでいる	2.62	2.54	2.57	2.53	2.69	-0.08	0.03	-0.04	0.16	0.07
2-3-4	青少年の健全育成	青少年（小中学生を含む）の自主性や主体性を育む活動（スポーツ・文化活動など）を行っている	2.14	2.11	2.13	2.32	2.19	-0.03	0.02	0.19	-0.13	0.05
		【子どもの親】青少年（小中学生を含む）の自主性や主体性を育む活動（スポーツ・文化活動など）を行っている	2.30	2.20	2.21	2.39	2.59	-0.10	0.01	0.18	0.20	0.29
3-1-1	地域づくりの推進	地域で行われている活動やボランティア活動に参加している	2.03	1.96	2.03	2.02	2.06	-0.07	0.07	-0.01	0.04	0.03
3-1-2	地域福祉活動の推進	地域の人と積極的に関わりを持っている	2.41	2.40	2.38	2.26	2.25	-0.01	-0.02	-0.12	-0.01	-0.16
3-1-3	地域防災活動の推進	地域の自主的な防災活動に参加している	2.03	1.95	2.08	2.08	2.12	-0.08	0.13	0.00	0.04	0.09
3-1-4	地域防犯活動の推進	地域の自主的な防犯活動に参加している	1.81	1.75	1.80	1.88	1.88	-0.06	0.05	0.08	0.00	0.07
3-2-2	防災・減災対策の推進	災害に対する備えをしている	2.34	2.31	2.30	2.41	2.39	-0.03	-0.01	0.11	-0.02	0.05
3-3-3	交通安全対策の充実	交通マナーを意識しながら、移動をしている	3.45	3.42	3.44	3.50	3.44	-0.03	0.02	0.06	-0.06	-0.01
3-3-4	交通のまちづくりの推進	すずんで公共交通を利用している	1.92	1.96	1.99	2.01	1.96	0.04	0.03	0.02	-0.05	0.04
4-1-2	3Rの推進	ごみの資源化や分別することで減量を行っている	3.32	3.32	3.30	3.30	3.27	0.00	-0.02	0.00	-0.03	-0.05
4-1-3	環境教育の充実	自然や環境を守るための活動を行っている	2.46	2.41	2.45	2.35	2.68	-0.05	0.04	-0.10	0.33	0.22
4-2-2	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進	市街地の緑化活動を行っている	1.96	1.97	1.96	1.96	2.04	0.01	-0.01	0.00	0.08	0.08
5-3-1	農産物高付加価値化の推進	地元産の農産物を積極的に購入している	3.09	2.96	3.08	3.06	3.06	-0.13	0.12	-0.02	0.00	-0.03
6-2-1	生涯学習の推進	様々な学びや趣味を通じて、充実した日常生活を送っている	2.61	2.59	2.55	2.68	2.76	-0.02	-0.04	0.13	0.08	0.15
6-3-1	文化芸術活動の推進	音楽や芸術にふれている（音楽や芸術活動に取り組んだり、鑑賞することを含む）	2.47	2.46	2.47	2.49	2.61	-0.01	0.01	0.02	0.12	0.14
6-3-2	スポーツの振興	継続的にスポーツに親しんでいる（競技・生涯スポーツやラジオ体操・散歩等の運動に取り組んだり、応援・観戦や指導・ボランティア活動含む）	2.35	2.32	2.38	2.38	2.54	-0.03	0.06	0.00	0.16	0.19
6-4-1	歴史・文化資産保護・活用の推進	（祭りなどの）地域の伝統や文化の保存、継承に取り組んでいる	2.23	2.20	2.22	2.21	2.36	-0.03	0.02	-0.01	0.15	0.13
行政について	松本の魅力発信力の強化	行政の活動に関心を持っている	2.64	2.61	2.61	2.66	2.61	-0.03	0.00	0.05	-0.05	-0.03

※各項目、平均点の差が 0.2 点以上高いセルは濃い色、0.2 点以上低いセルには薄い色を付けている。

2) 評価保留の割合の比較

■評価保留の割合・市の現状評価に関する経年比較結果■

- ・この5年間で5%以上上がっているものは、「優良農地や豊かな自然を守りつつ都市開発が行われている」「安心して持続的に働ける労働環境を確保する取り組みが行われている」「市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域である」である。
- ・5%より下がっているものは、「高齢者福祉の充実」「障害者(児)福祉の充実」「保育環境の充実」「青少年の健全育成」「学校教育の充実」であった。

図表 106 評価保留の割合・松本市の現状評価の経年比較（政策1～政策2）

基本施策番号	施策名	H30年度の調査項目	評価保留の割合 (%)					評価保留の割合 (%) の差				
			H25	H26	H27	H28	H30	H25→H26	H26→H27	H27→H28	H28→H30	H25→H30
1-1-1	健康づくりの推進	健康について考え、実践できる環境がある	14.8%	15.6%	13.9%	13.2%	15.8%	0.8%	-1.7%	-0.7%	2.6%	1.0%
1-1-2	心の健康、生きがいづくりの推進	ストレスや悩みを抱えたととき、相談できる所がある	27.2%	27.6%	26.7%	24.2%	28.8%	0.4%	-0.9%	-2.5%	4.6%	1.6%
1-2-1	地域医療の充実	日常生活において、必要な医療を受けることができる	2.9%	3.5%	2.3%	2.9%	2.6%	0.6%	-1.2%	0.6%	-0.3%	-0.3%
1-2-2	救急医療の充実	夜間、休日時に必要な医療を受けることができる	7.0%	7.2%	5.7%	8.1%	7.7%	0.2%	-1.5%	2.4%	-0.4%	0.7%
2-1-2	人権尊重の推進	市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域である	26.3%	25.9%	27.5%	30.1%	33.5%	-0.4%	1.6%	2.6%	3.4%	7.2%
2-1-3	多文化共生の推進	外国人住民の生活スタイルや文化を理解し、交流が進んでいる地域である	38.2%	36.6%	31.1%	35.1%	38.8%	-1.6%	-5.5%	4.0%	3.7%	0.6%
2-2-1	高齢者福祉の充実	高齢者が暮らしやすいまちである	24.6%	24.8%	18.5%	18.4%	17.5%	0.2%	-6.3%	-0.1%	-0.9%	-7.1%
		【高齢者(60歳以上)】高齢者が暮らしやすいまちである	15.3%	17.3%	-	15.3%	12.8%	2.0%	-	-	-2.5%	-2.5%
		【介護サービス利用者と同居者】高齢者が暮らしやすいまちである	11.5%	10.2%	10.1%	6.2%	6.1%	-1.3%	-0.1%	-3.9%	-0.1%	-5.4%
2-2-2	障害者(児)福祉の充実	障害のある人が安心して生活できる環境整備を感じたり、見かけられる	32.3%	31.2%	26.8%	29.1%	23.9%	-1.1%	-4.4%	2.3%	-5.2%	-8.4%
		【障害者と同居者】障害のある人が安心して生活できる環境整備を感じたり、見かけられる	15.4%	13.6%	11.2%	12.8%	12.1%	-1.8%	-2.4%	1.6%	-0.7%	-3.3%
2-3-2	子育て環境の充実	出産や育児を支えるための環境(体制)やサービスを感じたり、見かける	36.0%	35.0%	33.5%	35.0%	34.2%	-1.0%	-1.5%	1.5%	-0.8%	-1.8%
		【子どもの親】出産や育児を支えるための環境(体制)やサービスを感じたり、見かける	14.2%	14.2%	13.1%	11.6%	7.9%	0.0%	-1.1%	-1.5%	-3.7%	-6.3%
		【入園前の幼児の親】出産や育児を支えるための環境(体制)やサービスを感じたり、見かける	3.7%	3.5%	3.4%	1.1%	2.4%	-0.2%	-0.1%	-2.3%	1.3%	-1.3%
2-3-3	保育環境の充実	安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園・認定こども園がある	29.7%	30.5%	28.2%	26.9%	23.4%	0.8%	-2.3%	-1.3%	-3.5%	-6.3%
		【園児の親】安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園・認定こども園がある	0.0%	1.4%	1.9%	3.4%	1.1%	1.4%	0.5%	1.5%	-2.3%	1.1%
2-3-4	青少年の健全育成	地域で青少年(小中学生を含む)の自主性や主体性を育む活動(スポーツ・文化活動など)を知ったり、見かける	32.9%	36.3%	33.4%	32.6%	27.4%	3.4%	-2.9%	-0.8%	-5.2%	-5.5%
		【子どもの親】地域で青少年(小中学生を含む)の自主性や主体性を育む活動(スポーツ・文化活動など)を知ったり、見かける	23.7%	26.3%	22.4%	20.2%	13.2%	2.6%	-3.9%	-2.2%	-7.0%	-10.5%

※各項目 5%以上上がっているセルは濃い色、5%以上下がっているセルには薄い色を付けている。

図表 107 評価保留の割合・松本市の現状評価の経年比較（政策3～行政について）

基本施策 番号	施策名	H30年度の調査項目	評価保留の割合（％）					評価保留の割合（％）の差				
			H25	H26	H27	H28	H30	H25⇒ H26	H26⇒ H27	H27⇒ H28	H28⇒ H30	H25⇒ H30
3-1-2	地域福祉活動の推進	地域住民による支えあいが行われている	15.2%	13.6%	15.4%	18.1%	18.3%	-1.6%	1.8%	2.7%	0.1%	3.1%
3-1-3	地域防災活動の推進	地域による自主的な防災活動が行われている	11.4%	13.5%	13.8%	14.8%	13.5%	2.1%	0.4%	0.9%	-1.2%	2.1%
3-1-4	地域防犯活動の推進	地域による自主的な防犯活動が行われている	16.3%	17.0%	18.5%	18.9%	19.8%	0.7%	1.5%	0.4%	1.0%	3.5%
3-2-1	危機管理体制の強化	防災・減災の備えが整っている	19.9%	22.1%	19.3%	22.7%	23.5%	2.2%	-2.8%	3.4%	0.8%	3.6%
3-3-1	調和した土地利用の推進	優良農地や豊かな自然を守りつつ都市開発が行われている	17.4%	19.0%	15.8%	23.4%	23.9%	1.6%	-3.2%	7.6%	0.5%	6.5%
3-3-3	交通安全対策の充実	市民の交通マナーが向上している	8.5%	8.0%	8.1%	9.6%	9.6%	-0.5%	0.1%	1.6%	0.0%	1.1%
3-3-5	水道水の安定供給	安全な水を利用することができる	2.7%	3.3%	2.7%	3.2%	2.4%	0.6%	-0.6%	0.5%	-0.8%	-0.3%
4-1-2	3Rの推進	市民がごみの資源化や分別をすることで減量に取り組んでいる	5.5%	7.5%	6.3%	6.4%	7.3%	2.0%	-1.2%	0.2%	0.8%	1.8%
4-3-1	水・大気などの環境保全の推進	悪臭や水、大気汚染などの問題がない地域である	4.4%	5.1%	4.9%	5.6%	5.3%	0.8%	-0.2%	0.7%	-0.4%	0.9%
4-3-2	景観維持、保全の推進	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている	6.6%	9.0%	5.0%	6.9%	6.1%	2.4%	-4.0%	1.9%	-0.9%	-0.5%
5-1-4	労働、雇用対策の推進	安心して持続的に働ける労働環境を確保する取り組みが行われている	31.6%	32.4%	29.3%	36.5%	39.0%	0.8%	-3.2%	7.2%	2.5%	7.3%
5-2-1	農林業の振興と美しい農山村の継承	知人や友人にすすめたい地元産の農産物が多い	5.9%	8.9%	6.2%	10.0%	8.9%	3.0%	-2.6%	3.7%	-1.0%	3.1%
5-3-3	戦略的な観光施策の推進	知人や友人にすすめたい観光地が多い	3.9%	4.3%	3.8%	4.6%	4.3%	0.4%	-0.4%	0.8%	-0.3%	0.4%
6-1-1	学校教育の充実	学校や地域で小中学生の元気な声がよく聞こえる	25.1%	29.9%	28.1%	30.2%	10.8%	4.8%	-1.8%	2.1%	-19.4%	-14.2%
		【小中学生の親】学校や地域で小中学生の元気な声がよく聞こえる	1.6%	6.5%	1.0%	4.9%	1.4%	4.9%	-5.5%	3.9%	-3.6%	-0.2%
6-1-2	学校環境の整備・充実	小中学校で充実した教育環境が整っていると感じたり、見かける	31.0%	35.2%	31.4%	34.0%	33.2%	4.2%	-3.7%	2.6%	-0.8%	2.3%
		【小中学生の親】小中学校で充実した教育環境が整っていると感じたり、見かける	5.7%	8.2%	3.1%	5.5%	5.5%	2.5%	-5.0%	2.4%	0.0%	-0.1%
6-2-2	生涯学習施設整備の推進	様々な学びや趣味を気軽に行える施設が充実している	22.2%	22.0%	23.0%	24.3%	23.3%	-0.2%	1.0%	1.3%	-1.0%	1.1%
6-4-1	歴史・文化資産保護・活用の推進	地域の伝統や文化の保存、継承が行われている	16.3%	18.4%	19.2%	17.9%	16.6%	2.1%	0.9%	-1.3%	-1.3%	0.3%
6-4-2	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている	16.7%	17.6%	18.4%	21.3%	19.2%	0.9%	0.8%	2.9%	-2.1%	2.5%
行政について	質の高い行政経営の実現	市民の意見や考えを行政に伝えやすい	28.3%	30.8%	26.5%	28.2%	30.6%	2.5%	-4.3%	1.8%	2.4%	2.4%
行政について	窓口サービス・広聴の充実	職員の対応に好感を持つことができる	15.6%	18.0%	17.7%	18.5%	16.8%	2.5%	-0.3%	0.7%	-1.7%	1.2%

※各項目 5%以上上がっているセルは濃い色、5%以上下がっているセルには薄い色を付けている。

■評価保留の割合・市民の行動に関する経年比較結果■

- ・平成 25 年から平成 30 年にかけて 5%以上上がっているものはないが、「青少年（小中学生を含む）の自主性や主体性を育む活動（スポーツ・文化活動など）を行っている」は上昇傾向にある。
- ・5%より下がっているものはなかった。

図表 108 評価保留の割合・市民の行動の経年比較（政策 1～行政について）

基本施策番号	施策名	H30年度の調査項目	評価保留の割合（％）					評価保留の割合（％）の差				
			H25	H26	H27	H28	H30	H25⇒H26	H26⇒H27	H27⇒H28	H28⇒H30	H25⇒H30
1-1-1	健康づくりの推進	健康づくりに継続的に取り組んでいる	2.8%	2.9%	3.4%	2.7%	2.4%	0.1%	0.5%	-0.7%	-0.2%	-0.4%
2-3-4	青少年の健全育成	青少年（小中学生を含む）の自主性や主体性を育む活動（スポーツ・文化活動など）を行っている	20.1%	20.9%	21.4%	28.2%	23.6%	0.7%	0.5%	6.8%	-4.6%	3.5%
		【子どもの親】青少年（小中学生を含む）の自主性や主体性を育む活動（スポーツ・文化活動など）を行っている	11.1%	12.0%	11.0%	16.8%	11.2%	0.9%	-1.0%	5.8%	-5.6%	0.1%
3-1-1	地域づくりの推進	地域で行われている活動やボランティア活動に参加している	3.3%	3.6%	3.3%	4.1%	3.9%	0.3%	-0.3%	0.8%	-0.2%	0.6%
3-1-2	地域福祉活動の推進	地域の人と積極的に関わりを持っている	2.4%	2.3%	2.6%	3.1%	2.9%	-0.1%	0.3%	0.4%	-0.2%	0.4%
3-1-3	地域防災活動の推進	地域の自主的な防災活動に参加している	3.9%	3.5%	3.3%	4.3%	4.2%	-0.5%	-0.2%	1.0%	-0.2%	0.2%
3-1-4	地域防犯活動の推進	地域の自主的な防犯活動に参加している	5.4%	5.0%	4.7%	5.7%	6.0%	-0.3%	-0.4%	1.1%	0.3%	0.7%
3-2-2	防災・減災対策の推進	災害に対する備えをしている	2.5%	2.0%	2.4%	2.4%	2.9%	-0.5%	0.4%	0.0%	0.4%	0.4%
3-3-3	交通安全対策の充実	交通マナーを意識しながら、移動をしている	1.7%	0.6%	0.8%	1.1%	0.5%	-1.1%	0.2%	0.3%	-0.6%	-1.1%
3-3-4	交通のまちづくりの推進	すすんで公共交通を利用している	2.1%	1.9%	2.0%	2.1%	2.4%	-0.2%	0.1%	0.1%	0.3%	0.3%
4-1-2	3Rの推進	ごみの資源化や分別することで減量を行っている	1.1%	1.8%	1.6%	1.7%	1.5%	0.6%	-0.2%	0.1%	-0.2%	0.3%
4-1-3	環境教育の充実	自然や環境を守るための取組みや行動をしている	6.4%	7.7%	5.9%	8.7%	7.3%	1.3%	-1.8%	2.9%	-1.4%	0.9%
4-2-2	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進	市街地の緑化活動を行っている	7.8%	8.1%	8.7%	9.8%	9.8%	0.3%	0.6%	1.0%	0.1%	2.0%
5-3-1	農産物高付加価値化の推進	地元産の農産物を積極的に購入している	3.0%	1.7%	2.0%	4.1%	3.8%	-1.4%	0.4%	2.0%	-0.3%	0.8%
6-2-1	生涯学習機会の充実	様々な学びや趣味を通じて、充実した日常生活を送っている	6.6%	8.2%	8.4%	3.6%	7.2%	1.6%	0.2%	-4.8%	3.5%	0.6%
6-3-1	文化芸術活動の推進	音楽や芸術にふれている（音楽や芸術活動に取り組んだり、鑑賞することを含む）	4.3%	5.4%	5.1%	3.6%	6.3%	1.2%	-0.3%	-1.6%	2.8%	2.1%
6-3-2	スポーツの振興	継続的にスポーツに親しんでいる（競技・生涯スポーツやラジオ体操・散歩等の運動に取り組んだり、応援・観戦や指導・ボランティア活動含む）	4.8%	6.7%	5.4%	2.6%	5.7%	2.0%	-1.3%	-2.8%	3.1%	0.9%
6-4-1	歴史・文化資産保護・活用の推進	（祭りなどの）地域の伝統や文化の保存、継承に取り組んでいる	7.0%	9.0%	6.4%	6.2%	7.7%	2.0%	-2.6%	-0.1%	1.5%	0.7%
行政について	質の高い行政経営の実現	行政の活動に関心を持っている	8.7%	9.4%	9.0%	9.9%	7.1%	0.8%	-0.4%	0.8%	-2.8%	-1.6%

※各項目 5%以上上がっているセルは濃い色、5%以上下がっているセルには薄い色を付けている。